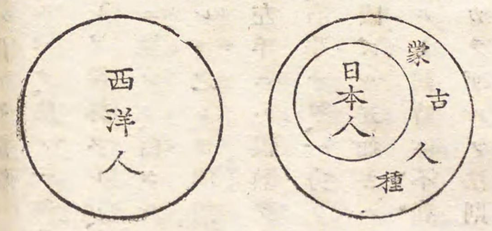
モ亦其ノ應用ヲ逞フスルモノナリ。前ニ三段論體ノ軌範或ハ根本原理ナルモノヽ第一ハ其ノ實、同一法ノ適用ヨリ出ヅルニ外ナラザル所以ヲ論示シタルガ、然ルニ其ノ所謂、根本原理ノ第二ノ如キハ、矛盾法ノ一適用タルニ外ナラザルナリ。第二根本原理ニ曰ク、三語アリ、甲ハ乙ト一致シ、丙ハ乙ト一致セザルトキハ、甲ト丙トハ一致セズ。例スルニ、日本人ハ蒙古人種ナリ。西洋人ハ蒙古人種ニアラズ。故ニ西洋人ハ日本人ニアラズト云ハン歟。是レ第二根本原理ノ適用ニシテ、日本人ヲ以テ甲トシ、蒙古人種ヲ以テ乙トシ、西洋人ヲ以テ丙トシテ論ズルトキハ、即チ甲ノ乙ト一致シ、丙ノ乙ト一致セザルヲ提案トシ、此ノ兩提案ヨリシテ丙ノ甲ト一致セザルヲ斷定スルモノナリ。然レモ第一提案ニ於テ日本人ノ黄人種タルヲ斷定スルハ假令事實ニ於テ日本人ガ蒙古人種ノ全体ト同一物ナラザルモ、兎ニ角、一部ノ蒙古人種又ハ或ル蒙古人種ト同一物ナル所以ヲ斷定スルモノナリ。然ルニ第二提案ニ於テ



西洋人ノ蒙古人種ナラザルヲ斷定スルハ全体ノ蒙古人種ヲ擧ゲテ西洋人ト同一物ナラザル所以ヲ斷定スルモノナリ。既ニ一部ノ蒙古人種ハ日本人ト同一物ニシテ、又、全体ノ蒙古人種ヲ擧ゲテ西洋人ト同一物トセズ。然ルニ若シ終リニ至リ、斷案ニ於テ、西洋人ヲ以テ日本人ナリトセバ、是レ取リモ直サズ、西洋人ヲ以テ一部ノ蒙古人種ト斷定スルモノニシテ、第二提案ニ於テ蒙古人種ノ全体ヲ擧ゲテ西洋人ト同一物視セザルニ比シ、矛盾ヲ大法ニ觸レザルヲ得ズ。是レ斷案ニ於テ西洋人ノ日本人ニアラザルヲ取リ極ムルノ必要アル所以ナリ。以テ三段論体、第二根本原理ガ第一根本原理ト共ニ其ノ實、根本原理ニアラズシテ、論理ノ全体ヲ支配スル矛盾大法ノ一適用タルニ過ギザル所以ヲ知ルベシ。

ありすとーつる氏ガ三段論体ニ關スル格言ニ(Dictum de omni et nullo)ト名ヅクルモノアリ。是レ古來ノ論理家ガ前唱、後和以テ演繹法論理最上ノ原理ト目スルモノナリ。其ノ言ニ曰ク、周到セル一ノ語ニ肯定的ニモセヨ、又ハ否定的ニモセヨ、從屬セラルヽ事柄ハ其ノ範圍中ノ各事物ニ從屬スルヲ得ベシト。或ハ更ニ之レヲ短言スレバ高等ノ種類ニ屬スル事柄ハ又其ノ下ノ種類ニモ屬スルモノトス。即チ之レヲ通俗

ノ言語ニ崩シテ云ヘバ、如何ナル種類ノ事物ヲ問ハズ、其ノ種類全体ノ事物ニ就キテ肯定シ得ル事柄ハ、其ノ種類ノ一部分或ハ一事物ニ就キテ肯定スルヲ得ベシ。又一種類中、一切ノ事物ニ就キテ否定シ得ル事柄ハ、其ノ種類中ノ或ル事物ニ就キテ否定スルヲ得ベシト云フノ意味ニ外ナラズ。一切ノ日本人ニ就キテ肯定シ得ル事柄ハ豐太閤、家康又ハ信長ニ就キテモ肯定スルヲ得ベシ。即チ日本人ヲ指シ、蒙古人種ト云ヘバ、豐太閤、家康又ハ信長ヲモ蒙古人種ト云フヲ得ベシ。又、一切ノ日本人ニ就キテ否定シ得ル事柄ハ豐太閤等ニ就キテモ否定スルヲ得ベシ。即チ日本人ヲ以テありやん人種ニアラズトセバ、豐太閤等亦ありやん人種ニアラザルナリ。あ氏ガ格言ノ解釋實ニ此ノ如キニ過ギズ。而シテ古來ノ論理家此ノ格言ヲ以テ演繹法論理ノ公理ト稱シ、論理上、世復此ノ理法ノ右ニ出ヅル原理ナシト看做スト雖。是レ唯僅カニ同一及ビ矛盾ノ大法ヲ適用シ、此ノ二ツノ適用ヲ合併シテ一ノ規則ニ綴リタルニ過ギザルナリ。讀者少ク思慮セバ、然ル所以ノ理由ニ通曉セン。

○終リニ至リ、思想三大法則ノ第三ヲ名ヅケテ不容間位ノ法則(Principle of Exelud-ed-middle)ト云フ。如何ナル事物モ、デアルカ、デナキカハ、ニ者其ハ、ニ居ラザルベカラズ。甲ハ乙ナルカ、非乙ナルカ、其ノ一ニ居ラザルベカラズ。是レ不容間位ノ大法ヲ代表スルノ公式ナリトス。抑モ此ノ大法ハ名詮自性、凡ソ吾人ガ一ノ事柄ニ就キテ斷定、推理スルヤ、肯定、否定ノ二途ニ出ヅルヨリ外ナキモノニシテ、肯定ニモアラズ、否定ニモアラザルガ如キハ、斷定、推理ニアラザルナリ。苟モ稱シテ斷定ト云ヒ、推理ト云フ。其ノ成蹟ハ肯定、否定ノ二者其ノ一ニ居ラズンバアラズ。今此ノ理法ヲ解釋スルニ當リ、說カザルベカラザル事アリ。反對語(Opposite term)ト矛盾語(Contradictory term)トノ區別是レナリ。反對語トハ譬ヘバ、善ト惡ト、硬ト軟ト、寒ト熱トノ如キモノニシテ、其ノ相對スル語ノ間ニ不偏、不倚ノ地位アルヲ許スモノナリ。即チ善ト惡トノ間ニハ、善トモ附カズ、惡トモ附カザル局外ノ地位アリ、硬ト軟トノ如キモ亦然リ。硬トモ云ヒ難ク、軟トモ云ヒ難キ不偏、不倚ノ地位アリト云フヲ得ベシ。寒熱ノ如キモ亦然リ。然ルニ、二個ノ語、相對シ、其ノ間ニ局外ノ地位ヲ許サヾルモノアリ。之レヲ矛盾語ト名ヅク。例スルニ硬ト軟ト相對スルトキハ、局外ノ地位アルヲ許セドモ、硬ト非硬ト相對スルトキハ、其ノ間ニ局外ノ地位ヲ許サズ。軟ト非軟、寒ト非寒、熱ト非熱トノ如キモ亦然リ。サレバ、今、陽春、中和ノ氣候ヲ指シテ寒キカ、然ラズバ、寒カラザル

(非寒)カ、其ノ一ニ居ラザルベカラズト云フヲ得ベケレ𪜈、寒キカ、熱キカ其ノ一ニ居ラザルベカラズトハ云フヲ得ザルナリ。故ニ非寒ト云ヘバ、熱キヿモ其ノ中ニ籠リ居ルニハ相違ナキモ寒カラズ、熱カラザル中和ノヿモ其ノ中ニ籠リ居ルト知ルベシ。而シテ茲ニ讀者ノ聊カ注意セザルベカラザルヿアリ。今日ノ日本語ニ於テハ非字ト不字トハ、其ノ用法大ニ似タル所アレ𪜈、又大ニ異ナルノ場合アリ。即チ非善ト云ヘバ、惡モ固ヨリ非善ナルニハ相違ナキモ、惡トモ附カズ、善トモ附カザル吾人ノ行爲モ亦皆非善ナリ。然レ𪜈不善ト云ヘバ然ラズ、不善ハ惡ト異名同義ニシテ、他人ニ對シ、有害ノ行爲ヲ稱スルナリ。サレバ、非善ハ善ニ對シ、矛盾語ニシテ、不善ハ善ニ對シ反對語ナラザルベカラズ、又愉快ト非愉快トハ矛盾語ナレ𪜈、愉快ト不愉快トハ反對語ナラザルベカラズ。其ノ他都合ト不都合、便利ト不便利トノ如キ今日ノ實際ニ於テハ、皆反對語トシテ解釋スルナリ。然レ𪜈他ノ場合ニ於テハ然ラザルヿアリ。不作ト云ヒテ穀物ノ收穫少キヲ意味シ、不毛地ト云ヒテ人間ノ食用ニ供セラルベキ植物殊ニ穀物ノ生ゼザル土地ヲ意味スルガ如キ是レナリ。

サレバ、一ノ反對語ト他ノ一ノ反對語ト相對スルハ固ヨリ矛盾ノ一法ナレ𪜈、其ノ相矛盾スル所以ノ方法ハ此ノ一法ニ限ラザルヿニテ、他ニ亦、矛盾スルヲ得ルノ道アリ。熱ニ對スルニ、寒ヲ以テスルハ、一ノ矛盾ナルニ相違ナキモ之レニ對スルニ、中和ノ溫度ヲ以テスルモ、亦均ク一ノ矛盾ナルニアラズヤ。黑ニ對スルニ白ヲ以テスルハ、一ノ矛盾ナレ𪜈、黑ニ對スルニ青ヲ以テシ、黃ヲ以テシ、或ハ赤ヲ以テスルモ矢張リ矛盾ハ矛盾ナリ。然レ𪜈矛盾語ヲ以テスル𪜈ハ、此ノ如クナラズ。二個ノ矛盾語、相對スル𪜈ハ、此ノ二語ノ外ニ於テ、別ニ方面ヲ開キテ此ノ二語ノ各自ニ反對、矛盾スルヲ得ベキ間位アルヲ許サズ、即チ白ニ對スルニ、非白ヲ以テスレバ其ノ矛盾ハ一擧シテ遺漏ナキ矛盾ニテ、此ノ兩者ノ間ニハ、一條ノ血路ヲモ開ク能ハザルモノニシテ赤、黃、青、黑等ノ諸色ハ皆均ク非白ノ部內ニ入ルモノトス。前章ニ論明セル二分法ノ網羅、貫通シテ餘蘊ナキ所以ハ全ク此ノ理由ヨリ出ヅルナリ。然レ𪜈反對語ニシテ兼チテ又、矛盾語ナルモノアリ。譬ヘバ眞ト僞ト相對シ、又、人類ヲ以テ談話ノ目的トスレバ、男ト女ト相對シ、又動物ノ上ニテ云ヘバ雌ト雄ト相對シ、牝ト牡ト相對スル等是レナリ。サレバ、反對語ト矛盾語ヲ分釋スレバ其ノ圖式左ノ如クナラザ

ルベカラズ

反對語 { 矛盾語 / 非矛盾語

是コヲ以テ之レヲ觀ルトキハ、吾人ハ或ル一ノ事柄ニ或ル性情ヲ從屬シテ一ノ命題ヲ形造リ、若シ此ノ命題ニシテ眞ナラン歟。此レト同一ノ事柄ニ從屬スルニ矛盾語ヲ以テスルノ命題ハ、僞ナリ。若シ又甲ニシテ僞ナラン歟。乙ハ眞ナラズンバアラズ然レモ是レ單稱語ヲ以テ主語トスル命題ニ於テ、云ヒ得ルノ言ナルノミ。總稱語ヲ以テ主語トスル命題ニ於テハ、其ノ次第全ク相異ナレリ。譬ヘバ豐太閤ハ東洋ノ豪傑ナリト云ハン歟。若シ此ノ命題ニシテ眞ナランニハ豐太閤ハ東洋ノ豪傑ニアラズトノ命題ハ僞ナラザルベカラズ。或ハ乙ノ命題ニシテ僞ナランニハ、甲ノ命題ハ眞ナラザルベカラズ。然レモ日本人ハ總ベテ黃人種ナリトノ命題ニシテ眞ナラン歟日本人ハ總ベテ黃人種ニアラズトノ命題ハ僞ナリト論ズルヲ得ベケレモ、日本人ハ總ベテ黃人種ニアラズト云フノ命題ガ僞ナレバ迚之レニ基ヅキテ直チニ日本人ハ總

ベテ黃人種ナリトハ論ズルヲ得ザルナリ。何トナレバ、此ノ場合ニ於テハ、一部ノ日本人ノミガ黃人種ニシテ、他ノ日本人ハ黃人種ナラザルヤモ知ルベカラザレバナリ。故ニ或ル一ノ總稱語ヲ以テ主語トスル肯定及ビ否定命題ニ於テハ、一方ノ眞ナルヨリシテ他ノ一方ノ僞ナル所以ヲ立證スルヲ得レモ、一方ノ僞ヲ以テ他ノ一方ノ眞ナルヲ立證スルヲ得ズ。

右ハ性質(即チ肯定ト否定トノ從屬ノ異同)ヲ異ニスルモ、其ノ他ノ點ニ於テ相異ナラザル二個ノ全稱命題ニ於ケル相互ノ關係ナルガ、更ニ性質ヲ異ニスルモ、他ニ異ナル所ナキ二個ノ特稱命題ニ就キテ論ズルニ、一方ノ眞ヲ以テスルモ、將タ又其ノ僞ヲ以テスルモ、他ノ一方ノ眞タリ、或ハ僞タルヲ知ル能ハズ。或ル日本人ハ英語ヲ解ストノ命題ガ眞或ハ僞ナレバ迚、或ル他ノ日本人ハ英語ヲ解セズトノ命題ガ眞ナルヤ僞ナルヤヲ知ル能ハズ。サレバ總稱語ヲ以テ主語トスル命題ニ在リテハ、常ニ眞僞ノ點ニ於テ、矛盾ノ地位ニ立ツモノハ、全稱肯定命題ト全稱否定命題或ハ特稱肯定命題ト特稱否定命題トニアラズシテ、全稱肯定命題ト特稱否定命題或ハ特稱肯定命題ト全稱否定命題トニアリト知ラルヽナリ。尙ホ此ノ儀ニ就キテハ、後文ニ至リ、論議

スル所アラントス。唯茲ニハ不容間位ノ理法ヨリ看來リテ、單稱語ヲ以テ主語トスル命題ト總稱語ヲ以テ主語トスル命題トニ於テ其ノ取リ扱ヒ方ノ大ニ異ナラザルベカラザル所以ヲ論ズルノミ。蓋シ演繹法部ノ論理ニ於テハ、殆ト一切ノ場合ニ於テ。單稱命題ノ取リ扱ヒ振リハ、尋常ノ全稱命題ト異ナラズ。是コヲ以テ、余ノ如キモ、曩ニ命題ノ區別ヲ論ズルニ當リ、單稱命題ヲ以テ、全稱命題ノ中ニ種類分ケシタリ。然レモ單稱命題ヲ取リ扱フノ方法、全稱命題ト異ナル所唯僅カニ茲ニ一ツアリ。即チ本節ニ論ズルガ如ク、不容間位ノ大法ヨリ看來リテ、二個ノ命題中其ノ一方ノ眞僞ヲ以テ他ノ一法ノ眞僞ヲ立證セントスルノ場合是レナリ。

○終リニ至リ、思想ノ三大法則ヲ合考シ來ルニ、此ノ三大法、各自、体裁ヲ異ニスト雖、其ノ實、三者、相、鼎立シテ不分、不離ナル一大理法ヲ組成スルト云フモ可ナル程ノ關係ヲ有スルナリ。古來此ノ三大理法ガ吾人ノ思想中ニ行ハルヽ前後ヲ論ジタルノ哲學者アリト雖、其ノ實此ノ三大法則ハ其ノ一ガ行ハルヽト同時ニ他ノ二ツガ行ハルヽモノニシテ、其ノ相依ルヿ輔車唇齒ノ關係アルニ似タリ、然レモ此ノ如ク、互ニ親密ノ關係ヲ有スルニモ拘ラズ、此ノ三大法則ガ各自、直接ニ受ケ持ツ所ノ職掌ハ

第十三章

互ニ相異ナラザルベカラズ。即チ同一ノ理法ハ肯定ノ從屬ヲ受ケ持チ、矛盾ノ理法ハ否定ノ從屬ヲ受ケ持ツモノナルガ、不容間位ノ理法ハ、直接推理ト間接推理トヲ論ゼズ、將タ又、歸納法ナルト演繹法ナルトヲ問ハズ、一切ノ斷案ハ肯定ニアラザレバ否定、否定ニアラザレバ肯定ニシテ、二者其ノ一ニ居ラザルベカラザル所以ヲ明示スルモノナリ。或ハ不容間位ノ大法ハ同一法ト矛盾法トガ適用セラレザル場合ニ於テハ、如何ナル斷案ヲモ生ズル能ハザル所以ヲ表彰スルモノナリ。何トナレバ、一切ノ推理ハ肯定、否定ノ外ニナクシテ、肯定、否定ノ推理ヲ支配スルモノハ、同一法ト矛盾法トノ外ニナケレバナリ。其ノ同一法ト矛盾法トガ適用セラルベキ場合ニ就キテハ、前ニ各〻一例ヲ示シ置キタルガ、譬ヘバ今、支那人ハありやん人種ニアラズ。日本人ハありやん人種ニアラズトノ二提案ヲ以テソハ、吾人ハ如何ナル斷案ヲモ生ズル能ハザルナリ。何トナレバ、斯ル提案ヲ以テシテハ、吾人ハ同一法モ矛盾法モ兩ツナガラ之レヲ適用スル能ハザレバナリ。總ベテ三段論体ノ推理ニ於テ同一法ト矛盾法トガ適用セラルベキノ場合ハ、前ニ例示スルガ如ク、提案ニ於テ兩回ノ一致(即チ一提案ニ於テ一回ヅヽノ一致アルカ、又一致ト不一致トガ各〻一回ヅヽ(即チ一ノ提案ニ

第十四章

一回ノ一致アリ、他ノ一提案ニ一回ノ不一致アルカノ場合ニ限ル。若シモ提案ニ於テ兩回ノ一致アルトキハ、吾人ハ同一法ニヨリ、斷案ニ於テ第三回ノ一致即チ肯定的ノ從屬ヲ爲スベク、又若シ提案ニ於テ一回ノ一致ト不一致トガ行ハルヽトキハ吾人ハ矛盾法ニ則トリ、斷案ニ於テ第二回ノ不一致即チ否定的ノ從屬ヲ爲サズンバアラズ。然レモ提案ニ於テ、兩回ノ不一致ガ行ハルヽ場合ニ於テハ、同一法モ矛盾法モ兩ッナガラ之レヲ適用スル能ハズ。故ニ斯ル場合ニ於テハ、如何ナル斷案ヲモ生ズル能ハザルナリ。

第十四章。推理ノ區別。

○今、推理(Reasoning or Inference)ト云ヘバ、何カ事新ク聞エ、理學者哲學者ノ外ニハ、之レヲ用ユルモノ稀ナルガ如クニ思ハルヽノ傾向ナキニアラザレモ、其ノ實、サル譯柄ノモノニアラズ。即チ推理トハ平ク之レヲ釋義スレバ、或ル事柄ヲ以テ他ノ事柄ヲ取リ極メ或ハ理窟詰メニスルヿナリ、然ルニ、此ノ推理ニ二大區別アリ。其ノ一ヲ演繹的推理(Deductive Inference)ト云ヒ、他ノ一ヲ歸納的推理(Inductive Inference)ト云フ。歸納的推理ノ何物タルヤハ之レヲ此ノ講義ノ第二部ニ讓リ、今正ニ演繹的推理ニ就キテ論セン。余輩ハ今、演繹的推理ヲ定義シテ或ル事柄ヨリシテ其ノ中ニ含蓄スル他ノ事柄ヲ引キ出スモノナリト云フ。然ルニ斯クシテ他ノ事柄ヲ引キ出スニ二樣ノ異ナルモノアリ。一ヲ直接推理(Immediate inference)ト云ヒ、他ノ一ヲ間接推理(Mediate inference)ト云フ。

一ノ事柄或ハ命題ニ對シ、先ツ所ノ事柄或ハ命題、他語ニテ云ヘバ、基本ノ地位ニ立ツ所ノモノ之レヲ稱シテ提案或ハ前提(Premise)ト名ヅケ、其ノ後ニ立ツ所ノモノ、他語ニテ云ヘバ、基本ノ地位ニ立ツ所ノ命題ヨリシテ敷衍セラルヽモノ之レヲ斷案或ハ歸結(Conclusion)ト名ヅク。譬ヘバ、日本人ハありやん人種ニアラズト云ヘバ、甲命題ハ乙命題ニ對シテ提案ニシテ、乙ハ甲ニ對シテ斷案ナリ。又人タル者、少老病死ヲ免レズト云ヘバ、甲ト乙トハ丙ノ命題ニ對シ、提案ニシテ、丙ハ甲ト乙トニ對シ、斷案ナリトス。

サレバ、右ノ例ヲ以テ知ラルルガゴトク、一提案中ニ斷案ノ主語ト客語トヲ直接ニ比較スルモノト、斷案ノ主語ト客語トヲ別々ニ分チテ之ヲ二提案ニ出シ、各自ノ提案ニ更ニ他ノ一語ヲ加ヘ、此ノ一語ノ手段ヲ以テ斷案ノ主語ト客語トヲ間接ニ比

較スルモノトノ別アルヲ看ル。其ノ一提案ニ於テ斷案ノ主語ト客語トヲ直接ニ比較スルモノ之レヲ直接推理ト云フ。之レニ反シ、斷案中ノ主語、客語ヲ二提案ニ分載シ、他ノ一語ヲ媒介トシ、此ノ媒介ヲ經テ以テ間接ニ主客ノ兩語ヲ比較スルモノ之レヲ間接推理ト名ヅクルナリ。今、右ニ論說スル所ノ推理ノ區別ヲ分釋スレバ左ノ如シ

推理。
- 演繹法。
  - 直接推理。
  - 間接推理。
- 歸納法。

余ハ前ニ嘗テ演繹、歸納ノ兩法ヲ對照シ、演繹法推理ハ一ノ理法、規則又ハ一ノ事實ヲ解釋、適用スルニ必要ニシテ、歸納法推理ハ一般理法又ハ天則ヲ發見シ、或ハ之レヲ證據立ツルニ必要ナル所以ヲ論ジタルガ、今、歸納法推理ハ姑ク置キ、演繹法部ニ於ケル直接、間接ノ兩推理ガ各自受ケ持チスル職掌ヲ一言スレバ、其ノ所謂、直接推理ハ一ノ命題或ハ規則ヲ解釋スルニ必要ニシテ、其ノ間接推理ハ之レヲ適用スルニ必要ナリト云フベシ、讀者請フ、其ノ心地シテ余ガ左ニ說キ出ス所ヲ讀メ。

第十五章。轉換法。

○前章ノ所說ヲ以テスルトキハ、先ヅ第一ニ論述スベキハ直接推理ノ種類ナルガ、此ノ直接推理分チテ三種トス、其ノ第一ヲ轉換法ト云ヒ、第二ヲ變性法ト云ヒ、第三ヲ對當法ト名ヅク。今此ノ順序ニ據リ、三種ノ直接推理ヲ陳說セン。而シテ本章、論述ノ目的ハ第一、轉換法ニアリ。

○命題ノ轉換法(Conversion)ト云フヿアレモ、其ノ所謂、轉換法ハ一ノ命題ヲ轉換シテ他ノ一命題トスルノ云ヒニアラズシテ、其ノ實、一命題中ニ存在スル主語ト客語トノ地位ヲ轉換シ、前命題ノ主語ヲ新造命題ノ客語トシ、其ノ客語ヲ主語トスルモノナリ。故ニ之レヲ轉換法ト云フヨリモ寧ロ顚倒法ト云フ方恐ラクハ適切ナラン歟、サレバ余輩ハ玆ニ轉換法ヲ釋義シテ一ノ命題ヲ提案ニ置キ、之レヲシテ之レト其ノ性質、同一ナルモ、其ノ順序、顚倒ノ語ヲ有スル一命題ヲ敷衍スル一種ノ直接推理法ナリト訓ズ。即チ日本人ハありやん人種ニアラズト云フ命題ヨリシテ故ニありやん人種ハ日本人ニアラズト論ズルガ如キ是レナリ。

然レモ此ノ轉換推理法ニ單純轉換(Simple conversion)ト制限轉換(Conversion by Limitation)トアリ。單純轉換トハ前ノ例ニ於テ看ラルヽ如ク、唯ダ僅カニ主語ト客語トノ地

轉換法

位ヲ變更スルノミニシテ、其ノ他、一切ノ事ニ手ヲ附ケザルノ云ヒナルガ、之レニ反シ、制限轉換ニ於テハ、主語ト客語トノ地位ヲ變更スルノ外ニ、兼テ又、命題ノ分量ヲ變更スルモノ是レナリ。今先ヅ最初ニ單純轉換ノ事ヲ說キ、次ギニ制限轉換ノ事ヲ論ゼントス。

先ヅIトEトノ命題ハ單純轉換ニテ事足ルベシ。譬ヘバ或ル甲ハ乙ナリ。或ル日本人ハ學者ナリト云ハン歟。主語及ビ客語ハ共ニ不周到ナレ𪜈、主語ガ代表スル事物ハ客語ガ代表スル事物ノ區域中ニアルヤ知ルベシ。サレバ此レ等ノ命題ヨリシテ、吾人ハ直チニ或ル乙ハ甲ナリ。或ル學者ハ日本人ナリト推理スルヲ得ベシ。又、甲ハ總ベテ乙ニアラズ、或ハ動物ハ皆、道理的精神ヲ有セズト云ハン歟。主語ガ代表スル事物ノ全体ヲ擧ゲテ客語ガ代表スル事物ノ全体ト區域ヲ異ニスル𠀋明カナリ。故ニ吾人ハ直チニ乙ハ總ベテ甲ニアラズ、道理的精神ヲ有スルモノハ皆、動物ニアラズト推理スルヲ得ベシ。是レ皆、單純轉換法ナリ。

前陳ノ如クIトEトハ單純ニ轉換スルヲ得レ𪜈、Aノ如キハ右二者ト異ナリ、之レヲ單純ニ轉換スルヲ得ズ。今生アルモノハ皆、死アリト云ハン歟。蓋シ生アルモノハ皆、死アリ、死アルモノ亦、皆、生アリ。即チ死者ノ外ニ生者ナク、生者ノ外ニ亦、死者ナキハ現時、世界ノ實況ナリ。故ニ此ノ場合ニ於テ吾人ハ單純ニ主語ト客語トヲ轉換シ、死アルモノハ皆、生アリト云フヲ得ベシ。又、人ハ皆、言語スル力アル動物ナリト云ハン歟。現時、世界ノ實況ニ於テ人ハ皆、言語力アル動物ニシテ、言語力アル動物ハ人ノ外ニアルナシ。是コヲ以テ吾人ハ單純轉換法ヲ用ヒ、言語力アル動物ハ皆、人ナリト云フヲ得ベシ。此ノ如ク、A命題ニシテ、主語ノ代表スル事物ト客語ガ代表スル事物ト區域ヲ一ニシ、隨テ主語ト客語トノ地位、單純ニ轉換シ得ルノ場合ナキニアラズ。然レ𪜈此ノ如キハ、其ノ當該命題外ノ事實ニ徵シ、之レガ知識ヲ待チテ始メテ轉換シ得ルヿニテ、命題其レ自身ノ形ノミニ訴ヘテ爲ス能ハザルナリ。譬ヘバ、人ハ皆死スベキ者ナリトノ命題ヲ轉換シテ死スベキ者ハ皆、人ナリト云フベカラズ。サレバ、A命題ニシテ單純ニ轉換シ得ルモノト得ザルモノトノ別アレ𪜈當該命題ソレ自身ノ外ナル事實ヲ度外ニ附スル所ノ演繹法論理學ニ於テハ、A命題ニ於テハ、主語ハ周到スレ𪜈、客語ハ不周到ナリト看做スヲ要ス。是コニ於テ乎若シモ一ノ全稱肯定命題ヲ轉換セントセバ、吾人ハ其ノ客語ガ代表スル事物ノ區域ヲ內輪ニ看積リ、一般ノ

轉換法

規則トシテ之レガ分量ニ制限ヲ加ヘ、變ジテ特稱肯定命題ト爲サザルベカラズ。之レヲ名ヅケテ制限轉換ト云フ。即チ甲ハ總ベテ乙ナリト云ハン歟、吾人ハ之レヲ轉換シテ或ル乙ハ甲ナリト云ハザルベカラズ。通俗ニハ動スレバ此ノ理由ヲ度外ニ附シ、一ノ全稱命題ヲ以ヲ之レヲ他ノ事實ニ訴ヘズ、直チニ單純轉換ヲ實行シ得ルモノト看做シ、之レガ爲、屢ゝ誤謬ニ陷ルコトアリ。譬ヘバ英雄、豪傑ハ總ベテ大腦ヲ有スト云ハン歟。人ニヨリテハ、庸人或ハ剩ヘ痴漢ニシテ大腦ヲ有スル者アルヲ擧ゲ來リテ右ノ命題ヲ駁スルヿ恐ラクハナキニアラザルベシ。然レ𪜈是レ全ク右命題ノ解釋ヲ誤レルモノニシテ、假令、英傑外ノ人物ニシテ、大腦ヲ有スル者、何程アルモ、英傑タル人物ニシテ、大腦ヲ有シサヘスレバ、其ノ命題ノ眞正ナルニ毫モ妨グル所ナシ。サレバ、吾人ハ右ノ命題ヲ轉換シテ、大腦ヲ有スルモノヽ幾分ハ英雄豪傑ナリト云フヲ得レモ、大腦ヲ有スル一切ノ人物ハ英雄豪傑ナリト云フヲ得ザルナリ。又或ハ一切ノ宗教家ハ安心、立命ヲ得ト云フ。若シ此ノ命題ヲ解釋シテ安心、立命ヲ得ルモノハ宗教家ニ限リ、宗教家ニアラザルヨリハ、安心、立命得テ期スベカラザルノ意味アリト看做サン歟。前ト同樣ノ誤釋タルヲ免レズ。若シ夫レ一ノ全稱肯定命題ヲ解釋スルニ當リ、斯ル誤釋ハ一見甚ダ知リ易キニ似タレ𪜈、其ノ實然ラズト看エ、世人此ノ類ノ誤釋ニ陷リ、而シテ其ノ誤釋タルニ氣附カザルヿ實ニ尠カラズ。第二章ニ於テ既ニ例示セル如ク、憲法、第十九條ニ日本臣民ハ公務ニ就クノ權利アルヲ明言シタルヲ以テ外人ヲ以テ公務ニ就クノ權利ナシト解釋シタルガ如キハ、取リモ直サズ、全稱肯定命題ノ客語ヲ以テ、周到セルト看做スモノニシテ、固ヨリ國權ノ點ヨリ論ジ來リテ外人ニ公務ニ就クノ權利ナシトスルハ可ナレ𪜈、憲法、第十九條ノ明文ヲ以テシテハ外人ニハ果シテ此ノ權利ナキヤ、否ヤヲ知ル能ハザルナリ。

右ノ如ク、A命題ハ之レヲ轉換スルニ、制限法ヲ以テスルハ一般ノ規則ナリ。然レ𪜈中ニハ其ノ命題ノ上ニ顯ルヽ事實ノミニ訴ヘ、之レヲ他ノ事實ニ徵スルヿナキモ、客語ノ周到認ユベカラザルモノアリ。斯ル場合ニ於テハ、固ヨリ單純轉換ヲ實行シテ可ナリ。所謂、定義ノ如キ是レナリ。

終リニ至リO命題ノ如キハ如何ト按ズルニ、其ノ之レニ適用セラルベキハ、單純轉換法ナリ。然レ𪜈I或ハEト異ナリ、一擧シテ直チニ此ノ轉換法ヲ實行スルヲ得ズ。之レヲ實行スルニ前チ、他ニ一ノ方法ヲ用ヒザルヲ得ズ。譬ヘバ或ル亞細亞人ハ日本

人ニアラズト云フヲ、直チニ單純ニ轉換シテ、或ル日本人ハ亞細亞人ニアラズトハ云ヒ難シ。或ル甲ハ乙ニアラズトノ命題ヲ轉換シテ或ル乙ハ甲ニアラズト云フ能ハザルナリ。之レヲ轉換スルニハ、其ノ前先ヅ一ノ手段ヲ實行セザルベカラズ。而シテ其ノ一手段ヲ何トカスル、余輩ガ次章ニ至リ、將ニ說カントスル變性法ト名ヅクルモノ是レナリ。

今、論說ノ便ヲ計リ、IトEトノ命題ニ就キテ論ズルニ、轉換法ノ據リ所ハ同一法ト矛盾法トニアリト云フベシ。吾人ハ或ル日本人ハ學者ナリト云フ事柄ヲ許諾センヵ、何故ニ或ル學者ハ日本人ナリト云フノ命題ヲ許諾シ、又ハ之レヲ維持セザルベカラザルヤト問フニ、若シ此ノ種ノ二命題中其ノ一ヲ許シテ他ノ一ヲ許サヾラン歟。乃チ同一法ニ背戻セザルベカラズ。何トナレバ、或ル日本人ハ學者ナリト云フハ、一部ノ日本人ヲ以テ學者ノ全體ナラザルモ、兎ニ角之レガ一部ト同一視スルモノナリ。既ニ之レヲ同一視スルヲ得ルトセバ、此ノ二者ガ命題ニ於ケル地位ヲ交換シ、前ノ主語ヲ以テ客語トシ客語ヲ以テ主語トスルノ自由ナクンバアラズ。然ラザレバ、或ル日本人ヲ指シテ學者ナリトシ、日本人ノ一部ト學者ノ一部トヲ同一視スルノ理由ナキナリ。更ニ轉ジテ論ズルニ、吾人ハ一度、日本人ハ皆ありやん人種ニアラズト云フノ命題ヲ許サン歟、何故ニありやん人種ハ皆、日本人ニアラズト云フノ命題ヲ許サヾルベカラザルヤト云フニ、其ノ故、他ニアラズ、此ノ種ノ二命題中其ノ一ヲ許シテ他ノ一ヲ許サヾルハ矛盾法ノ禁止スル所ナレバナリ。蓋シ日本人ハ皆ありやん人種ニアラズト云ヒ、ありやん人種ハ皆、日本人ニアラズト云フモ其ノ主客ノ地位コソ異ナレ、日本人ノ全體ヲ擧ゲテ、ありやん人種ノ全體ヨリ分離スルニ至リテハ、共ニ一ナリ。然ラバ則チ一ノ命題ニ於テ日本人トありやん人種トヲ分離シナガラ、他ノ命題ニ於テ之レヲ合シ、即チありやん人種ハ日本人ニアラズト云フヲ非トスルハ矛盾タルヲ免レザルナリ。

右ハIトEトノ命題ヲ轉換スルノ上ニ同一法及ビ矛盾法ヲ適用シタルモノナルガ、其ノ他A及ビOノ如キモ之レニ倣フテ此レ等二大理法ヲ適用スルヲ得ベシ。

第十六章　變性法。

○變性法(Permutation)トハ直接推理法ノ一ニシテ、一ノ命題ヲ基本トシテ、之レト性質ヲ異ニシ、矛盾ノ客語ヲ有スル他ノ一命題ヲ敷衍スルモノナリ、故ニ此ノ推理法

變性法

ハ不容間位ノ大法ニ準據スルモノトス。今此ノ變性法ヲ以テ吾人ハ

(第一)ニ甲ハ總ベテ乙ナリト云フヨリシテ、甲ハ總ベテ非乙ニアラズト推理スルヲ得ベシ。

(第二)ニ甲ハ總ベテ乙ニアラズト云フヨリシテ甲ハ總ベテ非乙ナリト推理スルヲ得ベシ。

(第三)ニ或ル甲ハ乙ナリト云フヨリシテ或ル甲ハ非乙ニアラズト推理スルヲ得ベシ。

(第四)ニ或ル甲ハ乙ニアラズト云フヨリシテ或ル甲ハ非乙ナリト推理スルヲ得ベシ。

右ノ如ク變性法ニ在リテハ、新命題ニ於テ、主語ヲバ原命題ノ如ク、其ノ儘差シ置キ、唯ダ其ノ客語ヲ變ジテ矛盾語トシ、而シテ更ニ命題ノ性質ヲ變更セザルベカラズ。他語ニテ云ヘバ、肯定從屬ヲ變ジテ否定從屬トシ、否定從屬ヲ變ジテ肯定從屬トセザルベカラズ。然ルニ、通俗ニハ、動モスレバ、此ノ命題變性法ヲ誤用スルノ甚ダシキ、客語ハ其ノ儘ニ差シ置キ、主語ニ充ツルニ原命題ノ矛盾語ヲ以テシ、而シテ之レカ性質ヲ

ヲ變更スルカ如キハ余輩ガ屢〻目擊スル所ナリ。譬ヘバ、今、英雄豪傑ハ大腦ヲ有スト云ハン歟。英傑ナラザル者ハ大腦ヲ有セザルノ意味アリト解釋シ、之レヲ攻擊スルノ徒ナキニアラザルベシ。是レ甚ダ抱腹、絶倒スルニ堪ヘタルノ解釋ナリ。然レモ斯ル變性法ノ誤用ハ今日我ガ邦ノ政治家、法律家ガ法令ノ正條ヲ解釋スルニ當リ、往々、發見スル所ナリ。例スルニ、議院法、第七十五條ニ「裁判所ニ於テ當選訴訟ノ裁判手續ヲ爲シタルモノハ衆議院ニ於テ同一事件ニ付審査スルコトヲ得ズ」トアリ。然ルニ先般世ノ政治家中ニハ、此ノ正條ノ明文ヲ解釋シテ、裁判所ニ於テ當選訴訟ノ手續ヲ爲サヾルモノハ、衆議院ニ於テ當選事件(即チ同一事件)ニ就キテ審査スルコトヲ得ト解釋シタルガ如キハ、變性法ノ誤用ニ外ナラズ。之レヲ論理的ニ解釋スレバ、議院法、第七十九條ハ裁判所ニ於テ當選訴訟ノ手續キヲ爲シタル者丈ニ就キテ一ノ從屬ヲ爲シ、其ノ當選訴訟ヲ爲サヾルモノヽ如キハ、全ク度外ニ附シテ之レヲ問ハザルモノナレハ、表面ヨリスルモ、又ハ裏面ヨリスルモ、當選訴訟ヲ爲サヾルモノハ衆議院ニ於テ果シテ其ノ當選事件ニ就キ審査スルヲ得ルトモ得ザルトモ推理スルニ由シナキナリ。又、前ニ例示セル憲法第十九條ノ誤釋ノ如キモ轉換法ノ誤用ヨリ

出ヅルヲ看做スヲ得ベカレトモ、或ハ之レヲ變性法ノ誤用ト看做スモ亦通ゼサルニアラズ。何トナレバ、日本臣民ニ就キテ云々シタルヲ以テ外人(日本臣民ニ對シ、予盾語)ニ關スル事柄ヲ推理スルヲ得ベシトスレバナリ(前コモ屢〻陳ズル如ク余ハ固ヨリ外人任用ヲ以テ決シテ可ナリトスルニアラス、痛ク之レニ反對スルノ論者ナレトモ、今、論理上コリシテ外人任用ハ全ク憲法第十九條外ノ問題ニシテ、十九條ヲ以テシテハ、其ノ任否ハ之レヲ斷定スルニ由シナキヲ云フナリ。)之レヲ要スルニ、一ノ全稱肯定命題及ビ全稱否定命題ヲ解釋シテ、之レト予盾的ノ主語ヲ有スル異性ノ一命題ヲ含蓄スルト看做スハ、一ノ全稱肯定命題ヲ解釋シテ、其ノ客語ヲ以テ周到スルト看做スト共ニ、往々、世上ニ行ハルル所ナリトス。

今且ツ我ガ憲法中ニ就キ、命題變性ノ例、一二ヲ提出シ、讀者ガ命題變性法ノ演習ニ供セン

(原命題)日本臣民ハ法律ニ依ルニ非ズシテ逮捕、監禁、審問、處罰ヲ受クルコトナシ。」

(變性命題)日本臣民ハ法律ニ依リ逮捕監禁、審問、處罰ヲ受クルモノナリ。

(原命題)「日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ヲ除ク外其ノ許諾ナクシテ住所ニ侵入セラレ及捜索セラルヽコトナシ。」

(變性命題)日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ヲ除クノ外ハ、其ノ住所ニ侵入セラレ及ビ之レヲ捜索セラルヽニハ、其ノ許諾アルヲ要シ、又或ハ日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ニ於テハ、其ノ許諾ナクシテ住所ニ侵入セラレ及ビ捜索セラルヽモノナリ。

(原命題)「現行ノ租稅ハ、更ニ法律ヲ以テ之ヲ改メサル限ハ舊ニ依リ之ヲ徵收ス。」

(變性命題)現行ノ租稅ハ更ニ法律ヲ以テ改ムルニ及ビテハ、舊ニ依リ之レヲ徵收セズ。

○今、本章ヲ終ルニ臨ミ、更ニ一言シテ前章ノ論旨ヲ補遺セン。前章ニ於テ○命題ハ他ノ三命題ト異ナリ、直チニ轉換法ヲ實行スル能ハズト云ヒタルガ、之レヲ轉換スルニ當リテハ先ヅ之レガ變性法ヲ施シ、而シテ後更ニ轉換法ニ移ラザルベカラズ。即チ吾人ハ或ル甲ハ乙ニアラズト云フヲ變性シテ先ヅ或ル甲ハ非乙ナリトシ、而シテ後或ル非乙ハ甲ナリト推理セザルベカラズ。譬ヘバ或ル亞細亞人ハ日本人ニアラズト

云フノ命題ヲ轉換セントセバ、先ヅ第一ニ之レヲ變性シテ、或ル亞細亞人ハ非日本人ナリトシ、而シテ後更ニ或ル非日本人ハ亞細亞人ナリト推理セザルベカラズ。うるーとれー氏ヲ始メトシ、其ノ他、許多ノ論理家モ此ノ變性ト轉換トノ合併法ヲ以テ一個ノ單獨推理ト看做シ矛盾轉換(Conversion by contra-position)ト名ヅケタルガ、其ノ實、轉換法トモ附カズ、變性法トモ附カザル一種ノ合併法ナレ𪜈、今姑讀者ノ記憶ニ便センガ爲、其ノ名稱ヲ借リ來ルモ可ナリ。

第十七章　對當法

○轉換法ト變性法トニ次ギ、直接推理ノ一法ニ更ニ對當法(Opposition)ト稱スルモノアリ。而シテ其所謂、對當トハ何ゾヤ。二命題アリ、其主語ト客語ヲ同フスルモ、其ノ分量或ハ性質ヲ異ニシ、又ハ其ノ分量及ビ性質ヲ併セ、兩ッナガラ之レヲ異ニスル𪜈ハ、右ノ二命題ハ相對當スト云フ。サレバ對當推理法トハ一種ノ直接推理法ニシテ、一命題ノ眞或ハ僞ヨリシテ他ノ一命題ノ眞或ハ僞ヲ推理スル「ナレ𪜈、其ノ甲ト乙トノ命題ハ同一ノ主語ト客語トヲ有シ、而カモ其ノ分量或ハ性質ニ於テ相異ナルカ、又ハ分量及ビ性質ヲ併セテ兩ッナガラ之レヲ異ニセザルベカラズ。譬ヘバ、甲ハ總ベテ乙ナリトノ命題ガ眞ナリト知ラルヽニ於テハ、甲ハ總ベテ乙ナリトノ命題ハ眞ナラザルベカラズ。或ル甲ハ乙ナラズトノ命題ハ僞ナラザル可ラズト論ズルガ如シ。今此ノ對當ニ四種アリ。Aト Eトノ對當ヲ反對當(Contrary opposition)ト云ヒ、Iト Oトノ對當ヲ小反對當(Subcontrary opposition)ト云ヒ、Aト Iト或ハ Eト Oトヲ差等對當(Subaltern opposition)ト云ヒ、Aト Oト或ハ Eト Iトヲ矛盾對當(Contradictory opposition)ト云フ。之レヲ圖表スレバ、左ノ如シ。

A	差等對當	I
	反對	
	矛盾對當	
	小反對	
E	差等對當	O

今其ノ關係ヲ簡言セシニ、Aニシテ眞ナラバ、Eハ僞、Iハ眞、Oハ僞ナリ。

Aニシテ僞ナラバ、Eハ知ルベカラズ。Iモ亦知ルベカラズ。Oハ眞ナリ。

Eニシテ眞ナラバ、Aハ僞、Iハ僞、Oハ眞ナリ。

Eニシテ僞ナラバ、Aハ知ルベカラズ、Iハ眞、Oモ亦知ルベカラズ。

Iニシテ眞ナラバ、Aハ知ルベカラズ。Eハ僞、Oハ亦知

第十七章

ルベカラズ。

Iニシテ偽ナラバ、Aハ偽、Eハ眞、Oモ亦眞ナリ。

Oニシテ眞ナラバ、Aハ偽、Eハ知ルベカラズ、Iモ亦知ルベカラズ。

Oニシテ偽ナラバ、Aハ眞、Eハ知ルベカラズ、Iハ眞ナリ。

○此ノ對當法ノ推理ハ、實ニ彼ノ思想三大法則ヲ併セテ適用スルモノトス。今既ニ說述スル所ノ三大法則ノ順序ニ從ヒ、之レヲ適用スル所以ヲ云ヘバ、差等對當即チAトI或ハEトOトノ關係ハ同一ノ理法ニ準據スルモノトス。故ニA或ハEノ眞ナルヨリシテI或ハOモ亦眞ナリト論ズルヲ得レ𪜈、A或ハEノ偽ナルヨリシテI或ハOハ偽ナリトモ亦眞ナリトモ論ズルヲ得ズ、又I或ハOノ偽ナルヨリシテA或ハEモ亦偽ナリト論ズルヲ得レ𪜈、I或ハOノ眞ナルヨリシテA或ハEハ眞ナリトモ偽ナリトモ論ズルヲ得ズ。何トナレバ、AトI或ハEトOトノ關係ハ同一事件ニ於テ全ト分トノ地位ニ立テバナリ。

次ギニ反對當即チAトEトノ關係ハ如何ト云フニ、是レ矛盾ノ大法ヨリ出ヅルモノトス。サレバ、Aニシテ眞ナレバ、Eハ偽、Eニシテ眞ナレバ、Aハ偽ナリト論ズルヲ得

レ𪜈、Aノ偽ヲ以テEノ眞ヲ論ジ、Eノ偽ヲ以テAノ眞ヲ論ズルヲ許サズ。何トナレバ、矛盾法ノ精神トスル所ハ一ノ事件ガ眞ナルト同時ニ偽ナルヲ禁ズレバナリ。即チ日本人ニシテ黃人種ナランニハ、黃人種ナラザルヲ禁ズルナリ。

次ギニ、小反對當ITOトノ關係ハ如何ト顧ミルニ、此ノ二者ノ關係ハAトEトノ關係ト同類ニシテ、而カモ其ノ方向、相反ス。AトEトノ場合ニ於テハ、一方ノ眞ヲ以テ互ニ一方ノ偽ヲ論ズルヲ得レ𪜈、一方ノ偽ヲ以テ他ノ一方ノ眞ヲ論ズルヲ許サズ。然レ𪜈ITOトノ場合ニ於テハ、一方ノ偽ヲ以テ互ニ他ノ一方ノ眞ヲ論ズルヲ得レ𪜈、一方ノ眞ヲ於テ他ノ一方ノ偽ヲ論ズルヲ許サズ。故ニITOトノ關係モ亦矛盾ノ大法ニ準據スルモノトス。何トナレバ、矛盾ノ大法ニ於テハ、一ノ事件ガ眞ナルト同時ニ偽ナ　ヲモ禁ジ、(AトEトノ關係)其ノ偽ナルト同時ニ眞ナルヲモ禁ズレバナリ(ITOトノ關係)譬ヘバ、或ル日本人ハありやん人種ナリトノ命題ニシテ、偽ナラン歟。或ル日本人ハありやん人種ニアラズトノ命題ハ眞ナリ。之レト同一ノ理由ヲ以テ、或ル日本人ハ黃人種ニアラズトノ命題ニシテ偽ナラン歟。或ル日本人ハ黃人種ナリトノ命題ハ眞ナルガ如シ。(尙ホ第八章或ルト總ベテトノ使用法ヲ論ズ

ルノ條ヲ參考セヨ)、

次ギニAトOトEトIトノ關係ハ不容間位ノ大法ニ據ルモノトス。サレバ、A或ハEニシテ眞ナラン歟。I或ハOハ僞ナリ。A或ハEニシテ僞ナラン歟。I或ハOハ眞ナラザルヲ得ズ。I或ハOニシテ眞ナラン歟。A或ハEハ僞ナリ。I或ハOニシテ僞ナラン歟。A或ハEハ眞ナラズンバアラズ。何トナレバ、各事物ハ眞僞二者ノ中其ノ一ニ居ラザルベカラズトハ、不容間位ノ大法ガ命ズル所ナレバナリ。

之レヲ要スルニ、一ツノ命題ノ眞或ハ僞ヨリシテ他ノ一ノ命題ノ眞或ハ僞ヲ常ニ論ズルヲ得ルノ關係ハ矛盾對當ニシテ、此ノ關係ニ於ケル二ツノ命題ニ於テハ、眞僞必ズ相反シ、何レノ場合ニ於テモ、二者到底、兩立スルヲ得ザルモノトス。是コヲ以テ、古來ノ論理學者、矛盾對當ヲ以テ對當法ノ最完、最備ノモノト認メ、特リ之レヲ出頭ノ地位ニ置ケリ。

反對當ト矛盾對當トノ相違ヲ云ヘバ、反對當ノ地位ニ立テル二命題ハ其ノ性質、相反スト雖、其ノ分量相同シ、然ルニ矛盾對當ノ地位ニ立テル二命題ハ其ノ性質、分量ノ二ツヲ併セテ相反ス。是レ反對當ト矛盾對當トガ異ナル所ノ要點ナリ。サレバ、今勝

利ノ目的ヨリシテ敵論者ト論鋒ヲ交ユルニ當リテハ、敵若シ一ノ全稱命題ヲ提出セバ、之レト反對當ノ命題ヨリモ寧ロ矛盾對當ノ命題ヲ擇ビ來リテ之レヲ攻擊スルヲ以テ甚ダ便ナリトス。他語ニテ云ヘバ、一ノ全稱命題ヲ攻擊スルニ、之レト性質ヲ異ニスル他ノ全稱命題ヲ以テスルヨリモ、之レト性質ヲ異ニスル特稱命題ヲ以テスルノ方、勝利ヲ得易シ。譬ヘバ、歐洲人ハ總ベテありやん人種ナリト云ハン歟。之レヲ攻擊シテ或ル歐洲人(即チ猶太人種、まーがーず人種及ビ一部ノ土耳格人種ノ如キ是レナリ)ハありやん人種ニアラズト云ヘバ、反擊ヲ受クルノ憂ナシト雖、若シモ然ラズシテ歐洲人ハ總ベテありやん人種ニアラズト云フテ攻擊ヲ試ミン歟。甲論者ハ己ガ命題ノ過失ヲバ其ノ儘差シ置キ、直チニ乙論者ト矛盾對當ノ地位ニ廻リ、一ノ特稱肯定命題ヲ提出シ來リ、或ル歐洲人(即チ英、獨、佛、伊等ノ國人ノ如キ是レナリ)ハありやん人種ナリト云ヒテ乙論者ヲ反擊スベシ。左スルトキハ、乙論者ガ未ダ甲論者ヲ擊破セザルニ先チ、甲論者ハ早ク既ニ乙論者ヲ擊破スルノ外觀アルヲ致スナリ。然ルニ之レヲ事實ニ徵スルトキハ、甲乙ノ二論者兩ツナガラ過テルモノニシテ、二者云フ所共ニ多キニ失ス。サリナガラ、乙論者ハ甲論者ヲ擊破セントシテ、其ノ論鋒ヲ交ユルノ法

ヲ知ラザルヨリシテ之レヲ擊破スル能ハズ、却テ美事ニ甲論者ニヨリテ痛ク擊破セラルヽナリ。

第十八章。三段論体ノ構造。

○三段論体(Syllogism)トハ二命題、相連絡シ、其ノ相互ノ間ニ行ハルヽ關係ヨリシテ更ニ第三ノ命題ヲ必然的ニ生ズルモノトス。或ハ更ニ之レヲ釋義シテ、二個ノ命題ヲ合シテ內實其ノ中ニ含蓄スル他ノ一命題ヲ敷衍シ來ルノ推理ナリトス。然レドモ是レ正式三段論体ノ釋義ナルガ、此ノ釋義ノ條件ヲ充備セザルガ如ク看ユルモノナキニアラズ。(後文ニ至リ、之レヲ示スベシ。)今其ノ正式三段論体ノ標本ヲ擧グレバ左ノ如シ。

日本人ハ總ベテ東洋人ナリ。
東京人ハ總ベテ日本人ナリ。
故ニ東京人ハ總ベテ東洋人ナリ。

(イ)ハ總ベテ(ロ)ナリ。
(ロ)ハ總ベテ(ハ)ナリ。
故ニ(ハ)ハ總ベテ(イ)ナリ。

前ニ一切ノ推理ニ於ケル提案ト斷案トノ區別ヲ指陳シタルガ、今、右、三段論体ノ上ニ就キテ提案ト斷案トノ區別ヲ云ヘバ、前位ノ二命題ハ各自、提案ニシテ、後位ノ一

命題ハ斷案ナリ。而シテ前位ノ二命題ヲ指シテ各自、提案ト名ヅクル所以ハ、其ノ前位ナルガ故ニ、之レヲ稱シテ提案ト云フニアラズ。何トナレバ提案ニシテ却テ後位ニアルヿアレバナリ。要スルニ、或ル命題ヲ他ノ命題ニ對シ、提案ト名ヅクル所以ハ、推理ノ點ニ於テ基本ノ地位ニ立テバナリ。而シテ右三段論体ニ於テ後位ノ一命題ヲ稱シテ斷案ト名ヅクルハ、他ノ命題ノ後位ニ立ツヲ以テ之レヲ斷案ト云フニアラズ。他ノ命題ヲ基本トシ、之レヨリ斷定シ來ルモノナレバナリ。サレバ、提案ニシテ却テ後ニ立チ、斷案ニシテ却テ前ニ位スルヿ實際上屢〻之レアリ。譬ヘバ、東京人ハ東洋人ナリ。何トナレバ、東京人ハ日本人ナレバナリ抔ト云フニ於ケル如シ。斯ル体裁ヲ以テ記載セル斷案ヲバ、往時ノ論理家之レヲ名ヅケテ問題(Problema)ト云ヒタルガ、是レ固ヨリ一應ノ道理アルヿニテ、斷案ヲ問題ト看做セバ、提案ノ如キハ、此ノ問題ニ解釋ヲ附スル所ノ理由(Reason)ナリトス。

扨、三段論体ニ於テハ、斷案中ニ顯ルヽ主語ト客語トヲ提案中ニ於テ、他ノ一語ニ比較シ、此ノ比較ニ基ヅキ、斷案ニ於テ主語ト客語トヲ連絡スルナリ。サレバ、斷案ノ主ト客語トハ、提案ニ於テ各自、一回ヅヽ出現シ、提案中ニ充ツル所ノ他ノ一語ハ各自

ノ提案ニ於テ共ニ同一ナラザルベカラズ。然ラザレバ各自ノ提案、相、滅裂シ、之レヲ連絡、合考シテ斷案ヲ生ズルニ由シナキナリ。提案中ニ兩回、出現シ、斷案ノ主語ト客語トニ一回ヅヽ出會スル所ノ語之レヲ稱シテ中語(Middle term)ト云ヒ、此ノ中語ニ對シ、斷案ノ主語ヲ小語(Minor term)ト云ヒ、其ノ客語ヲ大語(Major term)ト云フ。而シテ此ノ中語ガ大語ト出會スル所ノ提案ヲ大提案(Major premise)ト名ヅケ、其ノ小語ト出會スル所ノ提案ヲ小提案(Minor premise)ト名ヅクルナリ。即チ前例ヲ以テ云ヘバ、日本人ナル名稱ハ、中語ニシテ、東京人ハ小語、東洋人ハ大語ナリ。又、日本人ハ總ベテ東洋人ナリトノ提案ハ大提案ニシテ、東京人ハ總ベテ日本人ナリトノ提案ハ小提案ナリトス。何トナレバ、甲ノ命題ニ於テ中語ト比較セラルヽモノハ、大語ニシテ、乙ノ命題ニ於テハ中語ト小語トガ出會スレバナリ。サレバ、人若シ或ル三段論体ニ出逢ヒ、孰レガ中語ニシテ、又孰レガ大、小語ナルヤヲ知ラント欲セバ、先ヅ第一ニ斷案ニ着目シ、其ノ主語ヲ以テ大語トシ、客語ヲ以テ小語トシ、之レヲ提案中ニ求ムベシ。既ニシテ大小ノ二語定マルキハ、他ハ中語ナルヿ云ハズシテ知ルベシ。之レヲ要スルニ、三段論体ハ通ジテ三個ノ命題ヨリ成リ、而シテ其ノ各自ノ命題、二個ノ語ヲ以テ成レバ、語數通

ヲテ六個ニシテ、此レ等六箇ノ語、大中小ノ三語ニ平等ニ分配セラルヽナリ。故ニ大中小ノ三語ハ一三段論中ニ於テ各自、二回ノ出現ヲ爲サヾルベカラズ。然ルニ斷案ニ於テハ、大語及ビ小語ヲ以テ其ノ地位ヲ充ツ。是コニ於テ中語ノ提案中ニ出現スルヤ二回、大小、二語ノ提案中ニ出現スルヤ各自、一回ナリトス。

○前ニ提案ニシテ後ニ立ツヿアリ、斷案ニシテ前ニ立ツコトアル所以ヲ陳述シタルガ、加之、實際ニ於テハ、兩提案ヲ共ニ列擧スルハ、却テ稀ニ看ル所ニシテ、尋常、一ノ提案ヲバ、之レヲ省キ棄テヽ、讀者、聽者ノ理解心ニ訴ヘ其ノ悟入ニ任ズ。斯ル省略体ノ三段論式ヲ名ヅケテいんすみーむ(Enthymeme)ト云フ。抑モいんすみーむトハ希臘語ヨリ出ヅル所ナルガ、其ノ元來ノ意味ヲ語レバ、心ニ納ムルノ義ニシテ、即チ三段論体、全數ノ命題ヲ吐露セズシテ、其ノ幾分ヲ心ニ留メテ外ニ漏サヾルノ意味ナリ。故ニ之レヲ直譯スレバ、心通式トモ云フテ可ナルニ似タリ。心通トハ默識、心通ノ心通ニシテ、言ニ發セズシテ心ニ通曉スルノ義ナリ。然レドモ今其ノ事柄ノ一見直チニ解シ易キヲ欲シ、余ハ之レヲ名ヅケテ省略論式ト云フ。但シ心通式ナル名稱ハ、甚ダ面白味アル各稱ナレバ、故ニ之レヲ廢スルニ及バズ、之レヲ存シ置キ、讀者、省略式ナル名稱ヲ

以テ心通式ナル名稱ノ解釋ト看做シテ可ナリ。

扨其ノ省畧式ニ大提案ヲ省略スルト小提案ヲ省略スルトノ二者アリ。其ノ大提案ヲ省畧スルモノ之レヲ稱シテ第一類(First order)ノ省略式ト云フ。譬ヘバ、空氣ハ重量ヲ有ス。何トナレバ空氣モ一ノ實体ナレバナリト云フ。是レ第一類ノ省畧論式ナリトス、今之レヲ正當ノ三段論体ニ綴レバ、實体ナルモノハ總ベテ重量ヲ有ス。空氣ハ一ノ實体ナリ。故ニ空氣ハ重量ヲ有ストナル。現時、日本語ノ言葉遣ヒニ於テハ、數個ノ命題、連續スルニ際シ、其ノ各命題ノ主語ニシテ同一ナルキハ、冒頭ノ命題ニ主語ヲ附スルノミニシテ、他ノ命題ニハ之レガ主語ヲ省略スルヿ、實際上甚ダ屢〻行ハルヽ所ナリ。故ニ第一類ノ省略論式ニ於テハ提案ト斷案トガ外觀上全ク其ノ語面ヲ異ニスルヲ以テ、初學ノ徒動モスレバ、其ノ論式ノ孰レニ屬スベキヤヲ區別スルニ迷フヿアリ。(前ニモ陳ズル如ク、斷案ノ主語ガ出現スル提案ヲ以テ小提案トシ、斷案ノ客語ガ出現スル提案ヲ以テ大提案トスルナリ。)譬ヘバ、此ノ筆法ヲ以テ前例ヲ記スレバ、空氣ハ一ノ實体ナリ(小提案)。故ニ重量ヲ有ス(斷案)。更ニ之レヲ實際的ノ形チニ書キ換ユレバ、空氣ハ一ノ實体ナルヽヲ以テ(或ハナルガ故ニ)重量ヲ有ス。是レ斷案ノ主語ヲ

省畧スルモノナルガ、之レニ反シ、斷案ノ主語ヲ省畧スルヿアリ。譬ヘバ、空氣ハ重量ヲ有ス。何トナレバ、實体ナレバナリト云フガ如シ。サレバ吾ガ國語文法上ノ組立テニ於テ、第一類ノ省畧論式ニテ、斷案ノ主語ヲ省畧スルモノト小提案ノ主語ヲ省畧スルモノトノ別アルヤ知ルベシ。漢文ニ於テモ、斯ル省畧法ハ尋常、發見セラルヽヿナルガ、韓愈ガ原毀ニ曰フ。「古之君子其責己也重以周。其待人也輕以約。重以周。故不怠。云々」此ノ立論ニ於テ第一類ノ省畧三段論式ト云フベキハ「重以周。故不怠」ノ二句ニアルモノニシテ、之レヲ正當ノ三段論体ニ書キ換ユレバ、凡人責己也重以周不怠。古之君子責己重以周。故古之君子不怠」トナル。次ギニ小提案ヲ省畧スル三段論体之レヲ第二類(Second order)ノ省畧論式ト云フ。前例ヲ以テ之レヲ云ヘバ、實体ハ總ベテ重量ヲ有ス。故ニ空氣ハ重量ヲ有ス。或ハ空氣ハ重量ヲ有ス。何トナレバ實体ハ總ベテ重量ヲ有スレバナリ。蓋シ省畧論式中最モ普通ナルモノハ、第一類ニシテ、第二類ノ如キハ、第一類ヨリモ稍ヤ稀ニ使用セラルヽモノトス。而シテ此ノ省略式ニ於テハ、何レノ場合ニ於ケルヲ論ゼズ、其ノ提案ト斷案トニ於テ主客ノ兩語ヲ併擧スルヲ以テ常トスルモノナレバ、之レヲ發見スルニ甚ダ容易

ナリトス。然ルニ此ノ二類ノ省略式ノ外、更ニ第三類(Third order)ノ省畧式アリ。斷案ヲ省畧スルモノ是レナリ。此ノ省畧論式ハ修辭學上ノ目的ニ於テ、明確ノ提案ヲ列擧シ來リ、讀者、聽者ノ心情ヲ感動スルノ餘リ、不言ノ間ニ斷案ヲシテ悟入セシムルノ場合抔ニ用ユルモノトス。

○前ニモ陳ズル如ク、三段論体ニ於テハ、之レヲ組成スル大中小ノ各語通ジテ兩回ヅヽ出現セザルベカラザルガ故ニ、兩回共ニ同一ノ意味ニテ使用セラルヽヲ必要トス。若シモ然ラズシテ、一語タリトモ相異ナル意味ヲ附シテ之レヲ使用シタランニハ、是レ其ノ語ハ外面、一ナルガ如ク觀ユルモ、其ノ實、二語ヲ用ユルモノニシテ、他ノ二語ト相合シ、一三段論中ニ實際、四語ヲ使用スルノ勘定トナル。左スルトキハ、各自ノ命題互ニ別立シテ其ノ間ニ連絡ヲ缺キ、其ノ斷案、到底、不確實タルヲ免レズ。之レヲ要スルニ、三段論體ナルモノハ、彼ノ思想三大理法ヲ適用シ、中語ノ手段ヲ以テ小語ト大語トガ代表スル事物ノ間ニ同一ノモノアルヤ否ヤヲ確定シ、若シ其ノ間ニ同一事物ノ存在スルトキハ、同一ノ理法ヲ適用シテ肯定的ノ斷案ヲ降シ、若シ又其ノ間ニ同一事物ノ存在スルヿナキトキハ、矛盾ノ理法ヲ適用シテ否定的ノ斷案ヲ生シ、將タ或ハ

其ノ間ニ同一事物ノ存在スルトモ、セザルトモ確知スル能ハザルニ際シテハ、不容間位ノ理法ヲ適用シテ、如何ナル斷案ヲモ生ゼザルモノトス。何トナレバ、不容間位ノ理法ハ各事物ハ、ヽヽヽヽデアルカ、デナキカノ二者其ノ一ニ居ラザルベカラザル所以ヲ明言スレバナリ。サレバ、肯定ト否定トノ外ニ斷案ノ降スベキモノナキヤ知ルベシ。故ニ若シ大小ノ二語ニシテ提案ニ於テ使用スルモノト、斷案ニ於テ使用スルモノトガ、如何程ナリトモ其ノ意味ヲ異ニセンニハ、其ノ意味ヲ異ニスル點丈ニ關シテハ、未ダ提案ニ於テ中語ノ手段ヲ經テ比較セザル事柄ヲ斷案ニ於テ比較スルモノトス。中語ガ二樣ノ意味ヲ以テ使用セラルヽ場合ニ於テモ亦此ノ如シ。然リ而シテ、一ノ語ニ二樣ノ意味ヲ附シテ使用スル誤謬ノ最屢出現スルハ中語ナリトス。之レヲ稱シテ曖昧中語ノ僞論ト云フ。譬ヘバ、動物ハ道理心ヲ有セズ。人ハ動物ナリ。故ニ人ハ道理心ヲ有セズト云ハン歟。是レ曖昧中語ノ僞論ナリトス。何トナレバ、大提案ニ於テハ、動物ナル名稱ハ人ニ對シテ之レヲ用ヒ、人ヲ其ノ域外ニ置クト雖、之レニ反シ、小提案ニ於テハ、人ヲモ其ノ域中ニ籠ムレバナリ。又、刃物ヲ以テ人ヲ傷ツクルモノハ刑罰ニ處セラル。外科醫モ亦刃物ヲ以テ人ヲ傷ツク。故ニ外科醫ハ刑罰

ニ處セザルベカラズト云フ、第一提案ニ於テハ、人ヲ傷ツクルハ人体ヲ傷害スルノ義ナリ。第二提案ニ於テハ然ラズ。又、放火ハ一ノ刑辟ナリ。燐寸ヲ摩擦シテ火ヲ發スルハ放火ナリ。故ニ燐寸ヲ摩擦シテ、火ヲ發スルハ刑辟ナリト云ハン歟。讀者ハ放火ナル中語ノ意味、曖昧ナルヲ悟ルニ容易ナラン。蓋シ一ノ語ヲ二樣ノ意味ニテ使用シ、其ノ代表、含容スル事柄ノ相異ナルコアルニモ拘ラズ、之レヲ同一視シテ終ニ斷案ヲ論決スルノ誤謬ハ格別ノ注意ヲ要セザルモ、之レニ陷落スルヲ免ルヽヲ得ベキガ如ク看ユルモ、其ノ實然ラズシテ、殊ニ其ノ論說スル所、長キニ渉ルトキハ前文ニ用ヒタル語ト後文ニ用ヒタル語トハ其ノ外面、同一ナルモ、其ノ意味ノ大ニ異ナルニ氣附カズシテ、屢〻此ノ類ノ僞論ヲ犯スコアルハ實際ニ發見スル所ナリ。

第十九章。三段論体ノ規則。

○三段論体ニ要スル結局ノ理法ハ三大思想理法ノ外ニナシト雖、此レ等結局ノ理法ノ下ニ立ツ所ノ特別ノ規則、數個アリ。抑モ此レ等數個ノ規則タル元來、彼ノ三大理法ノ外ニ存在スルモノニアラザレモ、思想理法ノ大則タル、餘リ抽象的ニ過グルヲ以テ、吾人ガ實際上ノ方鍼トシテ思想理法ニ基ヅケル此レ等ノ數則アルヲ要ス。

(第一則)如何ナル三段論体モ三種ノ語ヲ有セザルベカラズ。而シテ其ノ語ハ三種ニ限ル。

(第二則)如何ナル三段論体モ三個ノ命題ヲ有セザルベカラズ。而シテ其ノ命題ノ數ハ三個ニ限ル。

(第三則)中語ハ少クモ一回ハ周到スルヲ要シ、而シテ其ノ意味、曖昧ナルベカラズ。

(第四則)提案ニ於テ周到セザル語ヲ斷案ニ於テ周到セシメザルヲ要ス。

(第五則)二個ノ命題、両ッナガラ否定ナルトキハ、如何ナル斷案ヲモ生ズル能ハズ。

(第六則)若シ一ノ提案、否定ナルトキハ斷案、亦、否定ナルヲ要シ、而シテ否定斷案ヲ證據立ツルニハ一ノ提案、亦、否定ナルヲ要ス。

右ノ外、右等ノ規則ヨリ分派シ來ル規則、二個アリ。一体此ノ二規則ハ前ノ數則ト肩ヲ並ベテ駢列スベキ性質ノモノニアラザレモ、今筆述ノ序デヲ以テ、之レヲモ併擧スルヲ以テ便ナリトス。即チ

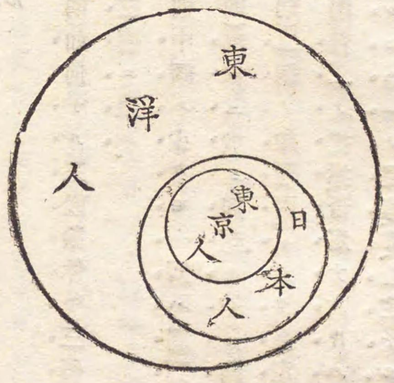
(第七)二個ノ特稱提案ヲ以テシテハ、如何ナル斷案ヲモ生ズル能ハズ。

(第八)若シ一提案、特稱ナルトキハ、其ノ斷案、亦、特稱ナラズンバアラズ。

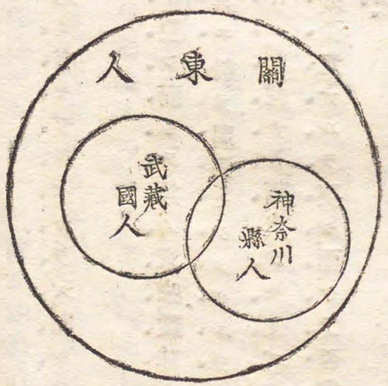
右ニ擧ゲタル數則ハ實際上ノ方鍼トシテ甚ダ有用ノモノナレバ、讀者篤ト其ノ意味ニ通曉スルヲ要スルノミナラズ、深ク心肝ニ銘印シテ忘却スルナキヲ要ス。

右八則ノ中、第一及ビ第二則ノ如キハ、前章三段論体ノ構造ヲ論述スルノ際、之レヲ指陳シ、且ツ其ノ理由ヲモ示シタレバ、茲ニ之レヲ復擧スルノ必要ナシト雖、三段論体ノ通則ヲ讀者ガ記憶スルニ便センガ爲、遺漏ナキヲ欲シ、再ビ之レヲ擧ゲタルノミ。サレバ、余ハ茲ニハ、第三則以下ニ就キテ之レガ解釋ヲ試ミントス。

第一圖

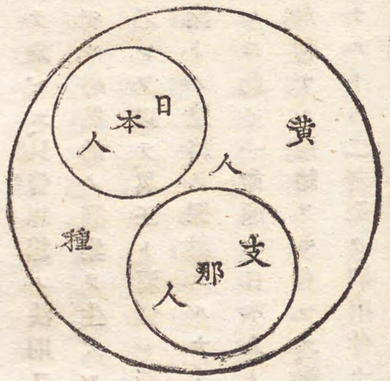


第二圖



抑モ第三則、前半ニ於テ中語ガ少クモ一回ハ周到スルヲ要スト陳ズルハ何ゾヤ。他ナシ。若シモ中語ニシテ、兩提案ニ於テ、一回タリトモ周到スルヲナカラン歟。斷案ニ於テ、大語ト小語トノ間ニ連絡ノ有無ヲ確定スルニ由シナケレバナリ。譬ヘバ、日本人ハ總ベテ東洋人種(中語)ナリ。東京人モ亦總ベテ東洋人(中語)ナリト云ハン歟。第一圖ノ如ク、東京人ハ事實全ク日本人中ニアリト雖、之レト同樣ノ筆法ヲ以テ、神奈川縣人ハ總ベテ關東人(中語)ナリ。武藏國人モ亦總ベテ關東人(中語)ナリト云ハン歟。第二圖ノ如ク、神奈川縣人ト武藏國人トハ其ノ範圍ノ幾分、符合スルノミニテ、他ノ部分ハ符合セズ。然ルニ更ニ又、右ト同樣ノ筆法ヲ以テ日本人ハ總ベテ黃人種(中語)ナリ。支那人モ亦總ベテ黃人種(中語)ナリト云ハン歟。第三圖ノ如ク、日本人ト支那人トハ全然之レガ範圍ヲ異ニスルヲ看ル。サレバ、提案ニ於テ中語ガ全ク不周到ナランニハ、如何ナル斷案ヲモ降ス能ハザ

第三圖



ルヤ知ルベシ。人或ハ日本人ハ總ベテ東洋人ナリ。東京人モ亦總ベテ東洋人ナリトノ両命題ヲ提案トシ。故ニ東京人ハ總ベテ日本人ナリトノ斷案ヲ降サン歟。日本人ノ東洋人タリ、東京人ノ亦東洋人タルハ両ツナガラ眞ナリ。而シテ又、東京人ノ日本人タルモ亦認ユベカラズ。然レドモ其ノ認ユベカラザルハ、各自ノ命題ヲ別々ニ事實ニ照シテ認ユベカラザルニテ、假令、事實ニ於テハ、然ルモ、推理ニ於テハ一ノ僞論タルヲ免レザルモノトス。前ニモ屢〻陳ズル如ク、吳々モ演繹法論理ノ目的ハ事實ノ眞僞ハ措キテ論ゼズ、只管思想ノ法則ヲ頼ミテ或ル提案ヲ基本トシ、之レヨリシテ避クベカラザル必然的ノ斷案ヲ生ズルニアリ、故ニ演繹法論理ニ於テハ、如何ナル提案モ一切之レヲ以テ、眞正ト看做シ、斯ク提案ヲ以テ眞正ト看做シタル上ニテ、其ノ提案ト斷案トノ連絡ヲ探討スルナリ。抑モ東京人ノ總ベテ日本人タルハ事實ニ於テ眞ナリ。然レドモ此ノ一命題ハ日本人ノ總ベテ東洋人タルト、東京人ノ總ベテ東洋人タルトニ如何ナル連絡ヲモ有セズ。讀者此ノ一例ヲ以テ事實ニ於テ眞ナルト推理ニ於テ眞ナルトハ二者全ク別事件ナル所以ニ通曉スル所アラン。但シ此ノ例ヲ以テシテハ、事實上、眞ナルモ推理上、眞ナラザレドモ、他ノ場合ニ於テハ、事實ニ於テモ眞ナリ、

而シテ又、推理ニ於テモ、亦眞ナルモノ多シ。然レドモ是レ推理ノ目的ニ於テハ、必スルヲ期セザルナリ。

次ギニ第三則ノ後半ニ於テハ、中語ノ意味、曖昧ナルベカラザルヲ云フ。然レドモ此ノ儀ニ就キテハ、前章既ニ之レヲ詳論ス。復之レヲ贅スルノ要ナシ。蓋シ前章ニモ論述スル如ク、語ノ曖昧ナルヲ禁ズルハ、特リ中語ニ限レルニアラズ、大小ノ二語、亦、曖昧ナルヲ禁ズルヿ固ヨリ論ナシ。然レドモ第一則ニ於テ、三段論体ニ使用スル語ハ三種ニ限レル所以ヲ明言ス。若シ夫レ大中小ノ三語中孰レノ一ナリトモ、曖昧二樣ノ意味ヲ附シテ之レヲ使用セン歟。即チ其ノ外面、三語ナリト雖、實際、四種ノ語ヲ使用スルモノナリ。故ニ第一則ニ於テ既ニ大中小語ノ孰レタリトモ、之レヲ曖昧ニ使用スルヲ禁ズ。而カモ第三則ニ於テ、特リ中語ヲ擧ゲテ之レガ曖昧ヲ戒ムルハ、其ノ之レヲ曖昧二樣ノ意味ニテ使用スルノ患最モ頻數ナレバナリ。

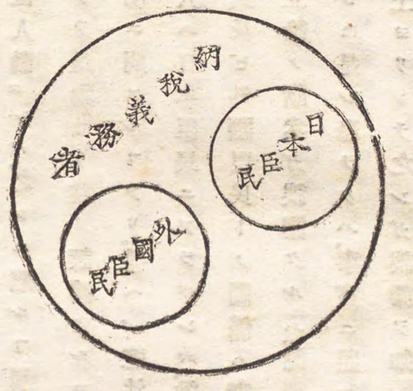
○第四則ニ於テハ、提案ニ於テ、周到セザル語ヲ斷案ニ於テ周到セシムルヲ禁ズ。何トナレバ、三段論体ノ主眼ハ、提案ノ配下ニ於テ之レガ許可ヲ受ケ、以テ斷案ヲ制定スルニアレバナリ。若シモ斷案ノ主語ナリ、又ハ客語ナリ、提案ニ於テ周到セザルモノ

ヲ斷案ニ於テ周到セシメタランニハ、是レ全ヨリシテ分ヲ論ズルニアラズ、分ヨリシテ全ヲ論ズルモノニシテ、必竟、權限外ノ措置タルヲ免レザルモノトス。此ノ權限外ノ措置之レヲ稱シテ大語或ハ小語ノ越權(Illicit process of the major or minor)ト名ヅク。

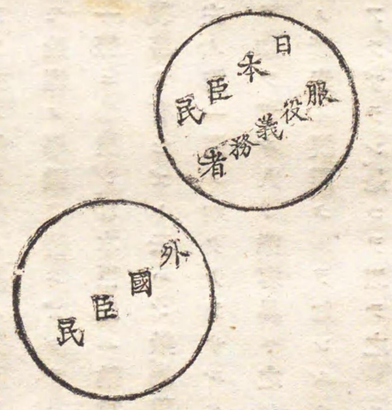
譬ヘバ、或ル東京人ハ日本人ニシテ、日本人ハ總ベテ黄人種ナレバ、東京人ハ總ベテ黄人種ナラザルベカラズト云ハン歟。抑モ前段ニ提案ニシテ、却テ後ニ立チ斷案ニシテ前ニ立ツヿアリト云ヒタルガ、右ノ三段論体ニ於テハ、提案ハ兩ッナガラ斷案ノ前ニ立ツト雖、正式三段論ト稍〻異ナリ、小提案ハ大提案ノ前ニアリ、(提案ト斷案トハ其ノ實際上ニ出現スル地位ノ前後ヲ以テ定ムベカラザルノミナラズ、均シク提案中ニ在リテモ、實際上、大提案ト小提案トガ屢〻前後シテ出現スルヿアリ。故ニ前ニモ陳ズル如ク、大小ノ兩提案ヲ區別スルニハ、其ノ實際上ニ出現スル命題ノ地位ヲ以テセズシテ、大語ト小語トガ出現ノ有無ヲ以テスルヲ要ス。)故ニ今其ノ提案ヲ前後シ、且ツ斷案ヲ變性シテ之レヲ正式ノ論体ニ書キ換ユレバ、日本人ハ總ベテ黄人種ナリ。或ル東京人ハ日本人ナリ。故ニ東京人ハ總ベテ日本人ナリトナル(以上提案ヲ前後

スルノ事ト斷案ヲ變性スルノ事トハ差シ掛リ議論ノ目的ニ對シ要ナケレバ、讀者ノ演習ニ供スルガ爲、論說ノ序デヲ以テ茲ニ之レヲ掲グ。)蓋シ此ノ論体タル之レガ提案ノ各自及ビ其ノ斷案共、事實ニ背馳スルナキモ、推理ノ上ヨリ看來ルトキハ、一ノ間違ニシテ、提案ニ於テ周到セザル小語ヲ斷案ニ於テ周到スルモノニテ、小語越權ノ誤謬ヲ犯スヿ讀者、一見シテ知ルベシ。サレバ、此ノ小語越權ノ誤謬ハ其ノ推理ノ缺典、一見直チニ視易キヲ以テ、之レヲ犯スヿ甚ダ稀ナリ。然レドモ大語越權ノ誤謬ニ至リテハ、世人動スレバ、之レニ陷ルヿ屢〻之レアリ。或ハ假令此ノ種ノ誤謬ニ實際上陷ラズ、而シテ最初ヨリ其ノ誤謬タルヲ知ルモ論理ノ學識ヲ待タズシテハ、之レガ理由ノ說明ニ窮スルヿアリ。譬ヘバ憲法二十一條ニ準據シ、日本臣民ハ納稅ノ義務ヲ有ス。外人ハ日本臣民ニアラザレバ、納稅ノ義務ヲ有セズト云ハン歟。納稅義務者ト日本臣民及ビ外國臣民トノ關係ハ實際上左ノ第一圖ノ如クナラザルベカラズ、サレバ右、立論ノ斷案ガ誤謬タルハ、論理ノ學ヲ知ラザル人ト雖、容易ニ之レヲ知リ得ベシ。然レドモ是レ恐ラクハ、事實ニ照シテ其ノ斷案ノ誤謬タルヲ知レルモノニシテ、推理ノ上ヨリシテ之レガ誤謬ヲ知レルニアラザラン。是コヲ以テ之レニ論理的理由

第一圖



第二圖



筆法ヲ以テスルモ、其ノ立論ノ斷案ガ事實ト符合スル場合ニ於テハ、之レガ誤謬ヲ認知スルニ困マズンバアラズ。譬ヘバ、憲法第二十條ヲ適用シ、日本臣民ハ兵役ノ義務ヲ有スレド、外人ハ日本臣民ナラザルヲ以テ兵役ノ義務ヲ有セズト云ハン歟。服役義務者ト日本臣民及ビ外國臣民トノ關係ハ實際上、第二圖ノ如クナラザルベカラズ。サレバ此ノ場合ニ於テハ、其ノ事實ト斷案トガ符合スルヨリシテ、世人或ハ推ヲ附スル能ハズ。故ニ斯ル場合ニ在リテハ、其ノ斷案ノ誤謬タルヲ認知スルニ難カラザレド、之レト同樣ノ

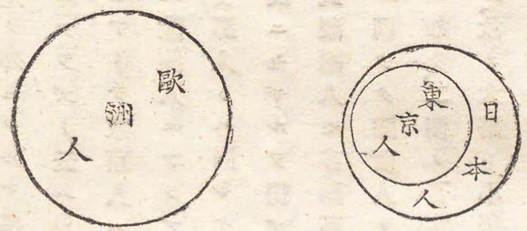
理ノ上ニ於テモ亦誤謬ナシト云ヒ、或ハ其ノ誤謬タルニ氣附クヿナカラン。然レド之レヲ論理上ヨリ看來ルトキハ、後論モ亦、前論ト均シク誤謬ノ推理タルヲ免レズ。何トナレバ、二者共ニ提案ニ於テ、論理、上周到セザル(事實ニ於テ周到スルヿアルモ、命題ノ表ニ於テ明カニ周到スルナキヲ云フ。)大語ヲ斷案ニ於テ周到スレバナリ。此ノ如キ之レヲ大語ノ越權ト云フ。要スルニ第二十條モ第二十一條モ日本臣民丈ノ事ニ就キテ、各自一個ノ從屬ヲ爲シ、外人ノ事ハ總ベテ之レヲ不問ニ附ス。サレバ外人ガ兵役ノ義務ヲ有セザルハ其ノ之レニ憲法第二十條ヲ適用スルノ結果トシテ兵役ノ義務ヲ有セザルニアラズ。他ニ理由ノ存スルモノアレバナリ。即チ國權ノ關係是レナリ。サレバ、外人ガ兵役ノ義務ヲ有セザルノ事實ハ右立論ノ斷案ト歸着ヲ一ニスト雖、此ノ斷案ヲ生ズルニ要スル眞正ノ提案、即チ理由ニ至リテハ、右立論ト全ク異ナラザルヲ得ズ。(前ニ憲法第十九條ニ對スル世上ノ見解ヲ以テ、之レガ解釋上ノ誤謬ト看做シ、變性法及ビ轉換法誤用ノ例トシテ引證シタレド、更ニ又之レヲ以テ適用上ノ誤謬ト見做スモ可ナリ。此ノ如ク見做シテ論ズルトキハ、其ノ適用上ノ誤謬ハ本文ニ立例セルモノト同シク大語越權ノ誤謬ナリトス。尙ホ臣民ノ權利ニ就キ此ノ僞

論ニ陷ラントスルノ掛念アルハ憲法第三十條ナラン。又或ル亞細亞人ハ日本人ニアラズ。日本人ハ總ベテ東洋人ナリ。故ニ東洋人ハ總ベテ亞細亞人ニアラズト云ハン歟。此ノ立論ニ於テハ。提案ニ於ケル大語ノ地位、前例ノ立論ト異ナレモ、讀者、一見シテ大語越權ノ僞論タルヲ知ルニ難カラザルナリ。

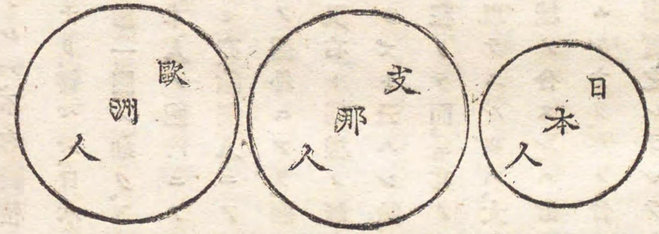
○第五則ニ於テハ、二個ノ否定提案ヲ以テシテハ、如何ナル事ヲモ推理スルニ由シナキ所以ヲ云フ。是レ同一法ト矛盾法トガ適用セラレザル場合ニ不容間位法ヲ適用スルモノニシテ、世ニ所謂、三段論体第三ノ根本原理ナルモノハ。他ノ言葉ヲ以テ此ノ第五則ヲ吐露スルニ外ナラズ。即チ三種ノ語アリ、甲、乙ト一致セズ、丙、亦、乙ト一致セザルトキハ甲ト丙トハ互ニ一致スルヿアリ、又一致セザルヿアリト云フ、是レナリ。

(第十三章末節ヲ參考セヨ。)抑モ吾人ガ三段論体ニ於テ、推理ノ力ヲ逞ウスルヲ得(他語ニテ云ヘバ、同一法ト矛盾法トヲ適用スルヲ得)ルニハ、提案ニ於テ二回或ハ一回ノ一致ナクンバアラズ。二回ノ不一致(他語ニテ云ヘバ、提案ニ於テ大小ノ二語ガ兩ヲナガラ中語ト折リ合ハザル)ヲ以テシテハ、同一法モ矛盾法モ適用スル能ハズ。既ニ此レ等、兩法ノ中孰レヲモ適用スル能ハザルヲ以テ、肯定若シクハ否定ノ斷案ヲ生ズル能ハズ。既ニ肯定若シクハ否定ノ斷案ヲ生ズル能ハズ。是コヲ以テ如何ナル斷案ヲモ生ズル能ハザルナリ。如何トナレバ、不容間位ノ大法ニ依レバ、如何ナル命題モ肯定、否定ノ外ニアルヲ得ザレバナリ。譬ヘバ、日本人ハ歐洲人ニアラズ。東京人モ亦、歐洲人ニアラズト云ハン歟。左ノ第一圖ノ如ク、日本人ト東京人トハ同ジク歐洲人ノ圏外ニアリテ東京人ハ全ク日本人ノ圏内ニアラン。若シ又之レト同様ノ筆法ニテ支那人ハ歐洲人ニアラズ。日本人モ亦、歐洲人ニアラズト云ハン歟。第二圖ノ如ク、日本人ト支那人トハ同ジク歐洲人ノ圏外ニアリ。而シテ日本人ト支那人トハ全ク其ノ圏ヲ異ニセザルヲ得ズ。然ルニ又右ト同様ノ筆法ヲ以テ神奈川縣人ハ關西人ニアラズ。武藏國人モ亦、關西人ニアラズト云ハン歟。第三圖ノ如ク、神奈川縣人ト武藏國人トハ同ジク關西人ノ圏外ニ在リテ而カモ其ノ圏ノ區域、一部分ノ相符合スルヲ看ル。此ノ如ク、二個ノ否定提案ヲ以テスルトキハ、大語ト小語トノ關係、事實ニヨリテ一ナラズ、故ニ大語ト小語トノ區域ノ合スルハ命題ノ表ニ於テ合スルノ必用アルニアラズ。事實之レヲシテ然ラシムルナリ。其ノ合セザルモ亦此ノ如シ。論理ノ上ニ於テ合スルノ必要アルニアラズ。事實之レヲシテ合セシムルナリ。サレバ事實ノ如

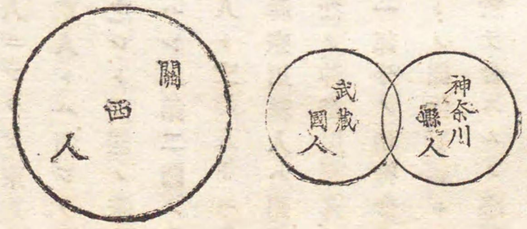
第一圖



第二圖



第三圖



何ヲ不問ニ附シ、只管提案ト斷案トノ必然的連絡ヲ探討スルヲ以テ任ズル論理ノ

目的ニ於テハ、之レヲ度外ニ置カザルベカラザルヤ知ルベシ。而シテ此ノ第五則ニ觸ルヽノ推理、便宜ノ爲、之レヲ稱シテ、兩提案否定ノ僞論(Fallacy of negative premises)ト云フ。

然レトモ其ノ實、肯定命題ニシテ外觀、否定ナルガ如キモノアリ。譬ヘバ、日本人ハ一トシテ黃人種ナラザルハナシ。東京人ハ一トシテ日本人ナラザルハナシト云ハン歟。吾人ハ此ノ兩提案ニ基ヅキ、故ニ東京人ハ一トシテ黃人種ナラザルハナシト推理スルヲ得ベシ。是レ日本人ハ總ベテ黃人種ナリ、東京人ハ總ベテ日本人ナリ。故ニ東京人ハ總ベテ黃人種ナリト論ズルト一ナリ。又或ハ日本人ニアラザル人ハ總ベテ外人ナリ。英人ハ總ベテ日本人ニアラズト云ハン歟。吾人ハ之レヨリシテ、英人ハ總ベテ外人ナリト推理スルヲ得ベシ。何トナレバ、大提案ニ於ケル打チ消シ言葉ノ中語ニ關スルモノタルハ讀者ノ一見忽チ知ラルヽ所ナルガ、小提案ニ於テモ其ノ打チ消シ言葉ハ連辭ニ關スルガ如クニ看エテ、其ノ實、連辭ニ關セズシテ中語ノ一部タレバナリ。故ニ此ノ立論ニ於ケル中語ハ非日本人ニシテ、小提案ノ英人ハ總ベテ日本人ニアラズトハ英人ハ總ベテ日本人ニアラザル人(即チ非日本人)ナリト云フノ畧体

ナリト知ルベシ。

○第六則ノ前半ニ於テハ、若シ提案ノ一ニシテ否定ナルトキハ、斷案、亦、否定ナラザルベカラザルヲ云フ。是レ矛盾ノ大法ヲ直接ニ三段論体ニ適用スルモノニ外ナラザルナリ。凡ソ肯定命題ニ於テハ、少クトモ主語ガ代表スル事物ノ幾分、客語ガ代表スル事物ノ幾分ト相合シ、他語ニテ云ヘバ、主語ガ代表スル事物ハ客語ガ代表スル事物ト幾分カ同一物ナルヲ要ス。之レニ反シ、否定命題ニ於テハ少クトモ主語ガ代表スル事物ノ幾分、客語ガ代表スル事物ト相異ナルヲ要ス。然ラバ則チ一ノ提案、肯定ニシテ、他ノ一ノ提案、否定ナランニハ、既ニ提案ニ於テ中語ノ手段ヲ以テ大語ガ代表スル事物ト小語ガ代表スル事物トガ少クトモ幾分カ相異ナル所以ヲ間接ニ陳ズルヿ明カナリ。是コニ於テ吾人ハ斷案ニ於テ大語ト小語トヲ比較シ來リ、既ニ提案ニ於テ間接ニ相異ナリトスル所以ヲ直接ニ言明ス。若シ或ハ提案ニ於テ大語ト小語トガ間接ニ相異ナル所以ヲ陳ジナガラ、更ニ斷案ニ於テ其ノ相同ジキ所以ヲ陳ジタランニハ、是レ矛盾ノ大法ニ抵觸セザルヲ得ズ。夫レ此ノ如シ。是コヲ以テ、又第六則ノ後半ニ於テ、否定斷案ヲ立證スルニハ、提案ノ一、亦、否定ナラザルベカラザルヲ云フ。何トナ

レバ、斷案ニ於テ否定命題ヲ以テ、大語ト小語トガ相合セザル所以ヲ陳ジナガラ、提案ニ於テ更ニ間接ニ大語ト小語トガ相合スル所以ヲ陳ズルヲ以テ、其ノ斷案ヲ證據立テ得タリトセン歟。同シク矛盾ノ大法ニ抵觸スレバナリ。讀者或ハ第六則ノ前半ハ後半ヲモ含蓄シ、後半ヲ以テ蛇足視スルヤモ知ルベカラズ。若シ或ハ然ラン歟。是レ大ニ見解ヲ誤レルモノナリ。前半ニ於テハ、一ノ提案、否定ナルトキハ、其ノ斷案、亦、否定ナラザルベカラザルヲ云フ。然レモ未ダ以テ否定斷案ヲ生ズルニハ、一ノ提案否定ナルノ外、他ニ道ナキ所以ヲ云ハズ。是コニ於テ更ニ後半ニ於テ、斷案否定ナルトキハ、之レヲ生ズル提案ノ一、亦、否定ナラザルベカラザルヲ云フノ必要アリ。更ニ之レヲ論理的ノ言語ニテ云ヘバ、前半ニ於テハ、一ノ提案、否定ナルヨリ生ズル斷案ハ總ベテ否定斷案ナルヲ云フ。然ルニ後半ニ於テハ、否定斷案ハ總ベテ一ノ提案否定ナルヨリ生ズルモノナルヲ云フ。（第十三章矛盾法ノ條下ヲ參考セヨ。）

○第七及ビ第八ノ二則ニ至リテハ、前數則ヨリ分派セラルヽモノナレ𪜈、今茲ニ之レガ説明ヲ試ムルハ、讀者ニ對シ、不便ノ憾ナキ能ハズ。依リテ余ハ後文ニ至リ、讀者ガ理解心ノ熟スルヲ俟チ、更ニ適當ノ場所ニ於テ之レガ説明ヲ論述スルトコロア

ラントス。

第二十章。三段論体ノ樣式。

○余輩ハ既ニ前章ニ於テ、眞正、確實ノ三段論体ヲ虛僞、不確實ノ三段論体ヨリ識別スルニ要スル原理及ビ此ノ原理ヨリ生ジ來レル諸規則ヲ提擧シテ之レヲ讀者ニ示シタリ。本章及ビ次ギノ二章ニ於テハ、三段論体變化ノ儀ニ就キ論述スル所アラントス。

仰モ三段論ノ形体ヲ變化セシムルノ要素ニ二アリ。其ノ第一ヲ樣式ト(Mood)云ヒ、其ノ第二ヲ格式(Figure)ト名ヅク。今先ヅ第一、樣式ノ變化ヨリメ說キ起サン。其ノ所謂、樣式ノ變化トハ一ノ三段論体ニ於ケル各命題ガ其ノ語ノ地位ヲバ變化セズシテ、唯其ノ命題ノ分量及ビ性質ヲ變化スルヲ云フ。譬ヘバ甲ハ總ベテ乙ナリ。丙ハ總ベテ甲ナリ。丙ハ總ベテ乙ナリト云ハン歟。之レヲ甲ハ總ベテ乙ニアラズ。丙ハ總ベテ甲ニアラズ。丙ハ總ベテ乙ニアラズト變化スルハ樣式ノ變化ナリ。又或ル甲ハ乙ナリ。丙ハ總ベテ乙ナリ。丙ハ總ベテ甲ナリト云フヲ變化シテ甲ハ總ベテ乙ナリ。或ル丙ハ乙ナラズ。丙ハ總ベテ甲ニアラズト云ヘバ樣式ノ變化ナリ。今此ノ方法ヲ以テ一

ノ三段論体ノ變化ヲ爲シ盡スヤハ、幾樣ノ變化ヲ生ズルヤ、之レヲ計算スルハ敢テ難キニアラズ。A、E、I或ハOナル四命題中孰レノ一タリトモ、皆以テ大提案ト爲スヲ得ベク、而シテ又此レ等四命題ノ中孰レノ一タリトモ、之レヲ以テ小提案ト定メ、前ノ大提案ト結ビ附クルヲ得ベク、而シテ更ニ右四命題ノ孰レノ一タリトモ、之レヲ取リテ斷案ト爲シ、大小ノ兩提案ニ結ビ附クルヲ得ベシ。今左ニ變化ノ端緒ヲ列序シテ以下ノ變化ヲバ讀者ノ所爲ニ任ズ。

今此ノ方法ヲ以テあらゆる變化ヲ爲シ盡スヤハ、4×4×4即チ六十四ノ變体アルヲ知ルベシ。但シ茲ニハ、煩雜ヲ避クルガ爲、二十三ノ變体ヲ記スルノミ。讀者試ミニ上ニ記スル方法ニ倣ヒ、殘餘ノ變化ヲ記述スベシ。今其ノ變化ノ列序チ云ハン。先ヅ冒頭ニAAA(AAA)ト記スルヲ以テ正當トスト雖、今、便宜ノ爲、AAAト記ス。以下、行文ノ間ニ挿入セル樣式皆之レニ準ズ。)ヨリ起リテEIOノ順序ヲ追ヒテ遞次、右端ノ一字ヲ變化シ、遞次之レヲ下ニ書シ、此ノ變

(發端) AAA	AIA	EAA
AAE	AIE	EAE
AAI	AII	EAI
AAO	AIO	EAO
AEA	AOA	EEA
AEE	AOE	EEE
AEI	AOI	EEI
AEO	AOO	(以下準之)

化ノ終ルヤ、更ニ中央ノ文字Aヲ變ジテEニ改メ、AEAヲ以テ起リ、前ト同一ノ順序ニ從フテ之レガ變化ヲ終ルニ至ル。此ノ如ク、AEIOノ順序ヲ以テ中央ノ文字ヲ一回變ズル毎ニ、AEIOノ順序ヲ追ヒ、右端ノ文字、四回ノ變化ヲ累ネ、終ニ十六回ノ變化ヲ經ルノ後、更ニ始メテ左端ノ一字AヲEニ改ム。左端ノ一字Eニ改マルヤ、其ノ中央字及ビ右端字ハ前ト同樣ノ順序ト回數トヲ以テ左端ニ於ケルE字部ノ變化ヲ終ル。其ノ他皆之レニ準ズ。サレバ、此ノ樣式全体ノ上ニ行ハルヽ變化ノ順序ハA、E、I、Oノ順序ニシテ、大提案モ小提案モ、將又、斷案モ皆此ノ順序ヲ以テ變化シ、而シテ其ノ變化ノ最モ頻數ナルハ右端字即チ斷案ニシテ、樣式ヲ換ユルノ都度、每回改マルヲ以テ其ノ變化ノ全數通ジテ六十四回ナラザルベカラズ。變化ノ回數、斷案ニ次グモノハ小提案即中央字ニシテ、小提案ノ變化スル一回每ニ斷案ノ變化スル四回ナルヲ以テ、小提案ハ通ジテ十六回ノ變化ヲ經ザルベカラズ。大提案ノ如キハ、變化ノ最モ少キモノニシテ其ノ一回ノ變化ヲ爲スヤ、小提案ハ四回ノ變化ヲ爲シ、斷案ハ十六回ノ變化ヲ爲スガ故ニ大提案ノ變化スルコト通ジテ四回ナリトス。

○樣式ニ確實ト不確實トノ區別アリ。前陳ノ所說ハ確實ト不確實トノ區別ヲ置カズシテ二者ヲ混同シ、樣式ノあらゆる變化ヲ實行スルノ方法ヲ示シタルニ過ギザレモ、吾人ハ更ニ之レニ前章ノ規則ヲ適用シ、以テ其ノ確實ナルモノト不確實ノモノトヲ淘汰セザルベカラズ。今之レヲ適用スル所以ノ一斑ヲ云ハン。譬ヘバ、AEAハ第六則ノ前半ニ牴觸ス。何トナレバ、第六則前半ニ於テハ、一ノ提案否定ナルトキハ、其ノ斷案否定ナルヲ要スレバナリ。又第六則後半ニ於テ斷案否定ナルトキハ、提案ノ一、亦、否定ナルヲ要スト云フ。故ニAIEハ不確實ナリトス。然ルニEEA、EEE等ノ如キハ第五則ニ牴觸スルヲ看ル。（第五則ハ二個ノ否定提案ヲ以テ推理スルヲ禁ズ。）讀者若シ右等不確實ナル樣式ノ例證ヲ擧ゲント欲スレバ、容易ニ之レヲ擧グルヲ得ベシ。例セバ、今、日本人ハ總ベテ黃人種ナリ。英人ハ總ベテ日本人ナリト云ハン歟。即チAEAノ樣式ニシテ、其ノ不確實ノ推理タルヤ一目シテ明カナリ。

又、六十四ノ樣式中、第七及ビ第八則ヲ以テ排除スベキモノ許多アリ。譬ヘバ、AIA及ビEIEハ第八則ニ觸ル。何トナレバ、提案ノ一、特稱ナルニ、其ノ斷案全稱ナレバ

ナリ。IIA、IOO、OIO等ノ樣式ハ第七則ニ觸ル。何トナレバ、二個ノ特稱命題ヲ用ヒテ斷案ヲ生ズレバナリ。又、樣式ニヨリテハ、二個或ハ剩ヘ三個ノ規則ニ併セテ牴觸スルモノアリ。譬ヘバ、OOOハ第五則ト第七則トニ牴觸シ、OOAハ第五則及ビ第八則ニ牴觸スルノ外兼テ又、第六則ニモ牴觸ス。今茲ニハ說ノ冗長ニ涉ルヲ恐レ、六十有餘ノ樣式ヲ羅列シテ逐一其ノ確實ナルモノト不確實ナルモノトヲ淘汰セズト雖、讀者前ニ出ダセル方法ニ從ヒ、一切ノ樣式ヲ列擧シ、之レニ三段論体ノ諸規則ヲ適用シ、之レガ淘汰ヲ試ムルヲ可トス。是レ三段論ノ規則ヲ實際ニ運用スルノ術ニ習熟スルガ爲トシテハ、甚ダ良好ノ手段タルベシ。若シモ讀者ニシテ手順ヲ定メテ片端(カタハシ)ヨリ之レヲ爲スニ於テハ、豫想外、迅速ニ之レガ實行ヲ遂グルヲ得ベシ。斯クテ、規則ヲ適用シ、之レニ牴觸スルモノヲ排除スルニ、之レガ排除ヲ免ルヽモノ十二ナルヲ發見スルナラン。今之レヲ列擧スレバ左ノ如シ。

OAO

然レドモ此ノ十二個ノ樣式中ニ於テ、IEOハ提案ニ於テ周到セザル大語ヲ斷案ニ於テ周到スルモノナレバ、到底、第四則ニ牴觸スルモノナリ。サレバ、眞ニ三段論体ノ規則ニ牴觸セザル樣式

IAI
(IEO)

ハ唯ダ僅カニ十一個ニ過ギザルガ、今其ノ各自ノ規則ニ抵觸スル樣式ヲ類別スレバ左ノ如シ。

第五則ニ抵觸スルモノ……一六
第七則ニ抵觸スルモノ……一二
第六則前半ニ抵觸スルモノ……一二
第八則ニ抵觸スルモノ……八
第六則後半ニ抵觸スルモノ……四

EAE
EAO
EIO

第四則ニ抵觸スルモノ……一
以上、排除セル樣式ノ全數……五三
殘留スルモノ……一一
合計……六四

AAA
AAI
AEE
AEO
AII
AOO

第二十一章。三段論体ノ格式。

○前ニモ云ヘル如ク、三段論体ノ變化ヲ生ズルノ要素ニ、樣式ノ外、更ニ格式ナルモノアリ。此ノ格式之レヲ英語ニテふぎゅーあ(Figure)ト云ヒ、羅甸語ニテふぎゅら(Figura)

ト云フ。從來此ノふぎゅーあ或ハふぐらニハ、圖式ト云ヘル譯語アリ。然レモ如何ナル名稱モ、此ノ譯語程、世ニ適切ナラザルモノハアラザルヘシ。一体、此ノふぎゅあー ト云フ語ハ元來、物ノ形チヲ意味シ、此ノ意味ヨリ轉シテ、物ノ圖畫或ハ肖像ノ義ヲ帶ブルニ至リタルハ認ユベカラズ。是レ恐ラクハふぎゅーあヲ譯シテ圖式ト云フ所以ナラン。然レモ論理ニ所謂ふぎゅーあト云ヘルハ、修辭學又ハ文法抔ニテふぎゅーあト稱スト云ヘル觀念ヲ借リテ命ジタル名稱ナリ。扨然ラバ、修辭學抔ニテふぎゅーあト稱スルハ、如何ナル事カト云フニ、人心ヲ感激セシムルノ目的ヨリ出デ、事物ヲ直叙セズ、態ト形容語ヲ以テ尋常ヨリモ異ナリタル体裁ニヨリ、其ノ摸樣ヲ痛快ニ寫出スル所ノ言葉遣ヒヲ云フ。サレハ、直叙体ヲ正体ノ文章トシテ云ヘバ、修辭學ニ所謂ふぎゅーあハ變体ト譯スルモ不可ナルベシ。譬ヘバ李太白ノ「春夜宴桃李園序」ニ曰フ。「夫天地者萬物之逆旅。光陰者百代之過客。」是レ一ノふぎゅーあナリ。

右ノ如ク。ふぎゅーあナル名稱ハ、元來、修辭學抔ニテ用ヒタルモノヲ借リ來リテ論理ニ用ユルヿトナリタルガ、之レガ論理ニ用ユルニ至リテハ、其ノ意味、修辭學上ノ意味ト大ニ異ナリ、元來ノ意味ヲバ、全ク失墜シタリト見ユ。何トナレバ、前ニモ云ヘル

如ク、修辭學ニテふぎゅーあトハ直叙体ヲ正体トシ、之レニ對スル變体ノ文章ヲ稱スレモ、論理ニ所謂ふぎゅーあトハ正体ト變体トノ區別ヲ立テヽ云フノ義ニアラザレバナリ。サレバ、余ハ茲ニ原語ノ意味ニ關セズ、此ノふぎゅーあニ當ツルニ前ノ樣式ニ對シ、格式ナル名稱ヲ以テス。而シテ今此ノ格式ヲ訓シテ提案ニ於テ、中語ガ大語ト小語トニ對スル關係ノ變化ニヨリテ、生ズル三段論体ノ形式ナリト云フ。樣式ノ變化ニ於テハ、三段論体ヲ構造スル各命題ノ語ノ地位ヲバ措キテ論ゼズ只管其ノ命題ノ分量及ビ性質ニ於ケル變化ヲ認ムト雖、之レニ反シ、格式ノ變化ニ於テハ、吾人ガ眼中ニ入ルヲ要スルモノハ兩提案ニ於ケル大中小語ノ地位ニアリ、而シテ此ノ格式ニヨリテ生ズル變化ニ四種アリ、之レヲ稱シテ四種ノ格式ト云フ。余ハ今此ノ四種ノ格式ヲ表彰スルニ當リ、讀者ノ一見通曉シ易キヲ欲シ、(大)ヲ以テ大語、(即チ斷案ニ於テ客語ノ地位ニ立ツモノ)ヲ示シ、(中)ヲ以テ中語、(小)ヲ以テ小語(即チ斷案ニ於テ主語ノ地位ニ立ツモノ)ヲ示サントス。其ノ各格式ノ表彰法、左ノ如シ。

(第一格式)中大　小中　小大

(第二格式)大中　小中　小大

(第三格式)中大　小中　小大

(第四格式)大中　小中　小大

右四種ノ格式ハ讀者痛ク注意シテ之レヲ肺肝ニ銘印スルヲ要ス。而シテ之レヲ銘印スルノ最便法ハ中語ノ地位ニ着目スルニアリ。即チ第一ノ格式ニ於テハ、中語ハ大提案ニ主語トナリ、小提案ニ客語タリ。第二ノ格式ニ於テハ、大提案ニ客語トナリ、小提案ニモ亦、客語タリ。第三ノ格式ニ於テハ、大提案ニ主語トナリ、小提案ニモ亦、主語タリ。第四ノ格式ニ於テハ、大提案ニ客語ニシテ、小提案ニ主語タリ。而シテ斷案ニ至リテハ、四種ノ格式通ジテ皆其ノ小語ト大客語トノ地位ヲ同フスルヲ看ル。

抑モ大語、中語及ビ小語トハ最初ありすとーつるガ論理的學語トシテ採用シタルモノニシテ、後世ノ論理家、皆、亦あ氏ノ顰ニ倣ヒ、此レ等ノ學語ヲ採用シテ、三段論体ニ於ケル語ノ種類ヲ區別セリ。此レ等ノ名稱今ハ一般論理家ノ間ニ廣ク採用セラレテ一三段論体ニ於ケル語ノ種類ヲ區別スルニ甚ダ便ナレ𪜈、茲ニ念ノ爲、讀者ノ注意迄ニ斷リ置カザルベカラザルヿアリ。抑モ讀者尙ホ未ダ論理ノ學識ニ通曉セズシテ、大中小語ノ名稱ヲ耳ニセバ、恐ラクハ之レニ外延ノ意味ヲ附シ、大語ヲ以テ其ノ外延最モ大ナルノ義ニ解シ、中小ノ二語ヲ以テ其ノ外延遞次、大語ヨリ小ナルノ意味ニ釋スルナラン。然リ、あ氏ノ如キモ最初斯ル意味ヲ以テ此レ等ノ名稱ヲ採用シタリ。あ

氏ハ實ニ第一ノ格式ヲ以テ特リ完全ノ格式ト看做シ、他ノ格式ヲ以テ不完全ト認メタリ。(但シ第四ノ格式ハ全クあ氏ノ眼中ニ入ラズ、後世ニ至リ、發見セラレタリ。)今、乙(中)ハ總ベテ甲(大)ナリ。丙(小)ハ總ベテ乙(中)ナリ。故ニ丙(小)ハ總ベテ甲(大)ナリト云ハン歟。是レ第一ノ格式(之レヲ詳言スレバ、讀者、後文ニ至リテ知ラルベキガ如ク、第一格式ノ第一樣式)ニ屬ス。あ氏ハ之レヲ解釋シテ曰フ。乙ハ總ベテ甲ノ内ニアリ、丙ハ總ベテ乙ノ内ニアリ。故ニ丙ハ總ベテ甲ノ内ニアリト。サレバ、此ノ論体ヲ以テスル𪜈ハ、尋常、甲ノ外延、最大ニシテ、丙ハ最小ナリ。而シテ乙ノ外延ハ甲ト丙トノ中間ニアルヤ、固ヨリ論ヅルヲ俟タズ。然レ𪜈第一ノ格式ヲ以テスルモ、其ノ論体ノ中ニ否定命題ヲ混ズル𪜈ハ、其ノ命題ノ總ベテ全稱ナルニモ拘ラズ、右ノ見解ハ通ゼザルベシ。何トナレバ、否定命題ヲ以テシテハ、主語ト客語トノ外延ノ範圍ヲ比較スルニ由シナケレバナリ。而シテ又總ベテノ命題、皆、肯定ナルモ、其ノ中ニ特稱命題ヲ混ズル𪜈ハ、あ氏ノ見解ハ充分ニ適切ナル能ハズ。何トナレバ、特稱肯定命題ニ於テハ、主語ノ外延、客語ノ外延ヨリモ廣キヿアレバナリ。譬ヘバ、或ル亞細亞人ハ日本人ナリト云フニ於ケルガ如シ。サレバ、大中小語ノ名稱ハ讀者之レヲ以テ外延ノ廣狹ヲ意味

スルノ義ニ解セス、其ノ語面ニ拘泥セズシテ余ガ前ニ此レ等ノ語ヲ訓釋スル際ニ云ヘルガ如ク(第十八章)斷案ニ於テ客語ノ地位ニ立ツモノ之レヲ大語ト云ヒ、其ノ主語ノ地位ニアルモノ之レヲ小語ト云ヒ、提案ニ於テ兩回、出現スルモノ之レヲ中語ト云フト心得テ可ナリ。或ハ大小ノ二語ハ姑ク置キ、中語ノ如キハ、二語ノ中間ニ价入シ、之レガ離合ヲ媒妁スルノ義ニ解スルモ亦通ゼザルニアラズ、實ニ斷案ニ於テ大語ト中語トガ欵ヲ通ズルト通ゼザルトハ、提案ニ於ケル中語ノ媒妁、如何ニヨリテ分ルヽモノトス。(此ノ一節、後文ニ至リ、更ニ翻リテ之レヲ對照セバ、讀者大ニ其ノ義ニ通ズル所アラン。)

○前章ノ終リニ於テ三段論体ノ規則ヲ適用シテ淘汰セル六十有餘ノ樣式中之レガ規則ニ抵觸セザルモノ十一個ナル所以ヲ陳ジタルガ、今ヤ吾人ハ此ノ十一個ノ樣式ヲバ、四種ノ格式ニ當テヽ、更ニ再之レガ淘汰ヲ試ミザルベカラズ、即チ一ノ格式毎ニ十一個ノ樣式ヲ當テヽ、之レヲ淘汰スルヲ要スルガ故ニ、其ノ淘汰ノ手數ヲ經ベキ樣式ノ全數ハ通ジテ四十四個ナリトス、今此ノ四十四個ノ樣式ヲ逐一、點檢スルハ、甚ダ煩雜ナルニ似タレモ、讀者ガ論理力ヲ鍛錬スルノ手段トシテ偏強ノモノナ

レバ、其ノ煩雜ニ辟易セズシテ之レガ點檢ヲ實行セザルベカラズ。今其ノ淘汰ノ一斑ヲ左ニ叙述セン。例スルニ、

中ハ總ベテ大ナリ。　小ハ總ベテ中ニアラズ。

故ニ小ハ總ベテ大ニアラズ

ト云ハン歟。是レ第一格式ニ於ケルAEE樣式ナルガ、大語越權ノ過誤ヲ犯シ、以テ第四期ニ抵觸スルモノトス。何トナレバ此ノ論体ニ於テハ、其ノ斷案否定ニシテ、大語ノ意味、周到スレモ、其ノ大語ハ大提案ニ於テ周到セザレバナリ。然レドモ此ノ樣式AEEハ第二格式ヲ以テスレバ、確實ニシテ毫モ規則ニ抵觸スル所ナシトス。即チ左ノ如シ。

大ハ總ベテ中ナリ。　小ハ總ベテ中ナラズ。

故ニ小ハ總ベテ大ナラズ。

然レモ、第三格式ヲ以テスルトキハ、此ノ樣式ハ

中ハ總ベテ大ナリ。　中ハ總ベテ小ナラズ。

故ニ小ハ總ベテ大ナラズ

トナル。此ノ論体ヲ以テスルトキハ、大提案ニ於テ周到セザル大語ヲ斷案ニ於テ周到スルヲ以テ、再ビ第四則ニ抵觸セザルヲ得ズ。故ニ此ノ論体ハ不確實ヲ免レザルナリ。

然レモ此ノ様式ハ第四格式ニ至ルトキハ、轉ジテ、

大ハ總ベテ中ナリ。中ハ總ベテ小ナラズ。

故ニ小ハ總ベテ大ナラズ

トナル。サレバ此ノ論体ノ確實ナルヤ知ルベシ。

扨右ノ方法ニ準據シ、四十四個ノ様式ヲ逐一、點檢スルニ、最後ニ至リ孰レノ規則ニモ抵觸セザル様式通シテ二十四個アルヲ發見スベシ。是レ則チ吾人ガ認メテ以テ確實ト看做スヲ得ベキ様式ノ全數ナリトス。今之レヲ上ニ羅列ス。

抑モ此レ等二十四個ノ様式ヲ瞥見スルニ、其ノ中、五個ノ様式ハ括弧ヲ以テ、之レヲ他ヨリ分離シアルヲ看ル。是レ此レ等五個ノモノハ、吾人ガ推理ニ益スル所甚ダ少キヲ以テ之レヲ他ト區別センガ爲ナリ。世ノ論理家此レ等様式ノ斷案ヲ稱シテ微弱斷案(Weakened conclusion)ト云フ。微弱斷案トハ正當ニ全稱斷案ヲ生スルヲ得ベキ權利ヲ有スル提案ヲ以テシテ、故ニ其ノ地位ヲ卑下シ內齒ノ所爲ニ出デ、特稱斷案ヲ生ズルノ謂ヒナリ。譬ヘバ、第一格式ノAAIナル様式ヲ以テ例スルニ、

(第四格式)
AAI
AEE
IAI
EAO
EIO
(AEO)

(第三格式)
AAI
IAI
AII
EAO
OAO
EIO

(第二格式)
EAE
AEE
EIO
AOO
(EAO)
(AEO)

(第一格式)
AAA
EAE
AII
EIO
(AAI)
(EAO)

日本臣民ハ總ベテ法律ノ定ムル所ニ從ヒ、納稅ノ義務ヲ有ス。

東京人ハ總ベテ日本臣民ナリ、

故ニ或ル東京人ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ、納稅ノ義務ヲ有ス。

此ノ例ニ於テハ、吾人ハ其ノ兩提案ヲ以テ東京人ハ總ベテ法律ノ定ムル所ニ從ヒ、納稅ノ義務ヲ有ストノ斷案ヲ正當ニ生ズルヲ得ベキニ、左ハナクシテ之レト同性質ノ特稱命題ヲ生ジタリ、是レ微弱ノ斷案ナリ。然レモ是レ決シテ誤謬ノ推理ト云フベカラズ。讀者モ知レル如ク、對當法ニ於テ、一ノ全稱命題ニシテ眞ナラン歟、之レト主語及ビ客語ヲ同フスル同性質ノ特稱命題、亦、眞ナレバナリ、サレバ、微弱斷案ヲ

有スル論体ヲ指シテ一ノ誤論ト云フハ非ナリト雖、此ノ如キハ實際上、無用ノ推理ト云フベシ。斯クテ微弱斷案ヲ有スル様式、五個ヲ無益視シテ排除スルトキハ、殘餘ノ様式通シテ十九個トナル。是レ實ニ確實ニシテ且ツ有用ナル様式ノ全數ナリトス。

第二十二章

第二十二章。三段論体ノ格式ノ續。

○前章ニ於テ總ベテノ格式ニ於ケル確實、有用ノ様式通シテ十九個ナル所以ヲ云ヘリ。今本章ニ於テハ、此レ等十九個ノ様式ヲ圖解シテ之レガ性質ヲ講究セン。

第一格式。

中大
小中
小大

其ノ様式四アリ、左ノ別紙ニ示スガ如シ。

第一格ノ論体コソ眞ニ正格ノ三段論トモ稱スベキモノニシテ、此ノ第一格ヲ正格トスレバ、他ハ之レガ變格ト云フテ可ナリ。故ニふぎゅーあナル語ノ正當ナル意味ヲ以テ論ズレバ、第二以下ノ格式ヲ稱メコソ斯ク云フベケレ、總ベテノ格式ヲ斯ク名ツクルハ、畢竟不當ノ名稱ニ外ナラズ。(是レ余ガふぎゅーあナル原語ノ意味ニ拘ラズ、茲ニ格式ナル譯語ヲ提出スル所以ナリ)。而シテ尙ホ且ツ此ノ四様式中最モ重要ノ地位ニ

立ツモノハ、第一及ビ第二様式ニシテ、第三及ビ第四様式ノ如キハ、第一及ビ第二様式ノ變体ト看做スモ可ナリ。何トナレバ、第一様式ト第三様式トハ其ノ大提案ヲ同フシ、其ノ小提案ト斷案トハ互ニ差等對當ノ地位ニ立チ、第二ト第四トノ如キモ亦然カレバナリ。更ニ比較ニ便スルガ爲、此ノ四種ノ様式ヲ例スレバ、左ノ如シ。

第一様式

日本臣民ハ總ベテ法律ノ定ムル所ニ從ヒ、納税ノ義務ヲ有ス。
東京人ハ總ベテ日本臣民ナリ。
故ニ東京人ハ總ベテ法律ノ定ムル所ニ從ヒ、納税ノ義務ヲ有ス。

第三様式

日本臣民ハ總ベテ法律ノ定ムル所ニ從ヒ納税ノ義務ヲ有ス。
或ル東京人ハ日本臣民ナリ。
故ニ或ル東京人ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ納税ノ義務ヲ有ス。

第二様式

外國臣民ハ總ベテ公務ニ就クノ權利ヲ有セズ。
英國人ハ總ベテ外國臣民ナリ。
故ニ英國人ハ總ベテ公務ニ就クノ權利ヲ有セズ。

第二十二章

第四樣式
- 外國臣民ハ總ベテ公務ニ就クノ權利ヲ有セズ。
- 或ル英國人ハ外國臣民ナリ。
- 故ニ或ル英國人ハ公務ニ就クノ權利ヲ有セズ。

サレバ、余ハ前ノ圖解ニ於テ第三及ビ第四ノ樣式ニ於テ大中小語ノ關係ヲ示スニ各自二個ノ圖面ヲ以テシタレトモ、此ノ外、第一樣式ト同樣ノ圖面ヲ以テ第三樣式ヲ表彰シ、第二樣式ト同樣ノ圖面ヲ以テ第四樣式ヲ表彰シ得ルノ場合アルベシ。然レドモ、是レ事實ニ於テ必スベカラザルナリ、之レヲ要スルニ第一格、第一樣式ハ肯定斷案ヲ有スル總ベテノ三段論体ノ標準ニシテ、第二樣式ハ否定斷案ヲ有スル總ベテノ三段論体ノ標準ナリトス。即チ此ノ二個ノ樣式ニ於テハ、大提案ハ孰レモ全稱命題ニシテ、原理ノ地位ニ立チ、小提案ハ孰レモ肯定命題ニシテ、大提案ヲ適用セラルベキ事柄ノ地位ニ立チ、終リニ至リ、斷案ハ孰レモ全稱命題ニシテ、大提案ヲ實際ニ適用スルモノトス。

第一格式ノ通則ヲ云ヘバ、(第一)大提案ハ通ジテ皆、全稱命題ニシテ、小提案ハ通ジテ皆肯定命題ナリ。而シテ(第二)其ノ斷案ハ性質ニ於テハ大提案ト同一ニシテ、分量ニ

於テハ小提案ト同一ナリトス。

其ノ他、第一格式ノ特異性ヲ云ヘバ、總ベテノ格式中、全稱命題Aヲ立證スルノ推理ハ第一格ノ外ニアルナク、又AEIO各種命題ノ斷案ヲ有スル確實三段論体ハ第一格アルノミ。ありすとーつるハ四種ノ格式中、第一格ヲ以テ完全ノ格式トシ、他ノ格式ヲ以テ總ベテ不完全ト看做シタルガ、前ニモ陳ズル如ク、あ氏ガ採用シタル大中小語ノ解釋ガ極メテ嚴密ニ當テ嵌マルハ第一格式中ニ在リテモ唯僅カニ第一樣式ニアリテ存ス。

第一格式、諸樣式圖解ノ始メニ於テ括弧中ニ挿入スル歐語ハ中世ノ論理家ガ各自ノ樣式ニ附シタル名稱ナルガ、此ノ名稱ヲ組ミ立ツル歐字ニハ、ソレゾレ意味アレドモ、後ニ至リ以下ノ三格ニ於ケル諸樣式ノ圖解ニ附スルモノト共ニ取リ纏メテ一次ニ之レヲ說明セントス。今差シ當リ讀者ガ注意スルヲ要スルハ、其ノ語中ニ顯ハルヽ母音ノ歐字ニアリ。即チ其ノ母音ハ各樣式ニ於ケル命題ノ種類ヲ代表スルモノトス。故ニ讀者下ニ揭ゲントスル第二格式以下ノ諸樣式ノ名稱ト共ニ深ク之レヲ心肝ニ銘セザルベカラズ。

第二格式。

大中
小中
小大

其ノ樣式四アリ、左ノ別紙ニ圖解スルガ如シ。

第二格式ノ通則ニ曰フ。(第一)一提案、否定ナリ。(第二)大提案全稱ナリト。此ノ通則ノ理由ニ至リテハ、之レヲ三段論体ノ通則ニ訴ヘテ知ルヲ得ベシ。若シモ兩提案共ニ肯定ナラン歟。此ノ格ニ於テハ、中語ハ兩提案ニ於テ共ニ客位ニ立ツヲ以テ中語、不周到ノ誤謬ニ陷ラザルヲ得ズ。而シテ又、大提案ニシテ特稱ナラン歟。大語、越權ノ過失ヲ犯サヾルヲ得ズ、何トナレバ、第二格ニ於テハ總ベテノ斷案皆、否定ナレバナリ。又第一格式ニ於テハ、其ノ斷案AEIOノ各種命題ヲ網羅スレドモ、第二格式ニ於テハ其ノ斷案EIOトニシテ、其ノ小提案、第一格ノ斷案ト同一ノ順序ヲ以テAEIOノ各種命題ヲ網羅ス。又第一格式ニ於テ、其ノ第三及ビ第四樣式ヲ以テ第一及ビ第二ノ變体ト看做スヲ得ベキガ如ク、第二格式ニ於テハ、第三及ビ第四樣式ヲ以テ第一及ビ第二ノ變体ト看做スヲ得ルノ場合アリトス。故ニ第一及ビ第二ト第三及ビ第四トノ圖解ハ或ル場合ニ於テハ、到底、同一ニ歸セザルヲ得ズ。

前ニモ陳ズル如ク第一格ニ於ケル論体ヲ以テ正格トスレバ、他ハ皆之レガ變格ト看做サヾルベカラズ。是コヲ以テ、古來ノ論理家皆第一格ヲ以テ第二以下諸格ノ確否ヲ律シ、第一格ト他ノ格トノ異同ヲ究明シ論理ノ法則ニ準據シ、他格ノ樣式ヲシテ第一格ノ樣式ニ歸セシムルノ方法ヲ講ゼリ。此ノ方法ヲ稱シテ還原法(Reduction)ト名ヅク。即チ第二格以下、不完全ノ樣式ヲシテ第一格、本來ノ完全原式ニ復歸セシムルノ義ナリ。既ニ總ベテノ樣式ノ確否ヲ檢定スルニ足ルベキ三段論体通則ノ存在スルアリ。故ニ此ノ還原法ノ如キハ、敢テ必要ト云フニアラザレ𪜈、是レ亦、不完全樣式ノ確否ヲ檢定スルノ一法トシテ採ルベキ所アルノミナラズ、吾人ガ論理力、鍛錬ノ手段トシテ價値アレバ、茲ニ諸格ノ性質ヲ講究スルノ序ヲ以テ、一般、論理家ノ轍ヲ蹈ミ、同時ニ此ノ還原法ノ事ヲモ說キ示サン。

還原法ヲ實行スルニ際シ、第一ニ着目スベキハ、其ノ還原セントスル樣式ノ斷案ニアリ。(第三格式第五樣式及ビ第四格式第一樣式ヲ除ク。)譬ヘバ、今、第二格式ノ第一樣式(Cesare)EAEヲ還原セン歟、其ノ斷案ハE命題ナリ。第一格式中、斷案トシテE命題ヲ有スルハ第二樣式(Celarent)AEEナリ。故ニ若シ第二格第一樣式ニシテ第一格

ニ還原スルヲ得ベクンバ、第一格中、他ノ樣式ニアラズシテ、第二樣式ニ在ルヤ知ルベシ。還原セントスル樣式ト第一格中ノ樣式トノ照應ヲ定ムルニハ、總ベテ此ノ如クシテ之レヲ定ムベシ。

斯クテ今、第二格EAEト第一格EAEトヲ比較スルニ、第二格式EAEハ取リモ直サズ、第一格式EAEノ大提案ヲ單純ニ轉換シタルモノニ外ナラザルヲ知ルベシ。即チ

(Celarent)
EAE
中ハ總ベテ大ナラズ。
小ハ總ベテ中ナリ。
故ニ小ハ總ベテ大ニアラズ。

(Cesare)
EAE
大ハ總ベテ中ナラズ。
小ハ總ベテ中ナリ。
故ニ小ハ總ベテ大ナラズ。

第一格、第二樣式ト第二格第一樣式トノ關係、右ノ如クナレバ第二格第二樣式ヲ第一格第二樣式ニ還原センニハ、唯ダ僅カニ之レガ大提案ヲ轉換スルノミニシテ足レリ。

次ギニ第二格式、第二樣式(Camestres)AEEノ斷案モ亦Eナレバ、第一樣式ノ如ク、之レヲ第一格第二樣式ニ還原セザルベカラズ。

(Celarent)
EAE
中ハ總ベテ大ナラズ。
小ハ總ベテ中ナリ。
故ニ小ハ總ベテ大ナラズ。

(Camestres)
AEE
大ハ總ベテ中ナリ。
小ハ總ベテ中ナラズ。
故ニ小ハ總ベテ大ナラズ。

此ノ兩樣式ヲ對照スルニ、正体ニ於テハ、大提案全稱否定命題ニシテ、小提案全稱肯定命題ナリ。然ルニ、變体ニ於テハ、大小提案ノ分量ハ兩ッナガラ正体ト同ジキモ、其ノ性質全ク相反ス。サレバ、此ノ變体樣式ヲシテ正体タラシメンニハ、先ヅ第一ニ提案ノ順序ヲ變更シ、以テ小提案ヲ大提案トシ、大提案ヲ小提案トシ、斯クシテ据エ換ヘタル大提案ヲ更ニ單純ニ轉換スベシ。既ニ小提案ヲ以テ大提案トシ、大提案ヲ以テ小提案トスルトキハ、前ニ大語タリシモノ小語トナリ、前ニ小語タリシモノ大語トナルヲ以テ更ニ斷案ノ命題ヲモ單純ニ轉換セザルベカラズ。其ノ成蹟、左ノ如シ。

中ハ總ベテ小ナラズ。　大ハ總ベテ小ナラズ。

故ニ大ハ總ベテ小ナラズ。

譬ヘバ、日本臣民ハ總ベテ法律ノ定ムル所ノ資格ニ應ジ、公務ニ就クノ權利アリ。英國人ハ總ベテ法律ノ定ムル所ノ資格ニ應ジ、公務ニ就クノ權利ナシ。故ニ英國人ハ

日本臣民ニアラズト云ハン歟。是レ第二格第二樣式ナリ。今之レヲ還原スレバ、法律ノ定ムル所ノ資格ニ應ジ、公務ニ就クノ權利ヲ有スルモノハ總ベテ英國人ニアラズ。日本臣民ハ總ベテ公務ニ就クノ權利ヲ有ス。故ニ日本臣民ハ英國人ニアラズトナル。

次ギニ第二格第三樣式(Festino)EIOハ之レヲ第一格第四樣式(Ferio)EIOニ還原セザルベカラズ。

中ハ總ベテ大ナラズ。　大ハ總ベテ中ナラズ。

(Ferio)　或ル小ハ中ナリ。　(Festino)　或ル小ハ中ナリ。

故ニ或ル小ハ大ナラズ。　故ニ或ル小ハ大ナラズ。

サレバ、第二格第三樣式ヲ還原スルニハ、之レガ大提案ヲ轉換スルノミニテ可ナリ。

次ギニ第二格第四樣式(Baroko)AOOハ前樣式ト同ク、第一格式(Ferio)ニ還原スルヲ要ス。

(Baroko)

大ハ總ベテ中ナリ。

或ル小ハ中ナラズ。

故ニ或ル小ハ大ナラズ。

今之レヲ第一格式(Ferio)ト對照スルニ、甚ダ大ナル變化アルヲ看ル。正体ノ樣式ニ於テハ、其ノ大提案、全稱否定命題ナルニ、變体ニ於テハ、其ノ大提案、全稱肯定命題ナリ。正体ニ於テハ、其ノ小提案、特稱肯定命題ナルニ、變体ニ於テハ、特稱否定命題ナリ。サレバ今之レヲ還原スルニ當リテハ、先ヅ第一ニ其ノ大提案ヲシテ全稱否定命題タラシメ、其ノ小提案ヲシテ特稱肯定命題タラシメザルベカラズ。之レヲ爲スノ方法ハ大提案ト小提案トヲ變性スルヲ要ス、而シテ斯クスルノ後、更ニ大提案ヲ轉換スルトキハ、第一格第四樣式トナル。其ノ成蹟左ノ如シ。

非中ハ總ベテ大ナラズ。　故ニ或ル小ハ非中ナリ。

或ル小ハ大ナラズ。

例スレバ、日本人ハ總ベテ公務ニ就クノ權利アリ。或ル亞細亞人ハ公務ニ就クノ權ナシ。故ニ或ル亞細亞人ハ日本人ニアラズト云ハン歟。是レ第二格第四樣式ナリ。今之レヲ還原スレバ、公務ニ就クノ權利ナキ者ハ總ベテ日本人ニアラズ。或ル亞細亞人ハ公務ニ就クノ權利ナキ者ナリ。故ニ或ル亞細亞人ハ日本人ニアラズトナル。

此ノ樣式ハ第三格第五樣式(Bokardo)ト共ニ他ノ樣式ト異ナリ、變性法ノ手段ヲ用ヒ

ザルヨリハ、第一格ニ還原スル能ハザルナリ。サレバ、往時ノ論理家ハ此ノ二樣式ヲハ一種ノ別法ヲ用ヒ、迂回シテ此ノ二樣式ノ確否ヲ檢定セリ。其ノ方法、第一格ト對當法トヲ利用シ、檢定セント欲スル樣式ノ斷案ト矛盾對當ノ地位ニ立テル命題ノ僞ナル所以ヲ立證シ、依リテ以テ更ニ飜リテ右樣式ノ斷案ガ眞ナル所以ヲ立證スルニアリ。此ノ方法ヲ名ヅケテ間接還原法(Indirect reducation)ト云フ。是レ尋常ノ還原法ヲ稱シテ直接還原法(Ostensive reduction)ト云フニ對スルナリ。此ノ方法ヲ理解スルニハ、前ニモ屢〻陳ズルガ如ク、演繹法論理學ニ於テハ、大小ノ兩提案ヲ以テ徹頭徹尾、眞正ト看做シ、其ノ提案ノ眞僞ニ毫モ手ヲ附クベカラザルノ理由ヲ會得スルヲ要ス。故ニ論理家ノ目的トスル所ハ或ル兩提案ヨリシテ、一ノ斷案ヲ生ズルノ際之レガ推理ヲ誤マラザルニアリ。斯クテ今

大ハ總ベテ中ナリ。或ル小ハ中ナラズ。

故ニ或ル小ハ大ナラズ。

ト云ヘル論体ヲ以テスルニ。若シ其ノ斷案、或ル小ハ大ナラズ」ニシテ僞ナラン歟。之レト矛盾對當ノ地位ニ立ツ所ノ小ハ總ベテ大ナリトノ命題ハ眞ナラザルベカラズ。

今假リニ「小ハ總ベテ大ナリ」トノ命題ヲ以テ眞ナリトシ、前ノ大提案ト組ミ合セ、之レヲ以テ大小ノ兩提案トシテ、推理ヲ施ストキハ、吾人ハ第一格第一樣式(Barbara)ヲ得。即チ左ニ

大ハ總ベテ中ナリ。小ハ總ベテ大ナリ。

故ニ小ハ總ベテ中ナリ。

右ノ論体ハ第一格第一樣式ナレバ、其ノ推理ニ誤謬ナキヤ論ヲ俟タズ。然ルニ、其ノ斷案、小ハ總ベテ中ナリ」トノ命題ハ之レヲ前論体ノ小提案、或ル小ハ中ナラズ」ト云フニ參照スルニ「吾人ハ其ノ斷案ヲ以テ僞ナリト看做サヾルヲ得ズ。何トナレバ「小ハ總ベテ中ナリ」ト云フトハ「或ル小ハ中ナラズ」ト云フトハ互ニ矛盾對當ノ地位ニ立ツモノニシテ眞僞、相反スレバナリ。然ルニ吾人ハ「或ル小ハ中ナラズ」ト云フハ元來ノ提案ナレバ、之レヲバ眞ト看做サズンバアラズ。既ニ之レヲ以テ眞トス。小ハ總ベテ中ナリ」ト云フノ僞ナルヤ、明ケシ。然レドモ其ノ推理ニ於テ過ツ所ナシトスレバ大小ノ兩提案中孰レノ一カヾ僞ナラザルベカラズ。而シテ其ノ大提案ハ吾人ガ推理ノ材料トシテ與ヘラレタル原命題ノ一ナレバ、之レヲ以テ僞トスル能ハズ。然ラ

第二十二章

バ則チ小提案ノ僞ナルヤ知ルベシ。小提案ニシテ僞ナリト知ラバ、之レト矛盾對當ノ地位ニ立ツ所ノ前論体ノ斷案、或ル小ハ大ナラズ」トノ命題ノ誤リナキヤ知ルベシ。既ニ其ノ斷案ニシテ誤リナシトスレバ、之レガ推理ニ誤リナキヤ亦明カナリトス。此ノ間接還原法タル(Baroko)及ビ(Bokardo)ノミナラズ、總ベテノ變体樣式ニ之レヲ適用スルヲ得レドモ、他ノ樣式ニハ、變性法ヲ用ヒズシテ之レヲ直接ニ還原シ得ルガ故ニ、往代ノ論理家ト雖、間接還原法ノ應用ヲバ、右ノ二樣式ニ限レリ。

第三格式。

中大
中小
小大

第三格ハ最モ多クノ樣式ヲ有スル格ナリ。是レ他ノ三格ニハ微弱斷案ヲ有スル樣式アレドモ、此ノ格ニ限リ、此ノ如キ樣式ナキニ由ル。而シテ其ノ諸樣式ハ通シテ皆、特稱斷案ヲ立證スルモノナルガ、最初ノ三樣式ハ通シテ皆、特稱肯定斷案ヲ立證シ、終リノ三樣式ハ通シテ皆、特稱否定斷案ヲ立證ス。此ノ格ノ通則ニ曰フ。(第一)小提案ハ肯定ナリ、(第二)斷案ハ特稱ナリ。其ノ理由ハ若シモ小提案ニシテ否定ナラン歟、其ノ斷案亦否定ニシテ、其ノ大提案、肯定ナラズンバアラズ。然ルトキハ、大語越權ノ語謬ニ陷ラ

ザルヲ得ズ。又若シ其ノ斷案ニシテ全稱肯定命題ナラン歟、此ノ格ニ於テハ、小提案肯定ニシテ、小語ハ小提案ニ於テ客位ニ立ツヲ以テ小語ノ越權トナル。或ハ其ノ斷案ニシテ全稱否定ナラン歟。大小ノ二語共ニ周到スルモノニシテ、提案ニ於テ此ノ二語ヲシテ兩ツナガラ周到セシメントセバ、兩提案共ニ否定ナラザルヨリハ能ハザル所ナリ。然ルトキハ三段論体通則ノ第五ニ抵觸セズンバアラス。

今且ツ第三格諸樣式ノ還原ヲ論ゼン。先ヅ第三格第一樣式(Darapti) AAIヲ第一格第三樣式(Darii) AIIト比較シ看ルニ、其ノ相異ナル所ハ小提案ニシテ、第一格第三樣式ニ於テハ、其ノ小提案ハ特稱肯定命題ニシテ、小語ハ其ノ主位ニ立ツト雖、第三格第一樣式ニ於テハ、小提案ハ全稱肯定命題ニシテ、小語ハ客位ニ屬ス。是コヲ以テ、今此ノ樣式ヲ還原スルニハ、小提案ヲ制限的ニ轉換スルノミニテ足レリ。

第二樣式(Disamis) IAIモ第一樣式ト同シク之レヲ第一格第三樣式ニ還原スルヲ要ス。今此ノ兩樣式ヲ比較スルニ、

(Darii) AII　中ハ總ベテ大ナリ、或ル小ハ中ナリ。

(Disamis) IAI　或ル中ハ大ナリ。中ハ總ベテ小ナリ。

故ニ或ル小ハ大ナリ。

サレバ、第三格第二樣式ヲ還原スルニハ、先ヅ第一ニ其ノ提案ノ順序ヲ變更シテ大提案ヲ以テ小提案トシ、小提案ヲ大提案トシ、次ギニ斯クシテ据エ換ヘタル小提案ヲ單純ニ轉換セザルベカラズ。然レモ此ノ如クスルトキハ、提案ニ於テ、前ノ小語ハ變ヲテ大語トナリ、大語ハ小語トナルヲ以テ斷案ヲモ單純ニ轉換スルヲ要ス。

第三樣式(Datisi) A I I モ亦前ノ二樣式ト同ジク、第一格第三樣式ニ還原セザルベカラズ。然レモ此ノ二樣式ノ相異ナル所ハ唯ダ僅カニ小提案ニ於ケル小語ノ地位ニアレバ、小提案ヲ單純ニ轉換スルノミニテ可ナリ。

第四樣式(Felapton) E A O ハ之レヲ第一格第四樣式(Ferio) E I O ニ還原スベシ。此ノ二樣式ノ相異ナルハ、甲ニ於テハ其ノ小提案全稱肯定ニシテ、小語ヲ客位トスレモ、乙ニ於テハ、其ノ小提案特稱肯定ニシテ小語ヲ主位トスルニアリ。サレバ、甲式ノ小提案ヲ制限的ニ轉換スルトキハ直チニ變ジテ乙式トナル。

第五樣式(Bokardo) O A O ヲ還原スルノ方法、如何ト按ズルニ、是レ變性法ヲ行ハザルヨリハ第一格ニ還原スル能ハザル第二ノ樣式ニシテ、斷案ヲ以テ第一格ノ樣式

ト對照スル能ハザル第一ノ樣式ナリトス。

或ル中ハ大ナラズ。中ハ總ベテ小ナリ。

故ニ或ル小ハ大ナラズ。

此ノ樣式ヲ第一格中ノ或ル樣式ニ還原セントスルニ當リ、正格樣式ノ大提案タルヲ得ルノ命題ハ、兎ニ角此ノ樣式ノ小提案ナラズンバアラズ。(何トナレハ、第一格ノ諸樣式ハ其ノ大提案、皆、全稱命題ナレバナリ。)然レモ其ノ小提案ヲ以テ正格樣式ノ大提案タラシメン歟。本樣式ノ大提案ヲ以テ小提案タラシメザルヲ得ス。サリナガラ此ノ提案ノ否定ナルヲ奈何セン。(何トナレバ、正格樣式ニ於テハ、其ノ小提案通ジテ皆、肯定ナレバナリ。)サレバ、其ノ儘ニテハ、本樣式ノ大提案ヲ以テ正格樣式ノ小提案タラシムル能ハザレバ、先ヅ之レヲ變性シ、然ル後之レヲ轉換セザルベカラズ。此ノ如クシテ提案ノ地位ヲ變更スルトキハ、新論体ノ提案、

中ハ總ベテ小ナリ。或ル非大ハ中ナリ。

トナル。是レ第一格第三樣式(Darii)ノ兩提案ナリ。吾人ハ此ノ兩提案ヨリシテ

或ル非大ハ小ナリ。

トノ斷案ヲ生ゼザルヲ得ズ。

此ノ樣式タル第二格第三樣式(Baroko)ト共ニ往代ノ論理家ニハ之レガ確實ナル所以ヲ立證スルニ、間接還原法ヲ以テシタリ。即チ

或ル中ハ大ナラズ。中ハ總ベテ小ナリ。

故ニ或ル小ハ大ナラズ。

若シモ右論体ノ斷案ニシテ僞ナラン歟。小ハ總ベテ大ナリトノ命題ハ眞ナラザルベカラズ。何トナレバ、此ノ命題タル右ノ斷案ト矛盾對當ノ地位ニ立テバナリ。サレバ、今此ノ命題ヲ採用シテ一ノ提案トシ、原論体ノ小提案ト組ミ合セ、以テ一ノ三段論体ヲ構造スレバ左ノ如シ。

小ハ總ベテ大ナリ。中ハ總ベテ小ナリ。

故ニ中ハ總ベテ大ナリ。

是レ第一格第一樣式ナレバ、其ノ推理ニ誤リナキヤ知ルベシ。然レ𪜈右論体ノ斷案ヲ以テ原論体ノ大提案、或ル中ハ大ナラズ」ト云フト比スルニ、二者孰レカ僞ナラザルベカラズ。然ルニ吾人ハ原論体ノ大提案ヲ以テ僞トスル能ハズ。故ニ「中ハ總ベテ大

ナリ」ト云フノ命題ガ僞ナルヤ知ルベシ。此ノ命題ニシテ僞ナラバ、此ノ命題ヲ生ズルニ要スル大小提案ノ僞ナルヤ亦疑ヒヲ容レズ。然ラバ則チ原論体ノ斷案ガ眞ナルヤ亦知ルベシ。故ニ原論体ノ推理ニ誤リナキヤ明カナリ。

終リニ至リ、第六樣式(Ferison)EIOヲ第一格(Ferio)EIOト比較スルニ、二樣式共ニ其ノ三命題ノ性質及ビ分量ヲ同ジウス。サレバ、本樣式ヲ還原スルニハ、唯僅カニ之レガ小提案ヲ單純ニ轉換スルノミニテ足レリ。

大中
中小
小大

第四格式。

第四格ハ所用極メテ稀レニシテ、又、吾人ガ思想運轉ノ自然ノ順序ニ最モ反スルモノナリ。ばみるとん氏ヲ始メ輓近、許多ノ論理家ハ、此ノ格ヲ全ク抵排シタリ。然レ𪜈之レヲ第一格ニ比スルニ、其ノ順逆正ク相反スルガ爲、之レヲ還原スルニ至リテハ、却テ他ノ格ヨリモ平易ナルモノアリ。而シテ此ノ格ハA命題ヲ除キ、第一格ヲ以テ立證スル一切ノ斷案即チEIO各種命題ヲ再ビ立證スルモノトス。此ノ格ノ五樣式中、最初ノ三樣式ハ之レヲ還原スルニハ、提案順序ノ變更ト轉換トノミニテ足レリ。

第一樣式(Blamantip)AAI。是レ還原法ヲ實行スルニ際シ、其ノ斷案ヲ以テ正格ノ樣式ト照應スベカラザル論式ノ第二ナルガ、今其ノ提案ノ地位ヲ變更シ、小提案ヲ以テ大提案トシ、大提案ヲ以テ小提案タラシメ、之レニヨリテ斷案ヲ敷衍スルトキハ、乃チ第一格第一樣式(Barbara)AAAヲ生ズ。譬ヘバ、

(Blamantip)　大ハ總ベテ中ナリ。
　　中ハ總ベテ小ナリ。
　　故ニ或ル小ハ大ナリ。

(Barbara)　中ハ總ベテ小ナリ。
　　大ハ總ベテ中ナリ。
　　故ニ大ハ總ベテ小ナリ。

サレバ右第一格第一樣式ノ斷案ヲ制限的ニ轉換スレバ第四格第一樣式ノ斷案ヲ生ズルナリ。以テ此ノ樣式ノ確實ナルヲ證スルニ足ルモノトス。

第二樣式(Camenes)EAEハ之レヲ第一格第二樣式(Celarent)EAEニ還原スルヲ要ス。此ノ樣式ハ前樣式ヨリモ之レヲ還原スルニ、一層簡易ナリ、即チ其ノ提案ノ地位ヲ變更シ、而シテ後、斷案ヲ單純ニ轉換スルノミニテ可ナリ。

第三樣式(Dimaris)IAIノ如キモ、前樣式ノ如ク、其ノ提案ノ地位ヲ變更シ、斷案ヲ單純ニ轉換スルトキハ、第一格第二樣式(Darii)AIIトナル。

第四樣式(Fesapo)EAOハ正格第四樣式(Ferio)EIOニ還原スベシ。此ノ樣式ヲ還原スルニハ、其ノ大提案ヲ單純ニ轉換シ、小提案ヲ制限的ニ轉換スルトキハ、乃チ變ヲテ第一格第四樣式トナル。

第五樣式(Fresison)EIOニ至リテハ、之レヲ還原スル、前樣式ヨリモ一層、平易ナリ。即チ大小ノ兩提案ヲ單純ニ轉換スルトキハ第一格第四樣式(Ferio)トナル。

是コヲ以テ之レヲ觀ルトキハ、第四格ノ諸樣式タル、吾人ガ思想ヲ運轉スル自然ノ秩序ニ戻リ、又其ノ提案中ニ於ケル大中小語ノ地位、第一格ト全ク其ノ順逆ヲ異ニスト雖、之レヲ本來ノ正格式ニ還原スルノ點ヨリ看來ルトキハ、甚ダ平易ニシテ、最初ノ三樣式ニ於テハ、其ノ正格式ト相異ナル所ノ要點ハ提案、順序ノ變更ニシテ、此ノ他ニハ僅少ノ差異アルノミ、而シテ終リノ二樣式ニ至リテハ、二者、同一ノ斷案ヲ立證スルモノナルガ、此ノ中、第四樣式ノ如キハ、實際全ク不用ノモノトス。何トナレバ、第四樣式ト第五樣式トガ異ナル所ハ其ノ小提案ガ一ハ全稱ナルト他ノ一ハ特稱ナルトニアレモ、此ノ場合ニ於テハ、強ヒテ其ノ小提案ヲ全稱トスルモ、更ニ有力ノ斷案(全稱命題)ヲ生ズル能ハザレバ、其ノ推理ノ成蹟之レヲ特稱トスルト等一般ナレバ

ナリ。故ニ寧ロ易キ方ニ就キ、其ノ小提案ヲ特稱ニスルヲ以テ便ナリトス。

以上各樣式ノ還原法ヲ一應論ジ終リタレバ、以下論法ヲ轉ジ、諸格、持前ノ所用ヲ論セントス。蓋シ三段論体ノ論理ハ適用論理ナリ。此ノ廉ヨリ看來ルトキハ、吾人ハ第一格ニ就キテ確實ナル總ベテノ演繹法推理ノ要、點ヲ學ブヲ以テ便トス。故ニ第一格ヲ以テ正格トシ、他ハ之レヲ以テ第一格ノ變格ト看做サズンバアラズ。而シテ其ノ要點トハ何ゾヤ、原理或ハ一般理法ノ地位ニ立ツ所ノ命題。(肯定又ハ否定)此ノ理法ノ適用ヲ紹介スル所ノ命題(肯定ナルヲ要ス。)元理或ハ一般理法ヲ適用セル命題是レナリ。此レ等ノ命題、正格樣式ニ於テハ通ジテ皆其ノ地位ヲ正フシテ立ツ。即チ第一ニハ、原理或ハ一般理法ノ命題、大提案ニ立チ。第二ニハ、適用ヲ紹介スル命題、小提案ニ立ツ。然レドモ第二格、以下變格ノ樣式ニ於テハ、其ノ提案ノ順序、時トシテ右ニ反スルアリ。而シテ第二格第四樣式(Baroko)及ビ第三格第四樣式(Bokardo)ニ至リテハ、其ノ提案ノ正ヲ失スルヤ殊ニ甚ダシキヲ極ム。はみるとん氏ハ原理ノ地位ニ立ツ所ノ命題ヲ稱シテ綱領(Sumption)ト名ヅケ、適用ヲ紹介スル所ノ命題ヲ呼ビテ條目(Subsumption)ト名ヅケタリ。

○然レドモ若シ讀者第一格ノ樣式ノミヲ以テ有用ノ樣式ト心得ナバ、其ノ見解大ニ誤レリト云ハザルベカラズ。三段論体ヲ以テ原理適用ノ論理ト看做シテ論ズルトキハ、固ヨリ第一格ハ正格ニシテ、他ハ之レガ變格タルニ相違ナキモ各自ノ格式ニハ、又自ラ其ノ格式、相應ノ用法ナクンバアラズ、べいん氏曰ク「第二格以下變格ノ用法ヲ說明スルニ當リ、吾人ガ執レノ格ヲ取ルベキヤニ就キテ二種ノ境遇ノ着目スベキモノアリ。第一ニハ大小ノ提案ニ於ケル主客、兩語ノ順序及ビ此ノ順序ノ如何ニ準ジ吾人ガ取ル所ノ論体ノ格ハ心頭ニ於テ眞先ニ浮ビ出ヅル觀念ノ如何ニヨリテ異ナルヿアリ。「最良ノ政治ハ多數人ノ政治ナリ。」及ビ「多數人ノ政治ハ最良ノ政治ナリ」是レ其ノ陳述スル所ノ事柄相異ナルヿナクメ格ノ相違ヲ惹キ起スモノナリ。第二ニハ大小二語ノ外延ノ廣狹ニ比シ、中語外延ノ廣狹ハ吾人ガ取ル所ノ格ニ相違ヲ生ズ。若シモ中語ニシテ大語又ハ小語ヨリモ大ナルトキハ、中語ハ自然ニ大小兩提案ニ於テ共ニ客語ノ地位ニ立ツヲ以テ第二格ノ樣式ヲ成ス。又若シ其ノ中語ニシテ大小二語ノ孰レヨリモ小ナルトキハ、中語ハ自然ニ兩提案ニ於テ共ニ主語ノ地位ニ立ツガ故ニ第三格ノ樣式ヲ成ス。

又、獨逸國有名ノ論理家らんべると氏(Lambert)ノ言ニ曰ク「第一格ハ事物ノ性質ヲ發明シ、或ハ之レヲ證據立ツルニ適シ、第二格ハ事物ト事物トノ間ニ存在スル區別ヲ發明シ、或ハ之レヲ證據立ツルニ適シ、第三格ハ例證或ハ例外事件ヲ發明シ、或ハ之レヲ證據立ツルニ適シ、第四格ハ類中ニ存在スル種々ノ種ヲ發明シ、或ハ之レヲ拒絶スルニ適ス。」

然レモ茲ニ余ハ終末ノ一格ヲ除キ、他ノ三格ノ用法ヲ論シテ曰フ。第一格ハ一ノ原理或ハ一般理法ヲ實際ニ適用シ、又ハ此ノ原理或ハ一般理法ニ訴ヘテ事物ヲ說明スルニ最モ適切ナリ。第二第三ノ両格ハ他人ノ說ヲ攻擊スルニ最モ適切ナリ。而シテ第二格ハ語勢ノ順序ニ於テ形勝ノ地位ヲ壟斷シ、第三格ハ敵ヲ折伏スルニ力ヲ勞スル「最モ小ナルノ點ニ於テ形勝ノ地位ニ立ツノ別アリ。

譬ヘバ、甲論者アリ。日本人ハありやん人種ナリ(A)ト云ハン歟。乙論者ハ此ノ斷案ヲ攻擊シテ曰フ。ありやん人種ハ(大語)膚色、黃(中語)ナラズ(E)。日本人ハ(小語)膚色、黃(中語)ナリ(A)。故ニ日本人ハ(小語)ありやん人種(大語)ナラズ(E)ト。是レ第二格第一樣式(Cesare)ナリ。然レモ乙論者ハ甲論者ノ說ニ對シ、之レヲ駁スルニ、更ニ第二格第二樣式ヲ

以テスルモ、同一ノ便利ヲ占ス。乙論者更ニ駁シテ謂ヘ。ありやん人種ハ(大語)白皙(中語)ナリ(A)。日本人ハ(小語)白皙(中語)ナラズ(E)。故ニ日本人ハ(小語)ありやん人種(大語)ナラズ(E)ト。是レ第二格第二樣式(Camestres)ナリ。又、甲論者、一ノ斷案ヲ提出シテ謂フ。歐洲人ハ皆ありやん人種ナリ(A)ト。乙論者之レヲ駁シテ謂フ。ありやん人種ハ(大語)皆、黃色ヲ帶ビ(中語)ズ(E)。或ル歐洲人ハ(小語)(即チまーがーす人種及ビ土耳其人種ノ如キ、)黃色ヲ帶ブ(中語)(I)。故ニ或ル歐洲人ハ(小語)ありやん人種(大語)ナラズ(E)ト是レ第二格第三樣式(Festino)ナリ。然レトモ乙論者若シ甲論者ヲ駁セント欲セバ、第四樣式(Baroko)ヲ以テスルモ、同一ノ形勝地ニ立ツノ便アリ。乙論者、甲論者ニ向フテ謂ヘ。ありやん人種ハ(大語)皆白皙(中語)ナリ(A)。或ル歐洲人ハ(小語)白皙(中語)ナラズ(O)。故ニ或ル歐洲人ハ(小語)ありやん人種(大語)ナラズ(E)ト。既ニ讀者モ知ラルヽガ如ク、第二格ハ通ジテ皆、否定斷案ヲ立證スルモノナルガ、其ノ斷案ノ分量ヲ云ヘバ、全稱及ビ特稱ノ二種ニ分ル。最初ノ二ツハ共ニ全稱ニシテ、終リノ二ツハ共ニ特稱ナリ。而シテ第一樣式ト第二樣式トヲ用ユルノ相違ハ、大提案ヲシテ否定タラシムレバ、第一樣式トナリ、之レヲシテ肯定タラシムレバ、第二樣式トナル。二者孰レニテモ論者ガ有スル知識

ノ都合ニ任ジテ可ナリ。第三及ビ第四樣式ノ關係モ亦此ノ如キニ出デズ。

今且ツ第二格ノ諸樣式ガ他ノ立言ヲ駁スルニ當リ、語勢ノ順序ニ於テ、最モ適切ノ地位ニ立ツノ理由ヲ論ゼン。前ニべいん氏ガ三段論体ニ就キテ云ヘルガ如ク、吾人ハ一ノ命題ヲ構造スルニ際シ、心ノ表面ニ最モ前ニ浮ビ出デタル觀念ヲ以テ、自然ニ主語タラシムルノ傾向アルモノナリ。今、敵論者ノ主張スル命題ヲ耳ニスル際、吾人ガ心ノ表面ニ於テ最モ前位ヲ占スル所ノ觀念ハ、其ノ命題ノ主語及ビ客語ナラズンバアラズ。而シテ敵命題ノ主語ト客語トヲ以テ之レヲ攻擊セントスル論体兩提案ノ主語トシ、(即チ大小語)敵命題ト主語及ビ客語ヲ同ジウシテ而カモ其ノ性質ヲ異ニスル所ノ斷案ヲ生ズルモノハ四種ノ格中唯カ僅カニ第二ノ一格アルノミ。(敵論者ガ主張スル命題ニ直接ニ當ラントスルニハ、就レノ塲合ニ於ケルヲ論ゼズ、敵命題ト主語及ビ客語ヲ同ジウシ、而カモ其ノ性質ヲ異ニスル所ノ命題ヲ以テセザルベカラズ。尙ホ對當法ニ就キ、此ノ事ノ理由ヲ研究スベシ。譬ヘバ人アリ。說ヲ爲シテ謂フ。光線ハ一ノ實(体ナリト。吾人ハ恐ラク之レヲ駁擊スルニ當リ、直チニ其ノ言葉、尻(即チ敵論者ノ命題ニ於ケル客語、實体)ヲ捕ヘ之レヲ以テ大提案ノ主語(即チ大語)ト爲シ、光線(即チ敵論者ノ命題ニ

於ケル主語)ヲ以テ小提案ノ主語(即チ小語)ト爲シ、更ニ此ノ兩提案ニ充ツルニ各自一ノ中語ヲ以テシテ恐ラク云フナラン。凡ソ實体ハ(大語)之レト相觸ルヽモノニ激動ヲ與フ。(中語)光線ハ(小語)之レト相觸ルヽモノニ激動ヲ與ヘ(中語)ズ。故ニ光線ハ(小語)實体(大語)ナラズト、是レ第二格第二樣式(Camestres)ナリ。此ノ塲合ニ於テ、若シ吾人ハ敵論者ニ對スルニ、第一格ヲ以テセン歟。敵論者ノ命題ヲ直接ニ攻擊スルニ足ルノ斷案ヲ生ゼントスルニハ、其ノ命題ノ主語ヲ以テ駁論小提案ノ主語(即チ小語)タラシムルヲ得レド、其ノ客語ヲ以テ大提案ノ主語タラシムルヲ得ザレバ、之レヲ以テ客語タラシメザルヲ得ズ。若シ又第三格ヲ以テ敵論者ニ對セン歟。吾人ハ敵論者ノ命題ノ主客、兩語ヲ以テ共ニ駁論提案ノ客語タラシメザルヲ得ズ。終リニ至リ、將又第四格ヲ以テ論戰ヲ挑マン歟。第二格ヲ以テスルガ如ク、敵命題ノ主語ヲ以テ駁論小提案ノ主語タラシムルノ便アレド、其ノ大語ヲ以テ大小提案ノ客語タラシムルノ不便ヲ有ス。サレバ、敵命題ノ語勢ヲ受ケ繼ギ短、兵、直、入ノ勝概ヲ有スルノ最タルモノハ第二格ナルヤ明カナリ。是レ第二格ノ諸樣式ガ他格ノ諸樣式ニ超絕スル特有ノ長所ナリ。

然レドモ、此ノ格ヲ以テスルトキハ、A及ビI命題ノ立言ニ對當スルヲ得レドモ、他種ノ命

題ニ對當スルヲ得ズ。

更ニ進ミテ第三格ノ用法ヲ論述セン。第三格ハ敵論者ニ對シ、第二格ノ如ク、語勢ノ順序ニ於テ短兵直入ノ便利ヲ有セザレモ、敵論ノ全稱命題ヲ折伏スルニ僅々ノ例外事伴ヲ以テスルヲ得ルノ便利ヲ有ス。但シ第二格モ亦終リノ二樣式ヲ以テスレバ、此ノ如キ便利アレモ、此ノ便利ハ終リノ二樣式ニ限レリ。然レモ第三格ノ如キハ通ジテ皆斯ル便利ヲ有スルモノトス。是レ第三格ノ長所ナリ。例スルニ、金屬ハ總ベテ固形体ナリ(A)ト云ハン歟。水銀ハ(中語)固形体(大語)ナラザレモ(E)(水銀ハ(中語)金屬(小語)ナリ(A)。故ニ或ル金屬ハ(小語)固形体(大語)ナラズ(O)ト云ヒテ、右ノ立言ヲ攻擊スルトセバ、此ノ駁論ハ第三格第四樣式(Felapton)ナリ。又、歐洲人ハ總ベテ蒙古人種ニアラズト云ハン歟。之レヲ攻擊シテ、土耳其人ハ總ベテ蒙古人種ナレモ、其ノ中ノ幾分ハ歐洲ニ住居ス。故ニ或ル歐洲人ハ蒙古人種ニアラズヤト云ヘバ、是レ第三格第三樣式(Datisi)ナリ。又、人智不可思議的ノ事件ハ宇宙ニ存在スル能ハズト云フヲ駁論シテ無窮ハ人智不可思議的ノ一事件ナリ。然レモ無窮ハ宇宙ニ存在スルニ相違ナシ。何トナレバ、若シモ無窮ニシテ存在セザラン歟。吾人ハ曲線又ハ際限ナク變化スル、

數量譬ヘバ割リ切レザル)ハ、性質ヲ、說明スルニ、由シナシ。是レニ由リテ之レヲ觀レバ、人智不可思議的ノ或ル事件ガ宇宙間ニ存在スルヿ明カナリト云ハン歟。此ノ駁論ハ提案ヲ錯置シ、而シテ餘外ノ文句ヲ挿入セリト雖。讀者少シク思慮セバ此ノ論体ノ本幹ガ第一樣式(Darapti)ナルヲ知ラン。

更ニ一言スベキアリ。十九個ノ樣式ヲ通觀スルニ、其ノ立證スル所ノ斷案ノ數ニ自、一種ノ秩序ノ行ハルヽヲ看ル。A斷案ヲ立證スルモノ一個、Eヲ立證スルモノ四個、Iヲ立證スルモノ六個、終リニ至リ、Oヲ立證スル者八個ナリトス。即チEハAヨリモ多キヿ三ニシテ、他ハ皆、二ノ數ヲ以テ遞次其ノ立證スル所ノ斷案多キヲ加フ。

本章ヲ終ルニ臨ミ、尙ホ陳述スベキ事アリ。ソハ四種ノ格ニ於ケル確實ナル諸樣式名稱ノ儀ナリ。此レ等ノ名稱ハ各樣式ノ命題ヲ記シ之レト同時ニ第二格以下ノ諸樣式ヲ第一格ニ還原スル方法ヲ表彰スルモノニシテ、學理ノ上ヨリ論シ來ル片ハ敢テ貴重スルニ足ラザレモ、實際ノ方鍼トシテ甚ダ便ナルモノアリ。中世ノ論理家ハ此レ等十九個ノ樣式ノ名稱ニ數個ノ羅甸語ヲ加ヘテ左ノ記憶歌ヲ作レリ。

記憶歌中、尋常体ノ洋字ナルハ本眞ノ羅甸語ナルガ、第一行末ノ羅甸語(Prioris)ハ其

第二十二章

ノ行中ノ四樣式ガ第一格ニ屬スルヲ意味シ、第二行末ノ(Secundae)ハ行中ノ四樣式ガ第二格ナルヲ意味シ、第三行ノ冒頭ナル(Tertia)ハ第四行ノ(Habet)ト共ニ其ノ中間ナル六樣式ノ第三格ナルヲ示シ、其次ギナル(Quarta insuper addit)ハ前十四樣式ノ外、第四格ガ更ニ五個ノ樣式ヲ有スル所以ヲ示スモノトス。

Barbara, *Celarent*, *Darii*, *Ferio*, Prioris; *Cesare*, *Camestres*, *Festino*, *Baroko*, Secundae; Tertia, *Darapti*, *Disamis*, *Datisi*, *Felapton*, *Bokardo*, *Ferison*, Habet; Quarta insuper addit *Blamantip*, *Camenes*, *Dimaris*, *Fesapo*, *Fresison*.

各樣式ノ名稱ニハ、孰レモ三個ノ母音ヲ挿入セザルハナシ。是レ各樣式ニ於ケル三命題ノ分量及ビ性質ヲ示スモノナリ。子音ノ中、*r*、*n*、*t*、ノ三字ハ無意味ノ文字ナルガ、各式ノ名稱ノ冒頭ニ冠スル子音*B*、*C*、*D*、*F*ノ四字ハ變格樣式ヲ正格樣式ニ還原セントスルノ際、之レガ目標(メクルシ)ヲ示スモノトス。例スルニ(Blamantip)ヲバ(Barbara)ニ、(Cesare)ヲバ(Celarent)ニ還原スルガ如キ是レナリ。又*m*、*s*、*p*及ビ*k*ハ還原ノ手續キヲ示スモノニシテ、其ノ中*m*ハ先ツ所ノ母音ヲ以テ代表セラルベキ命題、地位ノ變更ヲ*s*ハ單純轉換(Simmple Conversion)*p*ハ制限轉換(Conversion by limitation, or per accidence)ヲ示シ、*k*ハ該文字ノ顯ルヽ樣式ノ還原ハ間接法ニ據ルベキヲ示スモノトス。

四樣式

(Ferio)

E I O

○中ハ總ベテ大ニアラズ。或ル小ハ中ナリ。

故ニ或ル小ハ大ニアラズ。

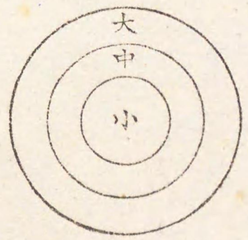
Barbara, *Celarent*, *Darii*, *Ferio*,
Cesare, *Camestres*, *Festino*, *Baroko*, Se
Tertia, *Darapti*, *Disamis*, *Datisi*, *Fe*
Bokardo, *Ferison*, Habet; Quarta insuper
Blamantip, *Camenes*, *Dimaris*, *Fesapo*, F

式ニ於ケル三命題ノ分量及ビ性質ヲ示スモノナリ。子音ノ中、*r*、*n*、*t*、ノ三字ハ無意味ノ文字ナルガ、各式ノ名稱ノ冒頭ニ冠スル子音*B*、*C*、*D*、*F*ノ四字ハ變格樣式ヲ正格樣式ニ還原セントスルノ際、之レガ目標(メタルシ)ヲ示スモノトス。例スルニ(Blamantip)ヲバ(Barbara)ニ、(Cesare)ヲバ(Celarent)ニ還原スルガ如キ是レナリ。又*m*、*s*、*p*及ビ*k*ハ還原ノ手續キヲ示スモノニシテ、其ノ中*m*ハ先ツ所ノ母音ヲ以テ代表セラルベキ命題地位ノ變更ヲ*s*ハ單純轉換(Simmple Conversion)*p*ハ制限轉換(Conversion by limitation, or per accidence)ヲ示シ、*k*ハ該文字ノ顯ルヽ樣式ノ還原ハ間接法ニ據ルベキヲ示スモノトス。

第一格式。

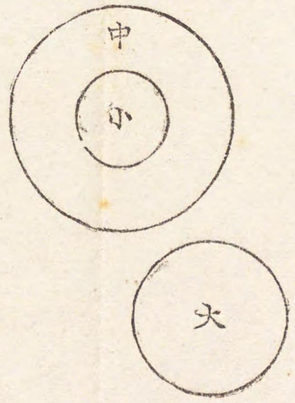
中 小 大
小 中 大

第一樣式
(Barbara)
AAA



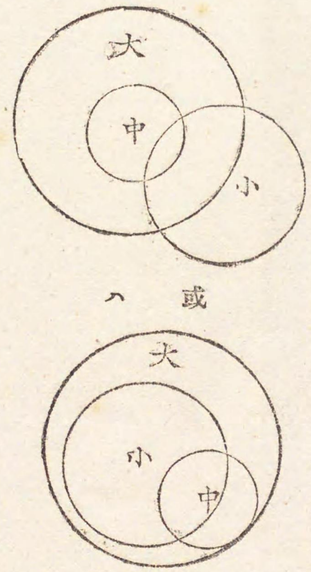
○中ハ總ベテ大ナリ。
小ハ總ベテ中ナリ。
故ニ小ハ總ベテ大ナリ。

第二樣式
(Celarent)
EAE



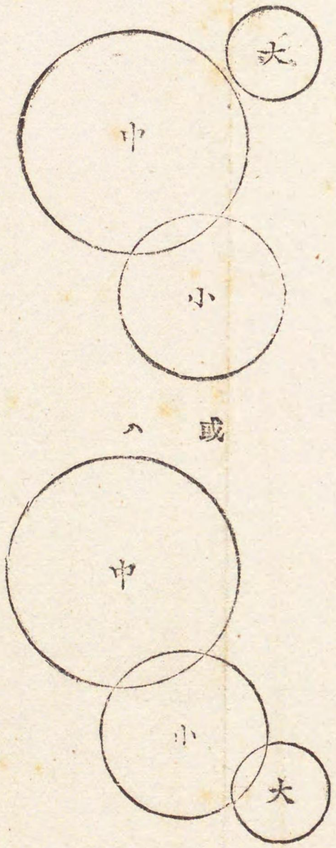
○中ハ總ベテ大ニアラズ。
小ハ總ベテ中ナリ。
故ニ小ハ總ベテ大ニアラズ。

第三樣式
(Darii)
AII



○中ハ總ベテ大ナリ。
或ル小ハ中ナリ。
故ニ或ル小ハ大ナリ。

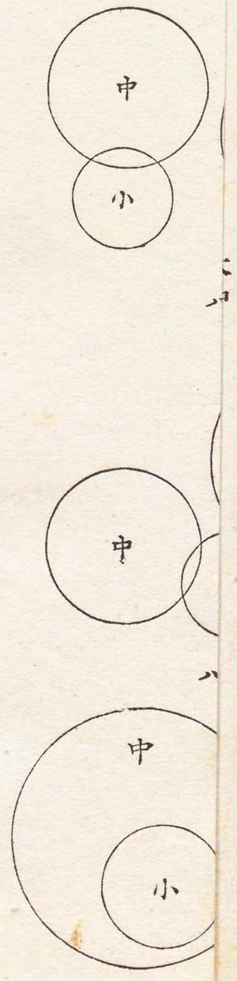
第四樣式
(Ferio)
EIO



○中ハ總ベテ大ニアラズ。或ル小ハ中ナリ。
故ニ或ル小ハ大ニアラズ。

ノ行中ノ四樣式ガ第一格ニ屬スルヲ意味シ、第二行末ノ(Secundae)ハ行中ノ四樣式ガ第二格ナルヲ意味シ、第三行ノ冒頭ナル(Tertia)ハ第四行ノ(Habet)ト共ニ其ノ中間ナル六樣式ノ第三格ナルヲ示シ、其次ギナル(Quarta insuper addit)ハ前十四樣式ノ

樣式(FE



大ハ總ベテ中ナラズ。或ル小ハ中ナリ。

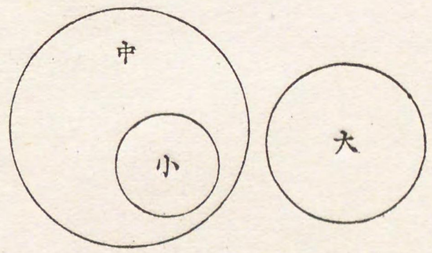
第二格式。

大中中
小小中
大中中

第一式樣

(Cesare)

E A E



大ハ總ベテ中ナラズ。

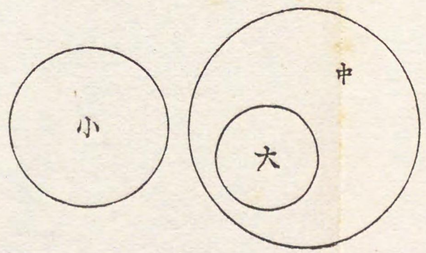
小ハ總ベテ中ナリ。

故ニ小ハ總ベテ大ナラズ。

第二式樣

(Camestres)

A E E



大ハ總ベテ中ナリ。

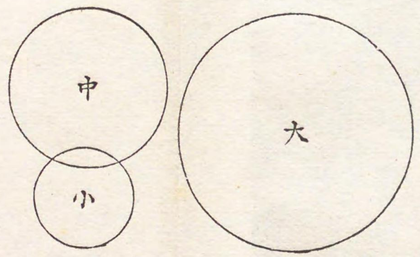
小ハ總ベテ中ニアラズ。

故ニ小ハ總ベテ大ナラズ。

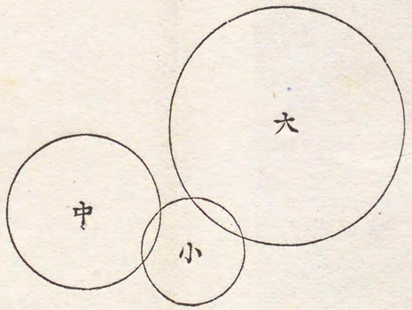
第三式樣

(Festino)

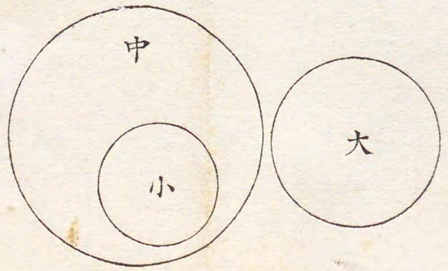
E I O



ハ或



ハ或



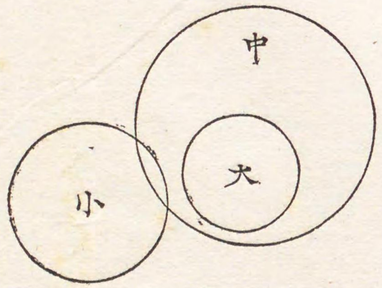
大ハ總ベテ中ナラズ。或ル小ハ中ナリ。

故ニ或ル小ハ大ナラズ。

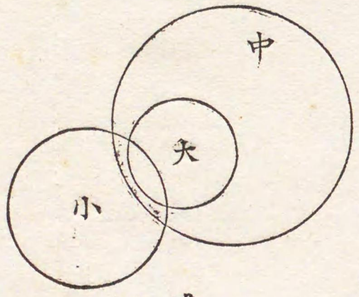
第四式樣

(Baroko)

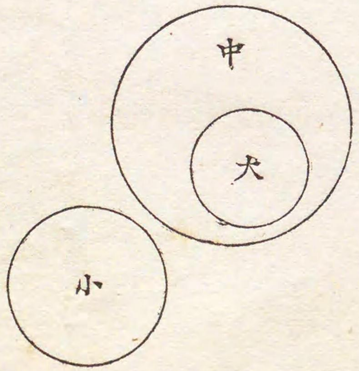
A O O



ハ或



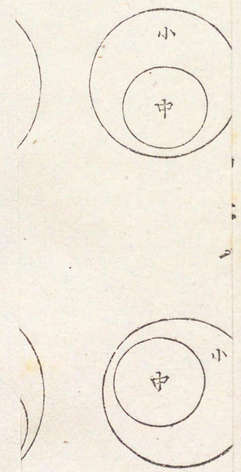
ハ或



大ハ總ベテ中ナリ。或ル小ハ中ナラズ。

故ニ或ル小ハ大ナラズ。

ノ行中ノ四樣式ガ第一格ニ屬スルヲ意味シ、第二行末ノ(Secundae)ハ行中ノ四樣式ガ第二格ニ屬スルヲ意味シ、第三行末ノ(Tertiae)ハ行中ノ四樣式



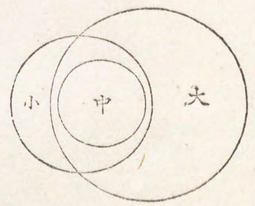
樣式 (Fel E

故ニ或ル小ハ大ナラズ。

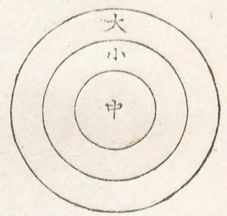
第三格式。

中 大
中 小
小 大

第一式樣
(Daia ii)
A A I

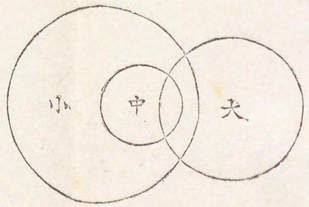


或ハ

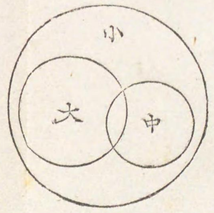


中ハ總ベテ大ナリ。
中ハ總ベテ小ナリ。
故ニ或ル小ハ大ナリ。

第二式樣
(Disamis)
I A I

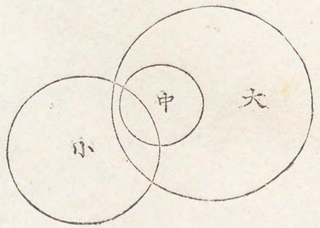


或ハ

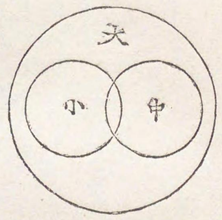


或ル中ハ大ナリ。
中ハ總ベテ小ナリ。
故ニ或ル小ハ大ナリ。

第三式樣
(Datisi)
A I I

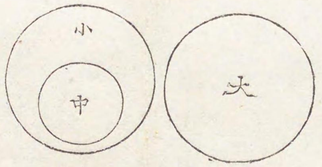


或ハ

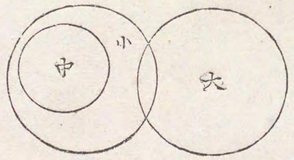


中ハ總ベテ大ナリ。
或ル中ハ小ナリ。
故ニ或ル小ハ大ナリ。

第四式樣
(Felapton)
E A O

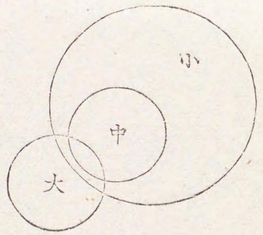


或ハ

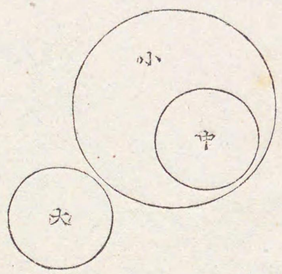


中ハ總ベテ大ナラズ。
中ハ總ベテ小ナリ。
故ニ或ル小ハ大ナラズ。

第五式樣
(Bokardo)
O A O

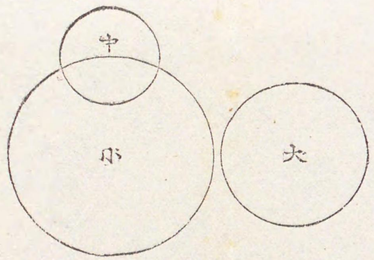


或ハ

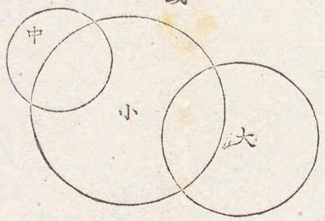


或ル中ハ大ナラズ。
中ハ總ベテ小ナリ。
故ニ或ル小ハ大ナラズ。

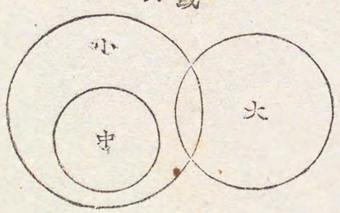
第六式樣
(Ferison)
E I O



或ハ



或ハ



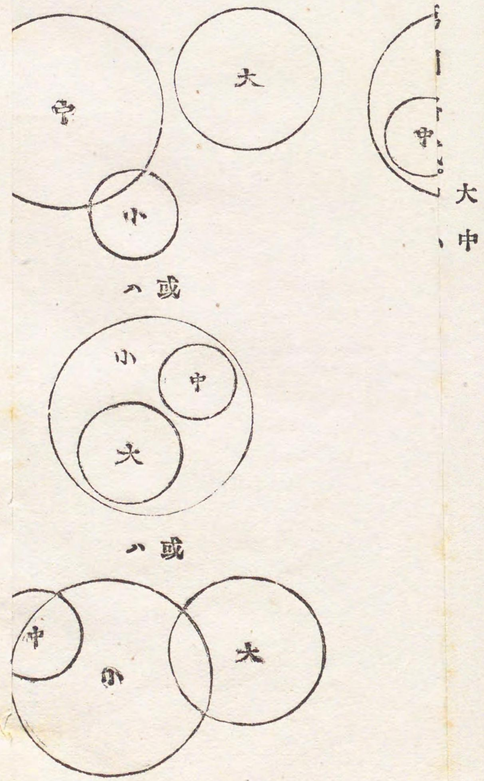
中ハ總ベテ大ナラズ。或ル中ハ小ナリ。
故ニ或ル小ハ大ナラズ。

ノ行中ノ四樣式ガ第一格ニ屬スルヲ意味シ、第二行末ノ(Secundae)ハ行中ノ四樣式

第五樣式

(Fresison)

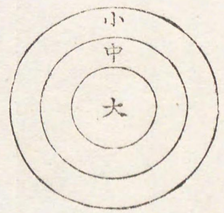
E I O



第四格式。

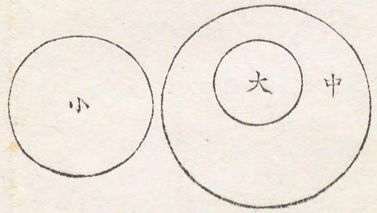
大 中
中 小
小 大

第一式樣
(Blamantip)
A A I



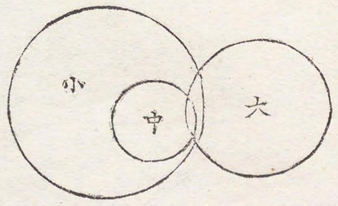
大ハ總ベテ中ナリ。
中ハ總ベテ小ナリ。
故ニ或ル大ハ小ナリ。

第二式樣
(Camenes)
A E E



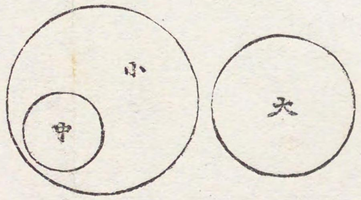
大ハ總ベテ中ナリ。
中ハ總ベテ小ナリ。
故ニ大ハ總ベテ小ナラズ。

第三式樣
(Dimaris)
I A I



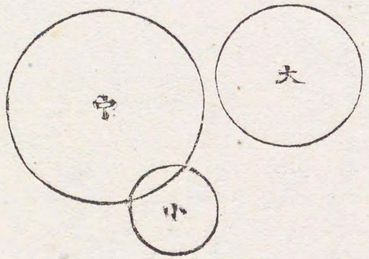
或ル大ハ中ナリ。
中ハ總ベテ小ナリ。
故ニ或ル大ハ小ナリ。

第四式樣
(Fesopo)
E A O

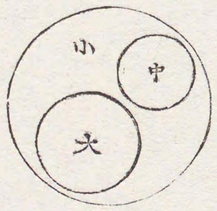


大ハ總ベテ中ナラズ。
中ハ總ベテ小ナリ。
故ニ或ル大ハ小ナラズ。

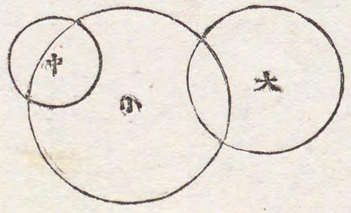
第五式樣
(Fresison)
E I O



或ハ



或ハ



大ハ總ベテ中ナラズ。
或ル小ハ中ナリ。
故ニ或ル小ハ大ナラズ。

或ハ

之レヲ譬ヘバ

大ハ總ベテ中ナラズ。小ハ總ベテ中ナリ。

故ニ小ハ總ベテ大ナラズ。

ト云ハン歟。是レ(Cesare)ナリ。サレバ、其ノ文字ノ指示スル所ニ從ヒ、吾人ハ其ノ大提案ヲ單純ニ轉換シテ(Celarent)ニ還原スベシ。又譬ヘバ、

大ハ總ベテ中ナリ。中ハ總ベテ小ナリ。

故ニ或ル小ハ大ナリ。

ト云ハン歟。是レ(Blamantip)ナリ。吾人ハ之レヲ(Barbara)ニ轉換スルニ當リ、其ノ提案ノ地位ヲ變更シ、之レヨリ推理シテ其ノ斷案トシテ小(大)ハ總ベテ大(小)ナリト云フノ命題ヲ生ズ。而シテ此ノ斷案ヲ制限的ニ轉換スルトキハ、前ノ斷案或ル小ハ大ナリトナル。サレバ、此ノ(Blamantip)ノ場合ニ限リテハ、終リノpハ變格樣式ノ斷案ヲ制限的ニ轉換シテ正格樣式ノ命題タラシムベキヲ意味セズシテ正格樣式ノ斷案ヲ制限的ニ轉換スベキヲ意味スルモノトス。(但シBlamantipノ外、提案地位ノ變更ヲ要スル他ノ四樣式(Camestres, Disamis, Camenes, Dimaris)ニ於ケル終リノSヲモ正格樣式ノ斷案ヲ轉

換シテ變格樣式ノ斷案タラシムベキヲ意味スト看做スノ記者アレドモ、其ノ轉換ハ單純轉換ナルヲ以テ孰レニテモ實際上差支ナシトス。終リニ至リ、間接還原法ハ(Baroko)及ビ(Bokardo)ニ限リテ之レヲ適用セラルベキニアラズ、何レノ樣式ニモ之レヲ適用シテ其ノ確實ナルヲ證據立ツルヲ得レドモ前ニモ云ヘル如ク、變性法ヲ行ハザルヨリハ直接ニ還原スル能ハザル樣式ハ此ノ二樣式ニ限ルナリ。而シテ此ノ二樣式ニ於テハ、其ノ冒頭ノ文字Bハ其ノ間接還原法ニ於テ、變格樣式ヲ立證スルガ爲ニ使用スル正格樣式ヲ示スモノトス。

第二十三章　三段論体第七則及ビ第八則ノ解釋及ビ三段論体論理實行ノ方法。

○余ハ第十九章ニ於テ三段論体ノ通則ヲ掲ゲ、之レガ解釋ヲ試ムルニ際シ、第七及ビ第八兩則ノ解釋ハ之レヲ措キタリケルガ、今ヤ之レガ解釋ヲ試ムルノ機ニ達シタリト覺ユレバ、讀者ノ爲、之レヲ說カン。

抑モ此ノ兩則ハ前ニモ示スガ如ク、前ノ數則ト同等ノ地位ニ立ツモノニアラズシテ、前ノ數則ヲ實際ニ應用スルヨリ生ズル所ノ結果ナレバ、今之レガ解釋ヲ爲スニハ、

之レヲ他ノ數則ニ訴ヘテ其ノ根據ヲ證明セザルベカラズ。乃チ第七則ヨリ始メン、第七則ニ於テハ、二ツノ特稱提案ヲ以テシテハ、如何ナル斷案ヲモ生ズル能ハザル所以ヲ明言ス。扨其ノ所謂二ツノ特稱提案トハII、IO、OI若シクハOOノ四種ニ出デザルベシ、然ルトキハ、此ノ中、IIハ一ノ周到語ヲモ有セザレバ、第三則ニ觸レザルヲ得ズ。何トナレバ、第三則ハ中語ガ少クモ提案ニ於テ一回、周到スルヲ要スレバナリ。又OOハ第五則ニ觸ル。何トナレバ、兩提案共ニ否定ナレバナリ、次ギニハIOハ如何ト按ズルニ、其ノ一提案否定ナルヲ以テ、若シ此ノ兩提案ヨリ一ノ斷案ヲ生ズルトセバ、第六則ニ據リ、其ノ斷案ノ否定ナルヤ明カナリ。其ノ斷案否定ナラン歟。大語、周到ス。然レモ其ノ大提案、特稱肯定命題ナルヲ以テ、第四則ニ觸レ、大語越權ノ僞論ニ陷ラズンバアラズ。終リニ至リ、OIハ大提案ノ客語トノ一ノ周到語ヲ有スルニ過キズ、然ルニ、第六則ニ據リ、其ノ斷案否定ナラザルベカラズトスルトキハ、大語ハ斷案ニ於テ周到ス。左スルトキハ、提案ニ於テ二個ノ周到語アルヲ要ス。大語及ビ中語是レナリ。然レモOIノ提案ヲ以テスルトキハ、其ノ周到語ハ唯ガ僅カニ一個ナルヲ以テ、若シモ此ノ兩提案ヲ以テ一ノ斷案ヲ生ゼントセバ、中語不周到又ハ大語越權ノ僞論ヲ爲

第二十三章

サズンバアラズ。是コヲ以テ之レヲ觀ルトキハ如何ナル場合ニ於テモ、特稱ノ兩提案ヲ以テシテハ、確實ナル斷案ヲ生ズルニ由シナキヤ知ルベシ。

次ギニ第八則ニ曰フ。三段論ニ於テハ提案ノ一ニシテ特稱ナルトキハ、其ノ斷案亦特稱ナラザルベカラズト。是レ第七則ニ於ケルガ如ク、前ノ數則ヲ以テスルニ、斯ル論体ニ於テハ、其ノ斷案特稱ナルヲ要スルノ理由アルニ據ルモノトス。扨、一ノ提案特稱ニシテ、他ノ一ノ提案全稱ナルノ場合ハ如何ト按ズルニ、其ノあらゆる場合ハ左ノ如キニ外ナラザルベシ。AI、AO、EI、EO、IA、OA、IE、OE。然レトモEO及ビOEハ第五則ニ觸ルヽヲ以テ採用スベカラズ。A1ニ於テハ、其ノ提案中ニ於テ周到スル語ハ一個ノ外ニ出デズ。然ルニ此ノ提案ヲ以テシテ、若シ全稱肯定斷案ヲ生ゼン歟。斷案ノ小語、周到スレバ、提案ニ於テ中語及ビ小語ノ周到スルヲ要ス。サレバ、AIヲ以テ、全稱肯定斷案ヲ生ゼン歟。第三則ニ觸ルヽニアラザレバ、第四則ヲ犯サザルヲ得ズ。AOニ於テハ、提案中ニ二個ノ周到語アリ。然レトモ、若シ此ノ提案ヲ以テ全稱否定斷案ヲ生ゼン歟。其ノ斷案ノ小語及ビ大語ハ兩ッナガラ周到ス。提案中ニ於ケル二個ノ周到語ヲ以テ、大語及ビ小語ニ充テン歟。第三則ニ觸レザルヲ得ズ。或ハ將タ提案

周到語ノ一ヲ中語ニ割愛セン歟。大語若シクハ小語越權ノ僞論トナル。EIニ於テハ中大ノ二語、周到ス。然レトモ此ノ提案ヲ以テ全稱否定斷案ヲ生ゼン歟。第四則ニ觸レ小語、越權ノ僞論トナル。其ノ他孰レノ場合ニ於テモ、一ノ全稱提案ト一ノ特稱提案トヲ以テ、全稱斷案ヲ生ゼントセバ、其ノ提案ニ於テ、周到語ノ足ラザルヲ發見スベシ。

○三段論体ニ關スル理論ヲ適用スルノ最タルモノハ、吾人ガ演繹的ノ推理ニ於ケル僞論ヲ發見スルニアリ。演繹的ノ推理ニ於テ、世ニハ其ノ外觀正當ノ立論ノ如クニ看エテ其ノ實之レニ反スルアリ。之レヲ名ヅケテ僞論(Fallacy)ト云フ。此ノ僞論ノ僞論タル所以ヲ發見セントセバ、先ヅ其ノ論体ヲ分析シ、然ル後其ノ論ノ誤レルヲ正シウセズンバアラズ。其ノ手續キ概略左ノ如クナラザルベカラズ。

第一、其ノ斷案即チ其ノ證據立テヲ要スル問題ノ如何ナルヲ篤ト取リ極メ、此ノ斷案ヲバ、主語(即チ其ノ論体ノ小語)ト客語(即チ其ノ論体ノ大語)トヲ區別シテ判然ト之レヲ命題ニ書キ顯スベシ。

第二、其ノ立論ニ於ケル中語ヲ發見スルヲ務ムベシ。若シ其ノ立論ニシテ確實ノモ

第二十四章

ノナランニハ必ズシモ一ノ中語ナクンバアラズ。而シテ其ノ中語ハ一ニ限ル。又其ノ所在ハ斷案ノ外ナラザルベカラズ。

第三、大語ト中語トヲ連絡スル所ノ命題ヲ發見スベシ。是レ大提案ナリ。而シテ其ノ小語ト中語トヲ連絡スルモノヲ以テ小提案ト定ムベシ。

第四、斷案既ニ定マリ、大小ノ兩提案亦既ニ發見セラルヽトキハ、之レヲ順序正シク書キ綴リ。而シテ後其ノ立論ノ確否ヲ檢定セザルベカラズ。之レヲ檢定スルニ左ノ二法アリ。

第一、若シ其ノ立論ニシテ確實樣式ノ一ト符合スルトキハ、其ノ立論ハ確實ニシテ、之レニ符合セザルトキハ、不確實ナリ。

第二、三段論体ノ八則ニ照シ、之レニ抵觸スルトキハ、其ノ立論ハ不確實ニシテ、然ラザルトキハ確實ナリ。

第二十四章。理由附キ三段論及ビ鏈鎖論。

以上論述スル所ノモノハ、單獨ノ三段論体ナルガ、更ニ此ノ三段論ノ相累ナリテ一体ノ論說ヲ成スモノアリ。譬ヘバ

乙ハ總ベテ甲ナリ。丙ハ總ベテ乙ナリ。故ニ丙ハ總ベテ甲ナリ。

然ルニ、丁ハ總ベテ丙ナリ、故ニ丁ハ總ベテ甲ナリ、

ト云ハン歟。是レ第一格、第一樣式(Barbara)ニ於ケル二個ノ三段論ヲ累ヌルモノナル「明カナリ。此ノ如ク二個以上ノ三段論相累ナリテ一論体ヲ形チ造ルニ當リ、一ノ三段論ノ提案ヲ證據立ツル他ノ一ノ三段論之レヲ名ヅケテ前論(Prosyllogism)ト云ヒ、其ノ理由ヲ授ケラルヽ三段論之レヲ後論(Episyllogism)ト云フ。

○理由附キ三段論(Epichirema)ト云ヘル一種ノ論体アリ。即チ提案中執レノ一カニ省畧論式ヲ以テ理由ヲ附スル三段論体ニシテ、之ヲ敷衍スルトキハ、二個ノ三段論体トナルモノナリ。譬ヘバ、

乙ハ總ベテ甲ナリ。何トナレバ、乙ハ總ベテいナレバナリ。

丙ハ總ベテ乙ナリ。何トナレバ、丙ハ總ベテろナレバナリ。

故ニ丙ハ總ベテ甲ナリ。

或ハ

乙ハいナルヲ以テ甲ナリ。丙ハろナルヲ以テ乙ナリ。

故ニ丙ハ甲ナリ。

是レ兩提案共ニ理由ヲ負擔スルモノニシテ、二重ノ理由附キ三段論ノ体ナリ。故ニ之レヲ敷衍スルトキハ、三個ノ三段論体トナル。即チ

第一、いハ總ベテ甲ナリ。乙ハ總ベテいナリ。故ニ乙ハ總ベテ甲ナリ。

第二、ろハ總ベテ乙ナリ。丙ハ總ベテろナリ。故ニ丙ハ總ベテ乙ナリ。

第三、乙ハ總ベテ甲ナリ。丙ハ總ベテ乙ナリ。故ニ丙ハ總ベテ甲ナリ。

更ニ之レヲ實例ニ徵スルニ、

人ハ總ベテ生物ナルガ故ニ死ス。老子ハ道理的精神ヲ有スルガ故ニ人ナリ。是ヲ以テ老子モ亦死ス。

是レ二重ノ理由附キ三段論ナリ。之レヲ敷衍スレバ、

第一、生物ハ總ベテ死ス。人ハ總ベテ生物ナリ。故ニ人ハ總ベテ死ス。

第二、道理的精神ヲ有スルモノハ總ベテ人ナリ。老子ハ道理的精神ヲ有ス。故ニ老子ハ人ナリ。

第三、人ハ死ス。老子ハ人ナリ。故ニ老子ハ死ス。

サレバ、右理由附キ三段論ノ提案ヲ維持スル前論ハ孰レモ第一類ノ省畧論ナルヿ明カナリ。(第十八章第二節ヲ參考セヨ。)然ルニ其ノ前論ニ第二類ノ省畧論ヲ以テスルヿアリ。之レヲ例スレバ、

生物ハ總ベテ死スルガ故ニ、人モ亦總ベテ死セザルベカラズ。(即チ死ス)道理的精神ヲ有スルモノハ總ベテ人ナルガ故ニ、老子ハ人ナリ。サレバ、老子モ亦死セザルベカラズ(即チ死ス)。

サレバ、理由附キ三段論ニ二種アリト知ルベシ。其ノ前論ガ第一類ノ省畧論ナルトキハ第二類ノ省畧論ナルト是レナリ。

○理由附キ三段論ノ外、三段論ノ相累ナリテ一論体ヲ成スモノニ更ニ鏈鎖体(Sorite)ト名ヅクル論法アリ。其ノ最モ適切ニシテ又最モ普通ノ体裁ハ許多ノ別語ヲ提出シ來リ。其ノ中、二個ノ語ヲ以テ最初ノ命題ヲ形造リ、其ノ客語ヲ以テ第二命題ノ主語タラシメ、之レニ更ニ一ノ別語ヲ加ヘテ客語トナシ、以テ第二命題ヲ構造ス。其ノ他、皆之レニ準ジテ前命題ノ客語ヲ以テ其ノ次ギニ立ツ所ノ後命題ノ主語トシ、更ニ之レニ一ノ別語ヲ加ヘテ之レガ命題ヲ構造ス。而シテ最末命題即チ斷案ニ至リ、第

第二十四章

一命題ノ主語ヲ以テ再ビ之レガ主語タラシメ、最末提案即チ斷案ノ直前命題ノ客語ヲ以テ客語タラシムルナリ。即チ左ニ

甲ハ總ベテ乙ナリ、
乙ハ總ベテ丙ナリ。
丙ハ總ベテ丁ナリ。
丁ハ總ベテ戊ナリ。
故ニ甲ハ總ベテ戊ナリ。

今、鏈鎖体ノ立論ヲ擴張シ、之レヲ敷衍スルトキハ、第一命題ト終末命題即チ斷案トノ間ニ存在スル命題ノ數ニ相當スル三段論体ヲ發見スベシ。斯クシテ發見セラレタル論体ハ孰レモ第一格ニシテ、其ノ前論ノ斷案ハ後論ニ對シ、小提案ノ地位ニ立ツナリ。サレバ今、試ミニ前ノ鏈鎖体ヲ擴張、敷衍スルトキハ、實ニ三個ノ三段論ニ分ルヽモノトス。即チ左ニ

(第一)　乙ハ總ベテ丙ナリ。甲ハ總ベテ乙ナリ。
故ニ甲ハ總ベテ丙ナリ。

(第二)　丙ハ總ベテ丁ナリ。甲ハ總ベテ丙ナリ。
故ニ甲ハ總ベテ丁ナリ。

(第三)　丁ハ總ベテ戊ナリ。甲ハ總ベテ丁ナリ。
故ニ甲ハ總ベテ戊ナリ。

譬ヘバ。

池月ハ馬ナリ。
馬ハ獸ナリ、
獸ハ動物ナリ。
動物ハ生体ナリ。
故ニ池月ハ生体ナリ。

ト云ハン歟。是レ鏈鎖体ノ立論ナリ。此ノ論体ヲ敷衍シテ尋常ノ三段論体ニ書キ崩ストキハ。

(第一)　馬ハ獸ナリ。池月ハ馬ナリ。
故ニ池月ハ獸ナリ。

（第二）獸ハ動物ナリ。池月ハ獸ナリ。
故ニ池月ハ動物ナリ。

（第三）動物ハ生体ナリ。池月ハ動物ナリ。
故ニ池月ハ生体ナリ。

トナル。サレバ、鏈鎖体ニ於ケル提案ハ其ノ第一提案ガ第一論ノ小提案タルノ他ハ皆、大提案ニシテ、小提案ノ如キハ、論体ノ外ニ隱ルヽモノタルヤ明カナリ。

右ノ例證ニ於テハ、一切ノ提案、皆、全稱肯定命題ナレ𪜈、吾人ハ更ニ第一提案ヲ以テ特稱肯定タラシメ、又ハ終末提案ヲ以テ全稱否定タラシメ、或ハ第一提案ヲ特稱肯定タラシムルト同時ニ兼テ又、終末提案ヲ全稱否定タラシムルヲ得ベシ。譬ヘバ

或ル横濱人ハ英人及ビ獨逸人ナリ。英人及ビ獨逸人ハとうとにっく人種なり。
とうとにっく人種ハありやん人種ナリ。
故ニ或ル横濱人ハありやん人種ナリ。

又或ハ、

或ル横濱人ハ英人及ビ獨逸人ナリ。英人及ビ獨逸人ハとうとにっく人種ナリ。

とうとにっく人種ハありやん人種ナリ。ありやん人種ハ蒙古人種ニアラズ。
故ニ或ル横濱人ハ蒙古人種ニアラズ。

然レ𪜈讀者ハ鏈鎖体ノ立論ニ於テ、提案ガ特稱タルヲ得ルハ第一提案ニ限リ、而シテ其ノ否定タルヲ得ルハ終末提案ニ限ル所以ヲ銘心セザルベカラズ。若シモ然ラズシテ第二以下ノ提案ヲシテ特稱タラシメン歟。是レ大提案ヲシテ特稱タラシムルモノニシテ、此ノ如キハ、第一格ニ於ケル様式ノ許サザル所ナリ。（前ニモ云ヘル如ク鏈鎖体ノ立論ヲ書キ崩ストキハ、第一格ニ於ケル數個ノ三段論体トナルナリ。）何トナレバ第一格ノ様式ニ於テハ、若シモ大提案ニシテ特稱ナル𪜈ハ、中語、不周到ノ僞論ニ陷ラザルヲ得ザレバナリ。將タ或ハ終末以外ノ提案ニシテ否定ナラン歟、此ノ否定命題ヲ大提案トスル三段論ノ斷案亦否定ナラズンバアラズ。既ニ其斷案否定ナルキハ、否定ノ小提案ヲ有スル後論ヲ生ゼザルヲ得ズ。然ルニ小提案ノ否定ナルハ、第一格ノ許サヾル所ナリ。何トナレバ、若シモ小提案ニシテ否定ナラン歟、大提案ハ肯定ナラズンバアラズ、然ルニ肯定大提案ト否定小提案トヲ以テシテハ、之レガ斷案ニ於テ大語、越權ノ過失ヲ犯サザルヲ得ザレバナリ。

第二十四章

若シ第一提案ヲ特稱トセバ、其ノ公式ニ於テ或ル甲ハ乙ナリト云ハズシテ、或ル乙ハ甲ナリト云フモ不可ナルナシ。左スルトキハ、其ノ敷衍セル論体ノ第一、三段論ハ第一格ナラズシテ第三格ナリトス。又若シ終末提案ヲ否定タラシメバ、其ノ公式ニ於テ、丁ハ總ベテ戊ナラズト云ハズシテ戊ハ總ベテ丁ナラズト云フモ差支ナシ。然ルトキハ、敷衍セル論体ノ終末三段論ハ第二格ナリトス、然レモ斯ク論体ノ構造法ヲ變ズレバ迚、實際、何等ノ利益ヲ看ザルノミナラズ、偶〻以テ其論体ヲシテ通例ヨリモ稍〻解シ難カラシムルノ煩ヲ增スノ一事アルニ過ギザルナリ。サレバ漫ニ奇ヲ好ミテ斯クスベキニアラザモ、茲ニハ唯此ノ如キ論体ノ論理上存立シ得ル所以ヲ示スモノトス。

○右ニ論述スル鏈鎖体ノ外ニごくれにゅーす(Goclenius)ノ鏈鎖体ト稱スルモノアリ。是レ其ノ發見者ノ名ヲ取リテ論体ニ命ジタルモノナルガ、前ニ論述セル鏈鎖体ヲ以テ正式ノモノトシ、之レニ對シ時トシテ、此ノごくれにゅーすノ鏈鎖体ヲ呼ビテ逆体鏈鎖論(Regresive sorite)ト云フコアリ。即チ其ノ名稱ガ指示スルガ如ク、其ノ性質、尋常体ノ鏈鎖論ト正シク相反對スルモノトス。

尋常ノ鏈鎖論ニ於テハ、各自ノ提案ノ客語ハ轉ジテ其ノ次ギナル提案ノ主語トナルト雖、逆体鏈鎖論ニ於テハ、各自ノ提案ノ主語ハ轉ジテ其ノ次ギナル提案ノ客語トナル。又、尋常ノ鏈鎖体ニ於テハ、斷案ニハ第一提案ノ主語ヲ以テ主語トシ、之レニ終末提案ノ客語ヲ從屬スト雖、逆体ニ於テハ、其ノ斷案ニハ終末提案ノ主語ヲ以テ主語トシ、之レニ第一提案ノ客語ヲ以テ從屬ス。又、尋常体ニ於テハ、其ノ立論ヲ擴張、敷衍スルニ際シ、其ノ各三段論ノ斷案ハ次ギノ三段論ノ小提案タル地位ニ立ツト雖、逆体ニ於テハ、其ノ各三段論ノ斷案ハ次ギノ三段論ノ大提案タルノ地位ニ在リ。サレバ、之レガ推理ニ關スル規則ノ如キモ尋常体ト相反シ、尋常体ニ於テハ、最初ノ提案ニ限リ特稱タルヲ得、終末提案ニ限リ否定タルヲ得レモ、逆体ニ於テハ、第一提案ニ限リ否定タルヲ得、終末提案ニ限リ特稱タルヲ得ルモノトス。即チ左ニ之レガ公式ヲ掲グ。

戊ハ總ベテ己ナリ。
丁ハ總ベテ戊ナリ。
丙ハ總ベテ丁ナリ。

乙ハ總ベテ丙ナリ。
甲ハ總ベテ乙ナリ。
故ニ甲ハ總ベテ己ナリ。

之レヲ例證スレバ、
生体ハ物質ナリ。
動物ハ生体ナリ。
獸ハ動物ナリ。
馬ハ獸ナリ。
池月ハ馬ナリ。
故ニ池月ハ物質ナリ。

第二十五章。複合命題及ビ複雜三段論。

○余輩ガ是レ迄論述シタル所ハ單純命題(或ハ絶對命題トモ云フ)及ビ此ノ單純命題ヲ以テ組織セル論体即チ單純三段論ノ事ニ限レリ。然レモ此ノ單純命題ニ對シ、複合命題(Complex proposition)或ハ假設命題(Hypothetical proposition)ト稱スルモノアリ、

(第八章第六節ヲ參考セヨ)、此ノ複合或ハ假設命題ヲ混ズル三段論之レヲ名ヅケテ複雜三段論(Complex Syllogism)ト云フ。抑モ複合命題トハ何ゾヤ。一文言中ニ二個以上ノ單純命題ヲ組ミ合シテ成ルモノニシテ、其ノ單純命題ハ互ニ相待チテ眞僞ヲ分ツナリ。而シテ其ノ互ニ相待チテ眞僞ヲ分ツニ二樣ノ別アリ。接續体ト分離体ト是レナリ。接續体トハ二個ノ命題或ハ一個ノ命題ト一組ミノ命題或ハ二組ミノ命題ニシテ、其ノ一方ノ眞ナルハ他ノ一方ノ眞ナルニ依ルモノナリ、他語ニテ云ヘバ、乙ノ眞ナルハ甲ノ眞ナルヲ待チテ始メテ成立スルナリ。サレバ、接續体ニ於テハ眞ト眞ト相待ツノ關係ヲ有ス。是レ接續体ノ名アル所以ナリ。此ノ如キ複合命題之レヲ接續命題(Conjunctive proposition)ト云フ。而シテ此ノ接續体ニ對シ、分離体ト云フハ一方ノ眞ナルハ他ノ一方ノ僞ナルニ依リ、一方ノ僞ナルハ他ノ一方ノ眞ナルニ依ルモノナリ。他語ニテ云ヘバ、眞ト僞ト相待チテ互ニ成立ス。是レ分離体ノ名アル所以ナリ。此ノ如キ命題之レヲ分離命題(Disjunctive proposition)ト云フ。

譬ヘバ、若シモ(或ハ若シモナシニ單ニ)甲ガ乙ナラバ、(或ハ甲ガ乙ナルトキハ、或ハ甲ガ乙ナランニハ、或ハ甲ガ乙ナラン歟。以下之レニ準ズ)丙ガ丁ナリ。甲ガ乙ナラザレバ、丙ガ

丁ナリ。甲ガ乙ナラバ、丙ガ丁ナラズ。甲ガ乙ナラザレバ。丙ガ丁ナラズ。(以上二個ノ單純命題ヲ以テ成レル複合命題)甲ガ乙ナリ、丙ガ丁ナラバ、戊ハ己ナリ。甲ガ乙ナラバ、丙ガ丁ナルカ、戊ガ己ナルカ、庚ガ辛ナルカナリ、甲ガ乙ナリ又ハ丙ガ丁ナラバ、戊ハ己ナリ又ハ庚ハ辛ナリ(以上一個ノ單純命題ト一組ミノ單純命題トヲ以テ成リ、或ハ二組ミノ單純命題ヲ以テ成レル複合命題)ト云ハバ、是レ皆、接續命題ナリ。

前ニ接續命題ニ於テハ、一方ノ眞ナルハ他ノ一方ノ眞ナルニ依ルト云ヘリ。今右ノ數例ヲ一見スルニ、第二乃至第四ノ例ニ於テハ、一方或ハ兩方ノ命題否定ナルヲ以テ、眞ト僞ト相待ツニアラザレハ、僞ト僞ト相待ツガ如キノ觀ナキニアラザレモ、是レ其ノ外觀ニシテ、內實決シテ然ラズ。何トナレバ第二ノ例ニ於テハ、丙ガ丁ナルヿノ眞ナルハ甲ガ乙ナラザルヿノ眞ナルヲ待チ、第三ノ例ニ於テハ丙ガ丁ナラザルヿノ眞ナルハ甲ガ乙ナルヿノ眞ナルヲ待チ、第四ノ例ニ於テハ、丙ガ丁ナラザルヿノ眞ナルハ、甲ガ乙ナラザルヿノ眞ナルヲ待テバナリ。

接續命題ハ之レヲ單純命題ニ書キ崩シ得ベシ。今、甲ガ乙ナラバ丙ハ丁ナリトノ接續命題ヲ單純命題ニ書キ崩ストキハ、甲ガ乙ナル場合ハ丙ガ丁ナル場合ナリトナル。

又甲ガ乙ナラザレバ、丙ハ丁ナリト云フヲ單純命題ニ變ズルトキハ、甲ガ乙ナラザル場合ハ丙ガ丁ナル場合ナリトナリ、甲ガ乙ナラザレバ、丙ハ丁ナラズト云フハ甲ガ乙ナラザル場合ハ丙ガ丁ナラザル場合ナリトナル。サレバ、斯ル体裁ヲ以テ接續命題ヲ單純命題ニ書キ崩ストキハ、接續命題ノ前節(主語、客語及ビ連辭ヲモ合シ)ヲ以テ單純命題ノ主語トシ、其ノ後節ヲ以テ單純命題ノ客語タラシムルヲ以テ、接續命題ノ前後ノ節ガ肯定命題ナルト否定命題ナルトヲ論ゼズ、之レヲ單純命題ニ書キ崩ストキハ總ベテ肯定命題トナルト知ルベシ。

次ギニ分離命題ノ例ヲ擧ゲン。甲ガ乙ナリ、若シクハ丙ガ丁ナリ、若シクハ戊ガ己ナリ。甲ガ乙ナラズ、若シクハ丙ガ丁ナラズ。甲ガ乙ナリ、若シクハ丙ガ丁ナラズ抔ト云フトキハ、是レ皆、分離命題ナリトス。

甲ガ乙ナリ、若シクハ丙ガ丁ナリトハ甲ガ乙ナルヿガ、眞ナルカ、丙ガ丁ナルヿガ眞ナルカ、二者其ノ一ニ居ラザルベカラザルノ義ナレバ、此ノ二個ノ命題ガ互ニ兩立セザルノ意味ナルヤ明カナリ。サレバ分離命題ハ接續命題ニ書キ崩スヲ得ルモノナルガ、今、甲ガ乙ナリ、若シクハ丙ガ丁ナリト云フ分離命題ヲ接續命題ニ變ズルトキハ、四個

ノ接續命題トナルナリ。即チ(第一)甲ガ乙ナラン歟、丙ハ丁ナリ。(第三)丙ガ丁ナラン歟、甲ガ乙ナリ。是レナリ。然レドモ次章ニ至リテ明カナルガ如ク、右、四個ノ命題ニ於テ、第三命題ハ第一命題中ニ含蓄シ、第四命題ハ第二命題中ニ含蓄ス。サレバ、分離命題ニ於テハ一節ノ眞ナルハ他ノ一節ノ僞ナルナリ。之レニ反シ、一節ノ僞ナルハ他ノ一節ノ眞ナルナリ。

更ニ複合命題ヨリ複雜三段論ニ推シ移リテ論ズルニ、複雜三段論トハ前ニモ云フ如ク、複合命題ヲ有スル三段論体ノ義ナルガ、複合命題ニ接續体ト分離体トノ二類アルニ應ジ、複雜三段論ニモ亦、接續体ト分離体トノ二類アリトス。其ノ接續体三段論トハ接續命題ヲ有スルモノヲ云ヒ、分離体三段論トハ分離命題ヲ有スルモノヲ云フ。今、左ニ複雜三段論ノ事ヲ論ズルニ際シ、先ヅ接續体三段論ヨリ始メテ次ギニ分離体三段論ニ說到セン。

第一二十六章。接續体三段論。

接續体三段論(Conjunctive syllogism)ニ二類アリ。(第一)兩提案共ニ接續命題ナルモノト(第二)其ノ一提案ノミ接續命題ニシテ、他ノ一提案單純命題ナルモノトヲ是レナリ。

蓋シ接續命題ナルモノハ之レヲ單純命題ニ書キ崩スヲ、總ベテ全稱肯定命題トナルヲ以テ若シ其ノ接續三段論ノ兩提案共ニ接續命題ナランニハ、單純三段論ノ第一格第一樣式(Barbara)ニ合セザルベカラズ、譬ヘバ。

若シモ甲ニシテ乙ナラバ、丙ハ丁ナリ。
若シモ丙ニシテ丁ナラバ、戊ハ己ナリ。
故ニ若シモ甲ニシテ乙ナラバ、戊ハ己ナリ。

是レ確實ノ論体ナリ。今此ノ論体ニ於ケル三個ノ接續命題ヲ單純命題ニ書キ換ヘ更ニ之レガ提案ノ地位ヲ變更スルヲヘ、

丙ガ丁ナル場合ハ戊ガ己ナル場合ナリ。
甲ガ乙ナル場合ハ丙ガ丁ナル場合ナリ。
故ニ甲ガ乙ナル場合ハ戊ガ己ナル場合ナリ。

トナル。是レ第一格第一樣式ナラズヤ。以テ右、接續三段論体ノ確實ナルヲ知ルベシ。

例スルニ、

若シモ日本ニシテ國富ミ兵強カラン歟、(日本ハ)對等條約ヲ締結スルヲ得ベシ、

若シモ(日本ニシテ)對等條約ヲ締結スルヲ得ン歟、(日本ハ)國威ヲ海外ニ張ルヲ得ベシ

故ニ若シモ日本ニシテ國富ミ兵強カラン歟、(日本ハ)國威ヲ海外ニ張ルヲ得ベシ。

ト云ハン歟。是レ第一類接續三段論ノ確實ナルモノトス。又或ハ

若シモ日本ニシテ國富マン歟、(日本ハ)兵ヲ強フスルヲ得ベシ。

若シモ(日本ニシテ)兵ヲ強フスルヲ得ン歟、不正、不理ノ現行條約ヲ以テ甘ンズルヲ得ズ。

故ニ若シモ日本ニシテ國富マン歟、(日本ハ)不正不理ノ現行條約ヲ以テ甘ンズルヲ得ズ。

ト云ハン歟。是レモ亦、第一類接續三段論ノ確實ナルモノトス。此レ等ノ例證ハ皆之レヲ第一格第一樣式ニ書キ換フルヲ得ベシ。今試ミニ第一例ヲ單純三段論ニ書キ崩ストキハ、

日本ガ對等條約ヲ締結スルヲ得ルノ場合ハ(日本ガ)國威ヲ海外ニ張ルヲ得ル

ノ場合ナリ。

日本ガ國富ミ兵強キヲ得ルノ場合ハ(日本ガ)對等條約ヲ締結スルヲ得ルノ場合ナリ。

故ニ日本ガ國富ミ兵強キヲ得ルノ場合ハ、(日本ガ)國威ヲ海外ニ張ルヲ得ルノ場合ナリ。

トナル。然ルニ今、

若シモ日本ガ國富ミ兵強カラン歟、(日本ハ)對等條約ヲ締結スルヲ得ベシ。

若シモ日本ガ國富ミ兵強カラン歟、(日本ハ)國威ヲ海外ニ張ルヲ得ベシ。

故ニ若シモ日本ニシテ對等條約ヲ締結スルヲ得ン歟、(日本ハ)國威ヲ海外ニ張ルヲ得ベシ。

ト云ハン歟。之レヲ單純三段論体ニ書キ崩ストキハ、第三格AAA樣式トナル。而シテ第三格ニ於テ、AAA樣式ハ提案ニ於テ周到セザル小語ヲ以テ斷案ニ於テ周到スルモノナレバ、三段論体ノ第四通則ニ抵觸スルヤ知ルベシ。

○二類ノ接續三段論中最モ頻リニ使用セラルヽハ第一類ニアラズシテ、第二類即チ大提

第二十六章

案接續命題ニシテ、小提案單純命題ナルノ論体ニアリ、今其ノ斷案ノ確實ト不確實トヲ問ハズ、此ノ種類ノ論体ニ更ニ幾種アリヤト云フニ、四種ノ相異ナル式アリ。此ノ四種ノ式中二種ハ確實ナレ𪜈、他ノ二種ハ不確實ノ論体ナリトス。即チ左ニ

(第一式)甲ガ乙ナラバ、丙ハ丁ナリ(大提案)。甲ガ乙ナリ(小提案)。故ニ丙ハ丁ナリ。(此ノ式、確實ナリ。)

(第二式)甲ガ乙ナラバ、丙ハ丁ナリ。甲ガ乙ナラズ(此ノ式、不確實ナリ。故ニ斷案ナシ。)

(第三式)甲ガ乙ナラバ、丙ハ丁ナリ。丙ハ丁ナリ(此ノ式不確實ナリ。故ニ斷案ナシ。)

(第四式)甲ガ乙ナラバ、丙ハ丁ナリ。丙ハ丁ナラズ。故ニ甲ハ乙ナラズ(此ノ式、確實ナリ。)

總ベテ此ノ種類ノ接續三段論体ニ於テハ、大提案ハ事物ノ世ニ存在スルト、セザルトヲ述ブルモノニアラズシテ、其ノ前節命題ト後節命題トノ關係ヲ陳ブルニ止マル。其ノ大提案ニ謂フ所ノ事柄ノ一ガ世ニ存在スルト、セザルトヲ陳ズルハ小提案ニアリ。小提案ハ大提案中ニ謂フ所ノ事柄ノ一ッガ存在スルヤ否ヤヲ斷定ス。吾人ハ此ノ斷定ト大提案ガ指示スル所ノ關係ヲ顧ミテ大提案ニ謂フ所ノ他ノ一ッノ事柄

ノ存否ヲ推理シ、以テ之レヲ斷案ニ供スルナリ

是コニ於テ、吾人ハ一般ノ規則トシテ左ノ文言ヲ得、曰ハク、若シモ小提案ニ於テ、大提案ノ前節ヲ肯定セン歟、斷案ニ於テ、之レガ後節ヲ肯定セザルベカラズ。若シモ小提案ニ於テ大提案ハ後節ヲ否定セン歟、斷案ニ於テ之レガ前節ヲ否定セザルベカラズ。然レ𪜈若シモ小提案ニ於テ大提案ハ前節ヲ否定シ、又ハ後節ヲ肯定セン歟。吾人ハ如何ナル斷案ヲモ生ズル能ハズト。其ノ理由ヲ按ズルニ、一体、甲ガ乙ナラバ丙ハ丁ナリト云フノ意味ハ甲ガ乙ナルヿガ原因或ハ理由トナリテ丙ガ丁ナルヿガ世ニ存在スルノ義ナリ。他語ニテ云ヘバ、丙ガ丁ナルヿハ甲ガ乙ナルヿノ結果或ハ甲ガ乙ナルヿヨリ出ヅルト云フノ義ナリ。サレバ、甲ガ乙ナルヿニシテ果シテ存在セン歟、之レガ結果トシテ丙ガ丁ナルヿノ繼ギ起ラザルベカラザルヤ明カナリ。是レ前節ヲ肯定シテ之レヲ眞トスル以上ハ後節ヲモ肯定シテ之レヲ眞トスルノ必要アル所以ナリ。又丙ガ丁ナルヿニシテ果シテ存在セザラン歟、之レガ原因タル甲ガ乙ナルヿノ存在セザルヤ明カナリ。是レ後節ヲ否定シテ之レヲ偽トスル以上ハ前節ヲモ否定シテ之レヲ偽トスルノ必要アル所以ナリ。然レ𪜈假令、甲ニシテ乙ナラザルモ、丙

ハ丁ナラズト云フベカラズ。何トナレバ、大提案ノ謂フ所ニ從ヒ、丙ガ丁ナルヿノ原因ハ果シテ甲ガ乙ナルヿニ在リトスルモ、是レ唯タ僅カニ丙ガ丁ナルヿノ一原因ガ甲ガ乙ナルヿニ在リト云フ丈ノ事ニ止マリテ、未タ以テ甲ガ乙ナルヿノ外ニ之レガ原因タルモノ世ニ之レナシトハ斷言セザレバナリ。サレバ甲ガ乙ナルヿニシテ、世ニ存在セザルモ、丙ガ丁ナルヿハ他ノ原因ヨリシテ世ニ存在スルヤモ未タ知ルベカラザルナリ。是レ前節ヲ否定スルモ後節ヲ否定スル能ハザル所以ナリ。既ニ前節ヲ否定スルモ後節ヲ否定スル能ハズ、他語ニテ云ヘバ、前節ニ謂フ所ノ事柄ガ世ニ存在セザレバ迚、後節ニ謂フ所ノ事柄ノ存否未タ知ルベカラズトセバ、後節ニ謂フ所ノ事柄ガ世ニ存在スルヲ以テ直チニ前節ニ謂フ所ノ事柄ノ存在ヲ決スル能ハザルヤ言ヲ俟タズシテ知ルベシ。何トナレバ、後節ノ事柄ハ果シテ前節ノ事柄ヨリ出デ來リタル所以ヲ知ルニ由シナケレバナリ。左ニ數例ヲ擧ゲテ右規則ノ應用ヲ徵ス。

若シモ論理學ニシテ斷定力及ビ推理力ヲ鍛錬スルニ足ラバ、論理學ハ貴重ノ學科ナリ。論理學ハ斷定力及ビ推理力ヲ鍛錬スルニ足ルモノナリ。故ニ論理學ハ貴重ノ學科ナリ。（確實。何トナレバ、規則ヲ遵守シテ小提案ニ於テ大提案ノ前節ヲ肯定

シ、斷案ニ於テ後節ヲ肯定スレバナリ。）

若シモ論理學ニシテ澤山ニ有用ノ材料ヲ與ヘンニハ、（論理學ハ）學ブニ足ルノ學科ナリ。論理學ハ澤山ニ有用ノ材料ヲ與フルモノニアラズ。故ニ論理學ハ學ブニ足ルノ學科ニアラズ。（不確實。何トナレバ、規則ニ反シ、小提案ニ於テ大提案ノ前節ヲ否定シ、斷案ニ於テ後節ヲ否定スレバナリ。而シテ假令、論理ノ學ニシテ澤山ニ有用ノ材料ヲ與ヘザルニハ相違ナシト雖、斷定力及ビ推理力ヲ鍛錬スルノ點ヨリシテ之レヲ學ブニ足ルヤ論ヲ俟タズ。）

「兩議院ハ各〻其ノ總議員ノ三分ノ一以上出席スルニ非ザレハ（兩議院ハ）議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ズ」今ヤ兩議院ハ議事ヲ開キ議決ヲ爲セリ。故ニ兩議院ハ各〻其ノ總議員ノ三分一以上出席セルヿ明カナリ。（確實。何トナレバ、規則ニ從ヒ、小提案ニ於テ大提案ノ後節ヲ否定シ、斷案ニ於テ前節ヲ否定スレバナリ。抑モ此ノ例ヲ外觀スルニハ、小提案ハ肯定命題ニシテ、斷案モ亦、肯定ナルヲ以テ、小提案ニ於テ後節ヲ否定シ、斷案ニ於テ前節ヲ否定スト云フハ當ラザルヤニ思ハルレ𪜈、其ノ實然ラザルナリ。何トナレバ、大提案ノ兩節共ニ否定命題ナルヲ以テ之レヲ小提

第二十六章

案及ビ斷案ニ於テ肯定命題トスルハ、取リモ直サズ、之レヲ否定スル所以ナレバナリ。

若シモ德川家康ニシテ吝ナラン歟。(德川家康ハ)織田信長及ビ豐臣秀吉ト異ナリ、功臣ヲ賞スルニ大封ヲ以テセザルベシ。德川家康ハ信長及ビ秀吉ト異ナリ功臣ヲ賞スルニ大封ヲ以テセズ。故ニ德川家康ハ吝ナリ。(不確實。何トナレバ、規則ニ反シ、小提案ニ於テ大提案ノ後節ヲ肯定シ、斷案ニ於テ前節ヲ肯定スレバナリ。而シテ德川家康ガ功臣ヲ賞スルニ大封ヲ以テセザルハ、恐ラク吝嗇ノ精神ヨリ出デタリトスルヨリモ、後世ニ至リ、尾大不振ノ患ヲ釀成スルヲ慮リタルヨリ起レリトスルヲ以テ寧ロ當レリトセズンバアラズ。)

大提案ノ前節ヲ小提案ニ於テ肯定シ、他語ニテ云ヘバ、前節ヲ其ノ儘ニ據ニ附クルノ式ヲ稱シテ構成的接續三段論(Constructive conjunctive syllogism)ト云ヒ、大提案ノ後節ヲ小提案ニ於テ否定シ、他語ニテ云ヘバ、後節ヲ打チ倒スノ式ヲ稱シテ破壞的接續三段論(Destructive Conjunctive syllogism)ト名ヅク。

○若シモ大提案中ニ顯ルヽ概念或ハ語、三種ニシテ、其ノ二種ハ他ノ一種ヲ中間ニ置キ、之レヲ以テ中語ト看做スヲ得ルニ當リテハ、接續三段論ヲバ單純三段論ニ容易ニ變改スルヲ得ベシ。斯クテ接續論体ヲ單純論体ニ書キ換フルトキハ、其ノ構成式ノ方ハ第一格トナリ、破壞式ノ方ハ第二格トナルヲ看ルベシ。譬ヘバ、若シモ老子ニシテ人ナランニハ、(老子ハ)死シタルナラン。老子ハ人ナリ。故ニ老子ハ死シタルナラントト云ハン歟。是レ確實構成式ニシテ、其ノ語、三種ナリ。老子、人、死スルノ三語是レナリ。而シテ此ノ三語中、中語ノ地位ニ立ツモノハ人ニシテ、小語ハ老子、大語ハ死スルナリ。サレバ今之レヲ單純論体ニ書キ換フルトキハ、人ハ總ベテ死ス。老子ハ人ナリ。故ニ老子モ亦死シタルナラントナル。是レ第一格第一樣式(Barbara)ナリトス。然ルニ今、論理學ニシテ澤山ニ有用ノ材料ヲ與フルノ學科ナランニハ、(論理學ハ學ブニ足ルノ學科ナリ。然レ𪜈論理學ハ澤山ニ有用ノ材料ヲ與フルモノニアラズ。故ニ論理學ハ學ブニ足ルノ學科ニアラズト云ハン歟。是レ讀者ノ既ニ知ラルヽガ如ク、不確實ナル接續論体ナルガ、之レヲ單純論体ニ書キ換フルトキハ、澤山ニ有用ノ材料ヲ與フルノ學科ハ總ベテ學ブニ足ルノ學科ナリ。然レ𪜈論理學ハ澤山ニ有用ノ材料ヲ與フルノ學科ニアラズ。故ニ論理學ハ學ブニ足ルノ學科ニアラズトナル。是レ第一格A

EEニシテ、提案ニ於テ周到セザル大語ヲ斷案ニ於テ周到スルモノナレバ、大語越權ノ過失ヲ犯スモノナリ。

右ハ大提案ノ前節ヲ小提案ニ於テ肯定或ハ否定スル所ノ接續論体ヲ單純論体ニ變改スルノ事ナレ𪜈、其ノ小提案ニ於テ大提案ノ後節ヲ肯定或ハ否定スル所ノ接續論体ハ之レヲ單純論体ニ書キ換フルヰハ、其ノ確實ト不確實トヲ論ゼズ、第二格トナル。若シモ基督ニシテ神子ナランニハ、(基督ハ)大神通力ヲ有セザルベカラズ。(或ハ有ス)基督ハ大神通力ヲ有セザリシ。故ニ基督ハ神子ナラズト云ハン歟。是レ破壞的接續論体ノ當ヲ得タルモノナリ。今之レヲ單純論体ニ書キ改ムルヰハ。神子ハ大神通力ヲ有ス。然レ𪜈基督ハ大神通力ヲ有セズ。故ニ基督ハ神子ニアラズトナル。是レ第二格第二様式(Camestres)ナリトス。然ルニ若シモ何某ニシテ守錢奴ナランニハ、(何某ハ)世ノ慈善業ニ貨財ヲ義捐スルヲ拒ムベシ。何某ハ世ノ慈善業ニ貨財ヲ義捐スルヲ拒メリ。故ニ何某ハ守錢奴ナリト云ハン歟。是レ不確實ノ接續論体ナリ。今之レヲ單純論体ニ書キ換フルヰハ、守錢奴ハ總ベテ世ノ慈善業ニ貨財ヲ義捐スルヲ拒ムナリ。何某ハ世ノ慈善業ニ貨財ヲ義捐スルヲ拒ム。故ニ何某ハ守錢奴ナリトナル。

是レ第二格AAAナレバ、中語、不周到ノ過失ヲ犯スモノトス、而シテ世ノ慈善業ニ貨財ヲ義捐スルヲ拒ムハ、本人ノ守錢奴ナルヨリ出ヅルコトアルベケレドモ、假令其ノ本人ニシテ守錢奴ナラザルモ、貧困ナルトキハ、同ジク貨財ヲ義捐スル能ハザルナリ。

右ノ例證ヲ以テ知ラルヽ如ク、第二類ノ接續論体ニ於テ其ノ三種ノ語ヲ有スルモノヲ單純三段論ニ變改スルニ當リ、其ノ新論体ノ第一格トナルト第二格トナルトノ相違ハ新論体ニ於テ、原接續論体ニ於ケル何レノ語ヲ採用シテ中語ニ充ツルヤ否ヤニアリ。新論体ノ第一格タルト第二格タルトヲ論セズ、小語ハ常ニ一定シテ變ゼズ、即チ大提案ノ前節及ビ後節ニ於テ主語ノ地位ニ立テルモノヲ以テ小語ニ充ツルナリ。サレバ中語及ビ大語タルベキモノハ前節ノ客語ト後節ノ客語トナルガ、此ノ中孰レヲ以テ新論体ノ中語トスベキヤ否ヤハ之レガ定見ヲ立ツルヿ甚タ容易ナリトス。原接續論体ニ於テ大提案幷ニ小提案ニ顯ルヽ方ヲ以テ中語トシ、大提案ニ顯ルレ𪜈、小提案ニ顯レザル方ヲ以テ大語トセズンバアラズ。但シ新論体ノ大提案ヲ作ルニハ、孰レノ塲合ニ於ケルヲ論ゼズ、原大提案前節ノ客語ヲ以テ主語トシ、後節ノ客

語ヲ以テ之レガ客語タラシムルヲ要ス。

○又第二類ノ接續論体ヲ單純論体ニ變改スルニ、第一類ノ接續論体ヲ單純論体ニ變改スルノ際ニ於ケルガ如ク、原大提案前節ノ總体ヲ以テ新大提案ノ主語トシ、後節ノ總体ヲ以テ之レガ客語トシ、小提案ニ充ツルニ新タナル小語ヲ以テスルヿアリ。此ノ方法ヲ以テスルトキハ、其ノ用語ノ三種ナル場合ハ固ヨリ三種ヨリモ多キ場合タリトモ、接續論体ヲ單純論体ニ變改スルヲ得ベシ。譬ヘバ、衆議院解散セラレタルトキハ(天皇ハ)勅令ヲ以テ新ニ議員ヲ選擧セシメ解散ノ日ヨリ五箇月以内ニ之ヲ召集スヘシ。」衆議院、解散セラレタリ。故ニ天皇ハ勅令ヲ以テ新ニ議員ヲ選擧セシメ、解散ノ日ヨリ五箇月以内ニ之レヲ召集スベシト云ハン歟。是レ前ノ方法ヲ以テシテハ、之レヲ單純論体ニ變改スル能ハザルナリ。今之レヲ後ノ方法ニヨリ、單純論体ニ變改スルトキハ、衆議院解散ヲ命ゼラレタル場合ハ(天皇ガ勅命ヲ以テ新タニ議員ヲ選擧セシメ、解散ノ日ヨリ五箇月以内ニ之レヲ召集スベキ場合ナリ。今日ノ場合ハ衆議院解散ヲ命ゼラレタル場合ナリ。故ニ今日ノ場合ハ(天皇ハ)勅命ヲ以テ新タニ議員ヲ選擧セシメ、解散ノ日ヨリ五箇月以内ニ之レヲ招集スベキ場合ナリトナル。

○老子ニシテ人ナラン歟。(老子ハ)死シタルナラン。老子ハ人ナリ。故ニ老子モ亦死シタルナラント云フト、何某ニシテ守錢奴ナラン歟、何某ハ世ノ慈善業ニ出金セザルベシ。何某ハ守錢奴ナリ。故ニ何某ハ世ノ慈善業ニ出金セザルベシト云フトハ何レモ構成式ニシテ、二者兩ッナガラ確實ノ推理ナリトス。然ルニ老子ガ人タルノ故ヲ以テ之レヲ指シテ死スト云フト、一個ノ某人ガ守錢奴タルノ故ヲ以テ之レヲ指シテ世ノ慈善業ニ出金スマジト云フトハ、確實ノ度相異ナルガ如ク思ハルレモ、是レ論理的推理ノ上ニ相違アルヨリシテ起ル所ニアラズ、大提案ニ於テ其ノ前節ト後節トノ間ニ行ハルヽ關係ニ確實ノ度ノ相違アルヨリ來ルモノトス。何トナレバ、苟クモ老子ニシテ人タル以上ハ萬々、死スルニ相違ナキモ、一個ノ某人ニシテ假令斷ジテ守錢奴ナレバ迚、世ノ慈善業ニ毫モ出金セザルヲ固ク保證スル能ハザレバナリ。假令、守錢奴ナレバ迚、交際上、人ニ勸メラレ、餘義ナク出金スルヿアルベケレバ、嚴密ニ語ルトキハ大提案ニ於テ、何某ニシテ守錢奴ナラン歟。世ノ慈善業ニ出金スマジ抔ト斷言スルハ不可ナリ。然レモ是レ事實ノ問題ニシテ演繹法論理ノ立チ入ルベキ區域ニアラザルナリ。

第二十六章

○今ヤ本章ノ筆ヲ擱スルニ臨ミ、第二類ノ確實接續三段論体ノ數例ヲ左ニ掲グベシ。

(第一)　甲ガ乙ナルトキハ、丙ハ丁ナラズ。
　　丙ガ丁ナリ。故ニ甲ガ乙ナラズ。

(第二)　甲ガ乙ナラズバ、丙ハ丁ナリ。
　　甲ガ乙ナラズ。故ニ丙ハ丁ナリ。(或ハ更ニ)丙ハ丁ナラズ。故ニ甲ガ乙ナリ。

(第三)　甲ガ乙ナラズバ、丙ハ丁ナラズ。
　　甲ガ乙ナラズ。故ニ丙ハ丁ナラズ。(或ハ更ニ)丙ハ丁ナリ。故ニ甲ガ乙ナリ、

(第四)　甲ガ乙ナラバ、丙ハ丁ナリ若シクハ戊ハ己ナリ。
　　甲ガ乙ナリ。故ニ丙ハ丁ナリ、若シクハ戊ハ己ナリ。(或ハ更ニ)丙ハ丁ナラズ、
　　又戊ハ己ナラズ。故ニ甲ガ乙ナラズ。

(第五)　甲ガ乙ナリ、若シクハ丙ガ丁ナラバ、戊ハ己ナリ、若シクハ庚ハ辛ナリ。
　　甲ガ乙ナリ、若シクハ丙ガ丁ナリ。故ニ戊ハ己ナリ、若シクハ庚ハ辛ナリ。(或ハ
　　更ニ)戊ハ己ナラズ、又庚ハ辛ナラズ。故ニ甲ガ乙ナラズ、又丙ガ丁ナラズ。

第二十七章

第二十七章。分離体三段論。

○分離体三段論(Disjunctive Syllogism)トハ前ニモ云ヘル如ク、分離命題ヲ有スル三段論ノ義ナルガ、接續体三段論体ニ於テハ、両提案共ニ接續命題ナルモノト一提案接續命題ニシテ、他ノ一提案單純命題ナルモノトノ二種アレドモ、分離体三段論ニ於テハ、其ノ大提案ハ接續命題ニシテ、小提案ハ單純命題ナリトス。而シテ其ノ單純命題タル小提案ハ大提案タル分離命題ノ一節、即チ其ノ分離命題ヲ組成スル單純命題ノ一ヲ肯定又ハ否定スルモノトス。(以上、説ノ簡明ナルヲ欲シ、二個ノ單純命題ヨリ成レル分離命題ヲ以テ大提案トスル分離体三段論ニヨリ其ノ義ヲ釋ス。)

吾人ハ二個ノ分離命題ヲ合セ、之レヨリシテ斷案ヲ生ジ能ハザルニアラズ、然レドモ斯ル場合ニ於テハ、先ヅ其ノ分離命題ヲシテ接續命題タラシムルノ後ニ於テセザルベカラズ。譬ヘバ、甲ハ乙ナリ、若シクハ丙ハ丁ナリ。甲ハ乙ナリ。若シクハ戊ハ己ナリト云フ二個ノ分離命題アランニ、吾人ハ之レヨリシテ四個ノ斷案ヲ生ズルヲ得ベシ。即チ丙ガ丁ナラバ、戊ハ己ナリ。丙ガ丁ナラザレバ、戊ハ己ナラズ。戊ガ己ナラバ、丙ガ丁ナリ。戊ガ己ナラザレバ、丙ガ丁ナラズトノ命題是レナリ。然レドモ此レ等四個ノ斷案タ

分離体三段論

ル、其ノ實、右二個ノ分離命題中ニ含蓄スル所ノ接續命題ヨリ出ヅルモノニシテ、分離命題ヨリシテ直接ニ演繹シ來ルモノナラザレバ、斯ル論体ヲ稱シテ分離体三段論ト名ヅクルハ允當ナラズト云フベシ。サレバ、余輩ガ分離命題ノ定義ハ接續命題ト之レガ廣狹ヲ同ジウセザルモノトス。

分離体三段論ノ極メテ單純ナルモノ即チ其ノ大提案ガ二個ノ單純命題ヨリ成立スルモノニアリテハ、之レヨリ生ズルヲ得ベキ一切ノ斷案、四個ナリトス。

今、甲ハ乙ナリ、若シクハ丙ハ丁ナリト云フノ分離命題ヲ大提案トスル分離体三段論ヲ列擧スレバ、

(第一)甲ハ乙ナリ、故ニ丙ハ丁ナラズ。

(第二)甲ハ乙ナラズ、故ニ丙ハ丁ナリ。

(第三)丙ハ丁ナリ、故ニ甲ハ乙ナラズ。

(第四)丙ハ丁ナラズ、故ニ甲ハ乙ナリ。

ノナル。右ハ大提案ヲ組成スル二個ノ命題ニ於テ主客ノ四語共ニ相異ナル論体ノ公式ナルガ、更ニ大提案ノ各節ガ同一ノ主語ヲ有シテ、之レガ客語ヲ異ニスルモノ

ト、其ノ各節ガ客語ヲ同ジウシテ之レガ主語ヲ異ニスルモノトアリ。甲ハ乙ナリ、若シクハ甲ハ丙ナリ(或ハ更ニ簡略ニ、甲ハ乙ナリ、若シクハ丙ナリ。)ト云ヘル大提案ヲ有スルモノト甲ハ丙ナリ、若シクハ乙ハ丙ナリ(或ハ更ニ簡略ニ、甲若シクハ乙ハ丙ナリ。)ト云フ大提案ヲ有スルモノト是レナリ。

今、甲ハ乙ナリ、若シクハ丙ナリトノ大提案ヲ以テ論体ヲ作レバ、

(第一)甲ハ乙ナリ。故ニ甲ハ丙ナラズ。(第二)甲ハ乙ナラズ。故ニ甲ハ丙ナリ。

(第三)甲ハ丙ナリ。故ニ甲ハ乙ナラズ。(第四)甲ハ丙ナラズ。故ニ甲ハ乙ナリ。

又甲若シクハ乙ハ丙ナリト云フヲ大提案トスレバ、

(第一)甲ハ丙ナリ。故ニ乙ハ丙ニアラズ。(第二)甲ハ丙ニアラズ。故ニ乙ハ丙ナリ。

(第三)乙ハ甲ナリ、故ニ甲ハ丙ニアラズ。(第四)乙ハ丙ニアラズ。故ニ甲ハ丙ナリ。

接續体三段論ニ於テハ、前節ノ眞ヲ以テ後節ノ眞ナルヲ論ズルヲ得レモ、前節ノ僞ヲ以テ後節ノ僞ヲ論ズルヲ得ズ。之レニ反シ、後節ノ眞ヲ以テ前節ノ僞ヲ論ズルヲ得レモ、後節ノ眞ヲ以テ前節ノ眞ヲ論ズルヲ得ズ。サレバ、接續論体ニ於テハ、前節ヲ以テ後節ヲ論ズルヲ得ルハ、前節ノ眞ナル場合ニ限リ、後節ヲ以テ前節ヲ論ヲ得ル

分離体三段論

ハ、後節ノ眞ナル場合ニ限レリ。然レトモ分離体三段論ニ於テハ、一節ノ眞ヲ以テ他ノ一節ノ僞ヲ論ジ、其ノ僞ヲ以テ他ノ眞ヲ論ジ、又、他ノ眞ヲ以テ一ノ僞ヲ論ジ、其ノ僞ヲ以テ一ノ眞ヲ論ジ得ルモノニシテ、前節ト後節トノ差別ヲ設ケザルモノトス。何トナレバ、接續体ニ所謂前節(Antecedent)トハ、複合命題ニ於テ一ノ單純命題ガ他ノ單純命題ノ前位ニ立ツヲ以テ此ク稱スルニアラズ、又其ノ後節トハ後位ニ立ツヲ以テ此ク名ヅクルニアラズ、前節ハ後節ノ理由ニシテ、後節ハ前節ヲ待チテ出デ來ルモノナレバナリ。然レトモ分離体ニ於テハ、斯ル順序ノ必要アルヲ看ザレバ、孰レノ單純命題モ、他ノ單純命題ニ比シ、同等ノ地位ニ立ツモノトス。是コヲ以テ、唯ダ僅カニ二節ヨリ成レル分離命題ヲ以テ大提案トスル所ノ論体ニシテ、四個ノ確實式アリ。然レトモ其ノ式タルヲ之レヲ分チテ二種トス。肯定的否定式(Modus ponendo tollens)ト否定的肯定式(Modus tollendo ponens)ト是レナリ。肯定的否定式トハ小提案ニ於テ大提案ノ或ル節ヲ肯定シ、之レニ據リテ斷案ニ於テ他ノ節ヲ否定スルノ義ナリ。否定的肯定式トハ小提案ニ於テ大提案ノ或ル節ヲ否定シ、之レニ據リテ斷案ニ於テ他ノ節ヲ肯定スルノ義ナリ。サレバ、分離体三段論ハ總ベテノ他ノ三段論ト全ク其ノ規則ヲ異

ニスルヲ知ルベシ。他ノ三段論ニ於テハ、提案ノ一、否定ナルトキハ、其ノ斷案是非共否定ナラズンバアラズ。又、兩提案共ニ肯定ナルトキハ、其ノ斷案亦、肯定ナラザルベカラズト雖、分離体三段論ニ於テハ、之レニ反ス。兩提案共ニ肯定ニシテ却テ否定斷案ヲ生ジ、一提案否定ニシテ却テ肯定斷案ヲ生ズルモノトス。是レ否定的肯定式及ビ肯定的否定式ノ名稱アル所以ナル歟。左ニ數例ヲ擧ゲテ讀者ガ此ノ論体ノ性質ニ通曉スルニ便ス。

(第一)金剛石ハ硬カ、非硬カナリ。金剛石ハ硬ナリ。故ニ(金剛石ハ)非硬ニアラズ。(甲ハ乙カ、丙カナリ。甲ハ乙ナリ。故ニ甲ハ丙ニアラズ。)

(第二)今日ノ季節ハ春カ、夏カ、秋カ、冬カナリ。今日ノ季節ハ秋ナリ。故ニ(今日ノ季節ハ)春ニモアラズ、夏ニモアラズ、冬ニテアラズ。(甲ハ乙カ丙カ丁カ戊カナリ。甲ハ乙ナリ。故ニ甲ハ丙ニモアラズ、丁ニモアラズ、戊ニモアラズ。)

(第三)日本ハ君主國体ナルカ、貴族國体ナルカ、民主國体ナルカナリ。日本ハ君主國体ナリ。故ニ日本ハ貴族國体ニモアラズ、民主國体ニモアラズ。(甲ハ乙カ丙カ丁ナリ。甲ハ乙ナリ。故ニ甲ハ丙ニモアラズ、丁ニモアラズ。)

(第四)日本ハ君主國体ナルカ、貴族國体ナルカ民主國体ナルカナリ。日本ハ貴族國体ニアラズ。故ニ日本ハ君主國体ナルカ、民主國体ナルカナリ。(甲ハ乙カ丙カ丁カナリ。甲ハ丙ニアラズ、故ニ甲ハ乙カ丁カナリ。)

(第五)支那東漢ノ末ニ於テ蜀カ吳カ魏カヾ漢ニ代リテ天下ヲ取ラズンバアラズ。魏ガ漢ニ代リテ天下ヲ取レリ。故ニ蜀ト吳トハ天下ヲ取ラザリシ。(甲カ乙カ丙カガ丁ナリ。丙ガ丁ナリ。故ニ甲モ乙モ丁ナラズ。)

右ノ數例中、第二以下ノ例ニ於テハ、大提案ハ皆、二個ヨリモ多クノ節ヲ以テ成リ、其ノ斷案、亦皆二節以上ヨリ成ルヲ看ル。然ルニ茲ニ其ノ斷案ノ二節以上ヲ以テ成ルノ場合ニ於テ着目スベキ事アリ。ソハ斷案ガ分離命題ヲ成スト成サザルトノ區別是レナリ。同ジク其ノ斷案二節以上ヲ以テ成ルノ論体ナリ、而シテ、第二、第三及ビ第五ノ三例ニ於テハ、其ノ斷案分離命題ニアラズシテ第四ノ例ニ於テハ、其ノ斷案分離命題ナリトス。是レ甲ノ三例ハ否定式ニシテ、其ノ小提案肯定ナリ。乙ノ一例ハ肯定式ニシテ其ノ小提案否定ナルニ由ルモノトス。何トナレバ、大提案ヲ組成スル諸節ハ其ノ中或ル一節ニシテ眞ナラバ、他節、皆、僞ナレ𪜈、或ル一節、僞ナレバ迚、他節皆、

眞ナルニアラズ、是コヲ以テ、否定式ニ於テハ、其ノ小提案ニ於テ或ル一節ヲ肯定スレバ、他ハ皆、斷案ニ於テ併セテ之ヲ否定セザルベカラザレ𪜈、肯定式ニ於テハ、小提案ニ於テ或ル一節ヲ否定スレバ其ノ斷案ニ於テ他節ヲバ、大提案ノ体裁ニ倣ヒ、之レヲ分離体ニ記載セザルベカラザルヤ知ルベシ。更ニ一例ヲ設ケテ讀者ノ閲覽ニ供ス。

今、甲ハ乙ナリ、若シクハ丙ハ丁ナリ、若シクハ戊ハ己ナリト云フヲ大提案ニ立テヽあらゆる變化ヲ爲シ盡スキハ、十二個ノ論体ヲ得ベシ。

(第一)甲ハ乙ナリ。故ニ丙ハ丁ナラズ、又、戊ハ己ナラズ。

(第二)甲ハ乙ナラズ。故ニ丙ハ丁ナリ、若シクハ戊ハ己ナリ。

(第三)丙ハ丁ナリ、若シクハ戊ハ己ナリ。故ニ甲ハ乙ナラズ。

(第四)丙ハ丁ナラズ、又戊ハ己ナラズ。故ニ甲ハ乙ナリ。

(第五)丙ハ丁ナリ。故ニ甲ハ乙ナラズ、又、戊ハ己ナラズ。

(第六)丙ハ丁ナラズ。故ニ甲ハ乙ナリ、若シクハ戊ハ己ナリ。

(第七)甲ハ乙ナリ、若シクハ戊ハ己ナリ。故ニ丙ハ丁ナラズ。

分離体三段論

(第八)甲ハ乙ナラズ、又、戊ハ己ナラズ。故ニ丙ハ丁ナリ。
(第九)戊ハ己ナリ。故ニ甲ハ乙ナラズ、又、丙ハ丁ナラズ。
(第十)戊ハ己ナラズ。故ニ甲ハ乙ナリ、若シクハ丙ハ丁ナリ。
(第十一)甲ハ乙ナリ、若シクハ丙ハ丁ナリ。故ニ戊ハ己ナラズ。
(第十二)甲ハ乙ナラズ、又、丙ハ丁ナラズ。故ニ戊ハ己ナリ。

是コヲ以テ之レヲ觀ルトキハ、小提案、一節ヲ以テ成リ、斷案、數節ヲ以テ成ルノ場合ニ於テハ、肯定式ニ於テハ、其ノ斷案、分離命題タルヲ要シ、否定式ニ於テハ、分離命題タラザルヲ要スト雖、其ノ小提案ガ數節ヲ有スル場合ニ於テ、其ノ小提案ガ分離命題タルト、タラザルトハ斷案ト全ク相反シ、肯定式ニ於テハ却テ分離命題タラザルヲ要シ、否定式ニ於テハ却テ分離命題タルヲ要スルヤ知ルベシ。即チ(第三)(第四)(第七)(第八)(第十一)及ビ(第十二)ノ如キ是レナリ。

○余ハ上文ニ於テ分離命題ノ各節ハ他節ト兩立スルヲ得ズ、他語ニテ云ヘバ、諸節ノ中孰レノ一節ニテモ世ニ立タン歟、他一切ノ節ハ皆倒レザルヲ得ズト看做シテ立論セリト雖、うーとれーぱんせる。みる及ビ其ノ他、許多ノ論理家ハ此ノ說ヲ駁シテ

分離命題ノ諸節ハ互ニ兩立スルヲ得ル者トセリ。譬ヘバ、余ハ今日若シクハ明日、横濱ニ行クベシト云ハン歟、右者流ノ論理家ノ說ヲ以テスレバ、今日行ケバ明日行カズ、明日行ケバ今日行カザルモ可ナリ。又、今日モ行キ併セテ明日モ行クモ亦妨ケズト看做スナリ。然レ𪜈余輩ノ鄙見ヲ以テ按ズルニ、此レ等ノ論理家ハ分離命題ニ相異ナル二種ノ用法アルヲ知ラザルガ如シ。成程、吾人ハ今日若シクハ明日、横濱ニ行クベシト云フテ而シテ後、今日行ケバ明日行カズ、明日行ケバ今日行カズ。又、今日モ行キ、併セテ明日モ亦行クモ可ナリト雖、孰レ今明、兩日ノ中、横濱ニ行カント思ヒ立チタルモ、今日行ケバ、明日行カズ、明日行ケバ今日行カズトモ附カズ、將タ又、今明、兩日共行クトモ附カズ、今明ノ中、一度行クベキヤ或ハ兩度行クベキヤ未定ノ場合ニ於テ、余ハ今日若シクハ明日、横濱ニ行クベシト云フト、既ニ今明日ノ中孰レカ一度丈ハ行クベシト決定シタル場合ニ於テ斯ク云フトハ、大ニ其ノ精神ヲ異ニセザルヲ得ズ。サレバ分離命題ハ之レヲ兩屬ノ意味ニテ用ユルトノ別アルヤ明カナリ。右ノ如キ例ニ於テハ、兩屬トモ解釋シ、又、專屬トモ解釋スルヲ得ベクシテ、其ノ意味曖昧タルヲ免レズト雖、吾人ハ一ノ主語ニ從屬スルニ、二個ノ矛盾語或ハ數個

ノ反對語(矛盾語ト反對語トノ區別ハ第十三章不容間位理法ノ條下ニ詳ナリ。)ヲ以テスルノ際ニハ、常ニ專屬ノ意味ヲ以テ分離命題ヲ用ヒザルヲ得ズ。

○大提案ニ於テ同一ノ主語ニ數個ノ反對語ヲ從屬スルニ當リ、肯定式ト否定式トノ間ニ行ハルル差異ニ就キ、注意スベキ一事件アリ。肯定式ヲ以テスルトキハ、一定ノ範圍內ニ於ケル總ベテノ反對語ヲ擧ゲ盡スヲ要スレドモ、否定式ヲ以テスルトキハ、必ズシモ總ベテノ反對語ヲ列擧スルヲ要セザルナリ。

第二十八章。重体論。

○接續体及ビ分離体三段論ノ外尙ホ一種ノ複雜三段論アリ。重体論(Dilemma)ト名ヅク。即チ一提案接續命題ニシテ他ノ一提案分離命題ナル論体ナルガ、其ノ分離命題中ニ据エ附ケラルヽ語ハ、既ニ接續命題ニ載セラルヽモノヲ以テセザルベカラズ。固ヨリ其ノ提案ノ順序ハ場合ニヨリテ一定セズト雖、接續命題ヲ大提案トスルヲ以テ寧ロ允當ナリトスルヲ覺ユ。

○抑モ此ノ重体論ニハ四個ノ確實式アリ。若シ其ノ大提案ニシテ、一前節ト數後節トヲ以テ成ラン歟。斯ル大提案ヲ以テシテハ唯ダ僅カニ一ノ確實式アルノミ。而シテ其ノ式

ハ破壞式ナリトス。左ニ、

甲ガ乙ナラン歟、丙ハ丁ニシテ戊ハ己ナリ。

丙ハ丁ニアラズ、若シクハ戊ハ己ニアラズ。故ニ(甲ガ乙ナラズ。(前章分離体三段論ノ符號式ニ於テハ、各自ノ符號字ガ代表スル事柄ハ悉皆、相異ナルト看做シテ式ヲ立テタレドモ、本章重体論ノ符號式中ノ文字ハ接續三段論ノ符號式ト同ジク、皆全ク相異ナル事柄ヲ代表スルト看做スノ必要ナシトス。)

右ノ式ニ於テ若シモ小提案ニ於テ、丙ハ丁ニシテ、戊ハ己ナリト云ハン歟、是レ分離命題ニアラザルヲ以テ、其ノ論ノ重体論ナラザルノミナラズ、吾人ハ斯ル小提案ヲ以テシテハ、如何ナル斷案ヲモ生ズル能ハザルナリ。或ハ小提案ニ於テ丙ハ丁ナラズ、又戊ハ己ナラズト云ヒ、更ニ斷案ニ於テ甲ガ乙ナラズト云フヿノ能ハザルニアラズ。然レドモ斯クスルトキハ、又其ノ小提案、分離命題ニアラザレバ、再ビ其ノ論ノ重体論タルニ害アリ。又或ハ小提案ニ於テ甲ハ乙ナリト云ヒ、斷案ニ於テ丙ハ丁ニシテ戊ハ己ナリト云フノ非論理的ナルニアラズ。然レドモ此ノ如キハ是レ又、重体論ニアラザルナリ。以テ一前節ト數後節トヨリ成レル大提案ヲ以テシテハ、重体論トシテハ、一

個ノ破壞式ヲ以テスルノ外、他ニ推理ノ道ナキヤ明カナリ。うーとれー及ビまんせる氏ハ重体論ヲ釋義シテ一個ヨリモ多クノ前節ヲ有スル假設体大提案ト分離体小提案トヨリ成レル論体ナリト云ヒタルガ、此ノ釋義ヲ以テスルトキハ、一前節ト數後節トヲ以テ成レル大提案ヲ有スルモノハ、重体論ノ中ニ入ラズト雖、是レ甚ダ不當ノ釋義ナルニ似タリ。

○若シ其ノ大提案ニシテ前式ト相反シ、數前節ト一後節トヲ以テ成ルトキハ、唯ダ僅カニ一ノ構成式アルノミ。左ニ、

甲ガ乙ナラバ、又ハ丙ガ丁ナラバ、戊ハ己ナリ。(或ハ甲ガ乙ナラバ、戊ガ己ナリ、丙ガ丁ナルモ戊ガ己ナリ。)

甲ガ乙ナリ、若シクハ丙ガ丁ナリ。故ニ戊ガ己ナリ、

右ノ論体ニ於テ、吾人ハ小提案ニ於テ、戊ガ己ナリト云ヒ、斷案ニ於テ、甲ガ乙ナリ、又ハ丙ガ丁ナリト云フノ非論理的ナルニアラズ。然レ𪜈斯クスルトキハ、其ノ小提案、重体論ノ定義ニ合セザルナリ。

○前ノ兩式ヲ以テ、單式重体論トシ、更ニ複式重体論トアリ。複式重体論ニ於テハ、前節モ後節モ其ニ數個ナルガ、單式ト異ナリ、同一ノ大提案ヲ以テ構成式ト破壞式トヲ兩ツナガラ確實ニ形チ造ルヲ得ベシ。左ニ、

(第一)甲ガ乙ナラバ、丙ハ丁ナリ、戊ガ己ナラバ、庚ハ辛ナリ。
甲ガ乙ナリ、若シクハ戊ガ己ナリ。故ニ丙ハ丁ナリ、若シクハ庚ハ辛ナリ。

(第二)丙ガ丁ナラズ、若シクハ庚ガ辛ナラズ、故ニ甲ガ乙ナラズ、若シクハ戊ガ己ナラズ。

一体、重体論トハ其ノ譯語ノ語面ヨリ看ルトキハ、接續命題ト分離命題トガ相合シテ其ノ論体ノ提案ヲ形チ造ルヨリ呼ビ做セル名稱ナルヤノ如クニ思ハルレ𪜈、原語ニテ之レヲでぃれんま(Dilemma)ト云フ所以ハ此ノ如キ譯柄ヨリシテ斯ク云フニアラズ。其ノ提案ニ於テ兩角ヲ設ケ、敵論者ノ立言ヲ一ノ角ニテ受クルニアラザレバ、他ノ一ノ角ニ懸ケ、終ニ斷案ニテ之レヲ挽キ倒スト云フヨリ起リテ斯ク名ヅケタルナリ。故ニ之レヲ有角三段論(Horned Syllogism)トモ云フ。然レ𪜈其ノ敵論ヲ受クル角ハ其ノ實、二個ニ限レルニアラズ。其ノ前節或ハ後節ノ數ヲ增シ、又ハ前後兩節ノ數ヲ併セ增スニ從フテ之レガ角ヲ增スモノトス。

(第一)甲ガ乙ナラバ、又ハ丙ガ丁ナラバ、又ハ戊ガ己ナラバ、庚ハ辛ナリ。

甲ガ乙ナリ、又ハ丙ハ丁ナリ、又ハ戊ハ己ナリ。故ニ庚ハ辛ナリ。(單式)

(第二)甲ガ乙ナラバ、丙ハ丁ナリ、戊ガ己ナラバ庚ハ辛ナリ、壬ガ癸ナラバ(イ)ハ(ロ)ナリ。甲ガ乙ナリ、若シクハ戊ガ己ナリ。若シクハ壬ガ癸ナリ。

故ニ丙ハ丁ナリ、若シクハ庚ハ辛ナリ、若シクハ(イ)ハ(ロ)ナリ。(複式)

以上、重体三段論ノ諸例ヲ通覽スルニ、該三段論ニ於テハ、其ノ提案、接續命題ト分離命題トヨリ成ルト雖、此ノ論体ノ遵守スベキ法則ニ至リテハ、分離体ニ屬セズシテ寧ロ接續体ニ屬セズンバアラズ。即チ前節ノ存在ヲ以テ後節ノ存在ヲ推定シ、後節ノ不在ヲ以テ前節ノ不在ヲ推定スルヲ得レド、前節ノ不在ヲ以テ後節ノ不在ヲ論ズルヲ得ズ、又、後節ノ存在ヲ以テ前節ノ存在ヲ論ズルヲ得ズ。然レド前ニ出セル例證ニ徵シテ知ラルベキガ如ク、接續論ト重体論トハ其ノ小提案ヲ綴ルノ方法自ラ其ノ間ニ侵スベカラザル畛域ヲ存スルナリ。接續体ニ於テモ、其ノ小提案、數節ノ命題ヲ以テ成ルヿナキニアラザレド、其ノ命題ハ分離命題ニアラザルナリ。然ルニ重体論ニ於テハ、其ノ小提案、常ニ必ズシモ分離命題ナラズンバアラズ。記者ニヨリテハ、此ノ區別ヲ無視スルモノアレド斯クスルトキハ、接續体ノ複雜ニシテ其ノ小提案ノ數節ヨリ成ルモノト、重体論トノ區別ハ失ハルヽナリ。左ニ數例ヲ擧ゲテ重体論ノ應用ヲ示ス。

(第一例)若シモ自說ノ非ナルヲ知レル政治家ニシテ、其ノ說ヲ變ゼザラン歟、己ヲ欺キ、又人ヲ僞ルモノナリ。若シ或ハ其ノ說ヲ變ゼン歟、自家撞着ノ譏リヲ免レズ。然レドモ彼レ政治家ハ其ノ說ヲ變ズルカ、變ゼザルカ、二者其ノ一ニ居ラザルヲ得ズ。故ニ彼レ政治家ハ詐欺ヲ犯スカ、若シクハ自家撞着ノ譏リヲ免レズ。

(第二例)甲論者、一ノ重体論ヲ提出シ來リテ乙論者ヲ邀フ。乙論者亦同ジク一ノ重体論ヲ提出シテ互ニ論鋒ヲ交ユルヿアリ。即チ重体論ノ角ト角ト相鬪フコトアリ。此ノ事ニ就テ論理史上、有名ノ一奇話アリ。古代希臘ノ詭辯論者ニぷろたごらす(Protagoras)ト云ヘル人アリ。又いうあすらす(Euathlus)ト云ヘル者アリケルガ、此ノ者、右ノ詭辯家ぷろたごらすニ就キ、辯論術ヲ受ケタリ。一日、師ぷ氏ニ向フテ謂ヘラク。余ガ是レ迄師ヨリ受ケタル授業ノ謝儀ハ其ノ半金ヲバ之レヲ即納スベケレド、他ノ半金ヲバ余ガ法廷ニ出デテ、始メノ訴訟ニ勝ヲ得ル迄之レヲ待チ給ヘルベシト、いう氏ハ師ニ向フテ斯ク約束シタル後法廷ニ出ヅルヲ遲延シケレバ、

ぷ氏ハ之レニ忍ビ兼テ、遂ニ法廷ヲ煩スニ至リタルガ、其ノ時、門弟いふ氏ニ語リテ曰ク「汝至愚ノ若輩、判決ノ如何ナルヲ論ゼズ、汝ハ余ニ謝金ヲ拂ハザルベカラズ。若シモ判事ニシテ余ニ勝ヲ與ヘン歟、余ハ法廷ノ判決ニヨリ、其ノ謝金ヲ獲ン。又若シモ判事ニシテ汝ニ勝ヲ與ヘン歟、余ハ汝トノ約束ニヨリ其ノ謝金ヲ獲ン。」いふ氏、師ノ言ニ答ヘテ曰ク「最モ賢明ノ師ヨ、判決ノ如何ナルヲ問ハズ、師ハ其ノ謝金ヲ失ハザルベカラズ、若シモ判事ニシテ余ニ勝ヲ與ヘン歟、師ハ法廷ノ判決ニヨリ其ノ謝金ヲ失ハザルベカラズ。又若シモ判事ニシテ師ニ勝ヲ與ヘン歟、師ハ余トノ約束ニヨリ其ノ謝金ヲ失ハザルベカラズ。何トナレバ、余ハ始メノ詞訟ニ於テ勝ヲ得ザレバナリ。」

今ぷ氏ノ立論ヲ順序正シク書キ換ユルトキハ、若シモ判事ニシテ余ニ勝ヲ與ヘン歟、余ハ法廷ノ判決ニヨリ其ノ謝金ヲ獲ン。若シモ判事ニシテ汝ニ勝ヲ與ヘン歟、余ハ汝トノ約束ニヨリ其ノ謝金ヲ獲ン。判事ハ余ニ勝ヲ與フルカ又ハ汝ニ勝ヲ與フルカナラザルベカラズ。故ニ余ハ法廷ノ判決ニヨリ又ハ約束ニヨリ其ノ謝金ヲ得ズンバアラズ。(以上重体論是コヲ以テ余ハ勝チテモ負ケテモ謝金ヲ得ズンバ

アラズ。故ニ判決ノ如何ナルヲ論セズ、汝ハ余ニ謝金ヲ拂ハザルベカラズトナル。其ノ他門弟いう氏ノ立論ノ如キモ、右ニ倣フテ順序正シク書キ換ユルヲ得ベシ。今、余ヲ以テ之レヲ觀ルニ門弟いう氏ノ答辯ニ於テ、其ノ大提案ノ一部若シモ判事ニシテ師ニ勝ヲ與ヘン歟、師ハ余トノ約束ニヨリ其ノ謝金ヲ失ハザルベカラズトハ論理上、失言タルヲ免レズ。曩キニ師ニ向フテ始メノ詞訟ニ於テ勝ヲ得ル迄其ノ謝金ノ半バヲ納ムルヲ延引スルヲ約シタルハ、取リモ直サズ、始メノ詞訟ニ於テ勝ヲ得タランニハ、其ノ謝金ノ殘餘、半額ヲ收ムベシト云フト異ナラズ。是レ即チ一ノ接續命題ナリ。サレバ師ノ大提案ニ於ケルガ如ク、之レガ前節ヲ肯定シ、更ニ斷案ニ於テ之レガ後節ヲ肯定スルハ可ナレ(師ノ大提案ニ於テハ、接續論体ノ斷案ノミヲ出ダセリ。)いう氏ノ答辯ニ於テ始メノ詞訟ニ勝ヲ得ザルト云フヲ以テ約束ニヨリ其ノ謝金ヲ失ハザルベカラズト看做スハ、前節ノ否定ヲ以テ後節ノ否定ヲ推理スルモノニシテ、非論理的ノ措置ニゾアル。然レドモ此ノ種ノ非論理的推理ハ實際屢〻發見スル所ナレバ、讀者注意シテ忘ルベカラズ。

(第三例)又ありすとーつる氏ノ話ヲニ據レバ、古代希臘あてん府ニ或ル母子アリ。

第二十八章

母其ノ子ニ語リテ曰ク、「汝ハ公務ニ就クベカラズ。何トナレバ、若シ汝ニシテ正理ヲ唱ヘン歟、世人、汝ヲ嫌フベシ。又汝ニシテ不正理ヲ唱ヘン歟、神明、汝ヲ厭フベケレバナリ。」此ノ重体論ニ對シ、ゐ氏ハ其ノ子ニ左ノ答辯ヲ敎示セリト云フ。「余ハ公務ニ從事セズンバアラズ。何トナレバ、若シモ余ニシテ正理ヲ唱ヘン歟、神明、余ヲ愛スベシ。又若シ余ニシテ不正理ヲ唱ヘン歟、世人、余ヲ愛スベケレバナリ。」

○本章ヲ終ルニ臨ミ、更ニ一言スベキコアリ。演繹法論理ノ部門ニ於テ論理家ノ間ニ異說ノ行ハルヽハ余輩ガ前ノ數章ニ於テ複合命題及ビ複雜三段論ノ名目ヲ附シテ論ジタル事柄ニ超ユルモノ尠カルベシ。サレバ、余ハふゥーらー氏等ノ說ヲ採リ、其ノ所謂複合命題(Complex proposition)ヲ一名假設命題(Hypothetical proposition)ト呼ビ、此ノ複合或ハ假設命題ヲ兩分シ接續命題ト分離命題トノ二ツトセリト雖、記者ニヨリテハ、余輩ガ所謂複合命題ヲ有限命題(Conditional proposition)トシ、余輩ガ所謂接續命題ヲ假設命題ト名ヅケ、以テ有限命題ヲ分チテ假設命題ト分離命題トニ區別スルコアリ。(或ハ有限命題ヲバ、更ニ譯シテ若設命題ト云ヒ、假設命題ヲバ、結約命題ト云ヒ、分離命題ヲバ、離接命題ト云フ。)而シテ又此レ等ノ命題ヲ有スル論体ノ區別、

亦之レニ準ジテ異同ノ行ハルヽヲ看ル。今其ノ名稱ニ就キテノ議論ハ姑ク之レヲ置キ、玆ニ理論ノ成績トシテ一大異說アリ。うゥりやむ、はみるとん氏ハ其ノ「論理講義」ニ於テ接續命題及ビ分離命題ナルモノハ尋常ノ命題ヨリモ更ニ複雜ナルニアラズト云ヒ、接續三段論及ビ分離三段論タル其ノ實、三段論即チ間接推理ニアラズシテ、直接推理ニ外ナラズトノ說ヲ立テタリ。サレバ、若シ氏ノ說ニシテ眞ナラバ接續三段論ノ符號式ハ左ノ如ク之レヲ表セズンバアラズ。

甲ガ乙ナラン歟、丙ハ丁ナリ。故ニ甲ガ乙ナルヲ以テ丙ハ丁ナリ。

其ノ分離三段論ノ式ハ左ノ如クナラン。

甲ガ乙ナリ、若シクハ丙ガ丁ナリ。故ニ甲ハ乙ナラザルヲ以テ丙ハ丁ナリ。

右ハ接續論ト分離論トノ肯定式ヲ示シタルナレ𪜈、其ノ否定式、亦之レニ準ジテ知ルベシ。

其ノ重体論ハ構成式ノ方ヲ云ヘバ、

甲ガ乙ナラバ、丙ガ丁ナリ、戊ガ己ナラバ、庚ガ辛ナリ。故ニ甲ガ乙ナリ、又ハ戊ガ己ナルヲ以テ丙ガ丁ナリ、又ハ庚ガ辛ナリ。

其ノ破壞式ノ方ヲ云ヘバ、

甲ガ乙ナラバ、丙ガ丁ナリ、戊ガ己ナラバ、庚ガ辛ナリ。故ニ丙ガ丁ナラザルヲ以テ甲ガ乙ナラズ、若シクハ庚ガ辛ナラザルヲ以テ戊ガ己ナラズ。

然レモ接續命題及ビ分離命題幷ニ此レ等ノ命題ヲ有スル論体ハ果シテ尋常ノ命題及ビ尋常ノ三段論ヨリモ複雜ナラザルヤ否ヤ、又、接續命題及ビ分離命題ヲ有スル論体ハ其ノ實間接推理ナラズシテ直接推理ナルヤ否ヤノ理由ヲ詳述スル事ハ紙面ノ許サヾル所ナルヲ以テ、姑ク不問ニ附シ去ルトスルモ、余輩ハ兎ニ角、複合命題及ビ複雜三段論ナル名稱ノ允當ニシテ、又之レヲ以テ間接推理ト看做スノ必要アルヲ覺ユルナリ。抑モ尋常ノ三段論体ニ於テハ、小提案ハ大提案ガ有セザル語、即チ小語ヲ有シ、此ノ小語ガ大提案中ノ大語ト相合シ、以テ斷案ヲ組成スト雖、複雜三段論ニ於テハ然ラズ。小提案ト云ヒ、又斷案ト云ヒ、皆、大提案外ノ語ヲ有セズ。此ノ廉ヨリシテ之レヲ觀ルトキハ、複雜三段論ハ間接推理ニアラズシテ、直接推理ナルニ似タレモ、是レ決シテ然ラズ。大提案ハ之レヲ組成スル單純命題即チ諸節ノ間ニ行ハルヽ關係ヲ述ブルモノニシテ、小提案ハ其ノ單純命題ヲ以テ代表スル事柄ガ世ニ存立スル

トセザルヲ述ブルモノナレバ、大提案中ノ單純命題トハ其ノ語面相異ナラザレモ、二者全ク別命題ト看做サズンバアラズ。而シテ其ノ斷案ハ一命題ノ成績ニアラズシテ大小両提案、合同ノ成績ナリトス。(以上、主トシテふをーちー氏ノ説ニ據ル。)

第二十九章。僞論。(第一)

○回顧スレバ、余ハ此ノ講義紙面第三章ニ於テ論理學演繹法部門ノ筆ヲ起シテヨリ爾來、章ヲ累ヌルヿ二十有七章ナルガ、未ダ此レノミニテハ演繹法論理ニ關スル事柄ハ細大、網羅シテ遺サズト云フベカラズ。殊ニ輓近ニ至リ、舊説ノ外ニ諸家ノ增補シタル説ノ如キハ、之レヲ論述スルノ暇ナカリシ。然レモ演繹法部門ニ於テ輓近諸家ノ增補セシ所ハ、絶無、僅有ナルノミナラズ、其ノ僅有ノ説ト雖、唯ダ其ノ論述ノ方法舊説ト相異ナル丈ノ事ニシテ、其ノ實行上ニ於ケル結果成績ニ至リテハ、殆ド增補スル所ナシト云フモ誣言ニアラザルヲ覺ユ。是レ今日尚ホ演繹法部ノ論理學ヲ稱シテあ氏ノ論理學ト稱スルヿアル所以ナルベシ。サレバ、右等增補ノ説ヲ詳論スルノ事ハ余ハ之レヲ他書ニ讓リ、余ハ此ノ講義紙面ニ於テハ徹頭、徹尾、論理學ハ學ト術トヲ兼帶スルモノナリトノ釋義ヲ眼前ニ置キ、此ノ學ノ理論ヲ説クト同時ニ、之レガ

實地應用ノ方法ヲ示スヲ務メタリ。若シモ讀者ニシテ再三、通讀スルノ勞ヲ取ルヲ辭セザルニ於テハ、庶幾クハ多少、余ガ微意ノ存スル所ヲ知ルアラン歟。サレバ、今ヤ余ハ茲ニ演繹法部門ノ筆ヲ擱セントスルヿナルガ、其ノ之レヲ擱スルニ臨ミ、僞論ノ事柄ヲ論述スルノ必要ヲ感ズ。

○僞論(Fallacy)トハ、論理ノ規則ヲ遵守セザル謬論ヲ稱スルモノニシテ、正當ナル論理ノ法則ニ明通セント欲セバ、唯僅カニ正當ノ推理ノミニ接スルヲ以テ足レリトスベカラズ。更ニ非論理的推理ニモ接シ、以テ之レガ非論理的ノ次第ヲ篤ト突キ留メザルベカラズ。何トナレド、往昔すくーる派(Scholatism)ノ哲學者輩ガ服膺セシ格言ノ如ク「一事物ハ之レニ反對スル事柄ヲ知ル能ハザルヨリハ決シテ本眞ニ之レヲ知ルモノニアラザレバナリ。」

論理書中、僞論ノ事ヲ記載スルモノ記者ニヨリテ一定セズ。其ノ分類ノ方法亦大ニ異説アリ。是レ一ノ僞論モ之レヲ觀ルノ方法、異ナルニ從フテ其ノ分類法ノ亦異ナルハ勢已ムヲ得ザル「ナレバナリ。然レモ今、余輩ハ大体、開祖ありすとーつる氏ガ最初、僞論ヲ説明シタル方法ニ倣ヒ、以テ之レガ分類法ヲ立ツベシ。抑モあ氏ハ僞論ヲ

第二十九章

大別シテ二大團トセリ。第一、論理的僞論、第二、事實的僞論是レナリ。

(第一)論理的僞論(Logical Fallacies)トハ外面言語ノ体裁上ニ顯ル、所ノ僞論ニシテ、其ノ立論ノ要旨ヲ構造スル事柄ニ就キテ知識ヲ有セザルモ、發見スルヲ得ベキモノトス。

(第二)事實的僞論(Material Fallacies)トハ前ノ僞論ト相反シ、外面言語ノ体裁ヨリシテ起ルモノニアラズ、其ノ立論ノ要旨ニ關シテ出ヅルモノナレバ、該要旨ニ屬スル事柄ニ通ゼザルヨリハ之レヲ發見シテ其ノ非ヲ矯正スル能ハザルナリ。

右ノ如ク一切ノ僞論ヲ大別シテ二大團トシ、更ニ其ノ第一大團タル論理的僞論ヲ區別シテ純正論理的(Purely logical)及ビ半論理的(Semi-logical)僞論ノ二種トス。而シテ其ノ所謂、純正論理的僞論トハ、三段論体ノ通則ニ正面ヨリ明カニ抵觸スルモノヲ云フ。今之レヲ列擧スレバ、

(第一)四語ノ僞論。(第一則ニ抵觸ス)

(第二)中語、不周到ノ僞論。(第三則ニ抵觸ス)

(第三)大語或ハ小語、越權ノ僞論(第四則ニ抵觸ス。)

(第四)兩提案否定ノ僞論(第五則ニ抵觸ス。其ノ他、第六則ニ抵觸スルモノ、又、第七及ビ第八則ニ抵觸スル僞論ノ如キハ、前ノ數則ニ抵觸スル僞論ニ歸スルヲ得ベシト雖、第七則ニ抵觸スルモノヲ稱シテ兩提案特稱ノ僞論ト云ヒ、第八則ニ抵觸スルモノヲ名ヅケテ特稱提案ヨリ全稱斷案ヲ生ズルノ僞論ト稱スルモ可ナリ。

其ノ他余ハ左ノ四個ノ僞論ヲモ純正論理的僞論ノ中ニ列セントス。

(第五)轉換法ノ規則ニ反スルモノ。

(第六)變性法ノ規則ニ反スルモノ。

(第七)對當法ノ規則ニ反スルモノ。

(右三個ノ僞論ハ順序ヨリ云ヘバ、純正論理的僞論ノ冒頭ニ位スベキナレ𪜈、鄙見ノ補遺ニ係ルヲ以テ此ニ列ス、讀者怪ムナカレ。)

(第八)接續三段論及ビ重体論ニ於テ、前節ノ否定ヲ以テ後節ヲ破壞シ、後節ノ肯定ヲ以テ前節ヲ構成スル僞論。

○半論理的僞論ハ其ノ數六個ナレ𪜈、其ノ重ナルモノハ左ノ四個ニアリ。

(第一)多義ノ僞論(Fallacy of Equivocation)

(第二)文義不明ノ僞論(Fallacy of Amphibology)

(第三)團合ノ僞論(Fallacy of Composition)

(第四)分割ノ僞論(Fallacy of Division)

今、左ニ逐次之レヲ説明セン。

第二十九章

第一)多義ノ僞論トハ同一ノ語或ハ言葉ヲ相異リタル二樣ノ意味ニテ使用スルナルガ、三段論体中ニ使用セラルヽ大中小語ノ三語孰レモ此ノ誤謬ニ罹ルヿアルベシ。然レ𪜈最モ屢〻此ノ僞論ノ弊ニ罹リ易キハ中語ニシテ、吾人ハ此ノ語ヲ使用スル際シ、大提案ト小提案トニ於テ二樣ノ意味ヲ以テ之レヲ使用スルニモ拘ハラズ、一向ニ其ノ二樣ナルニ氣附カザルハ有リ勝チノ事ナリ。之レヲ稱シテ曖昧中語ノ僞論ト名ヅク。斯ル場合ニ於テ若シ其ノ二樣ノ意味ヲ區別スルニ他ノ言葉遣ヒヲ以テセンニハ、其ノ論体ニ於テ用ヒラルヽ語ノ三語ニアラズシテ、其ノ實四語ナルノ理由判然スベシ。サレバ多義ノ僞論ハ實際四語僞論ノ一種ニシテ、此ノ僞論ノ稍〻潛伏セルモノニ外ナラズト知ラルヽナリ。

此ノ僞論ハ第十八章ニ於テ既ニ一應例證シタルガ、此ノ僞論ノ中ニハ、容易ニ看破スルヲ得ルモノアリ。又得ザルモノアリ。譬ヘバ人ヲ害スルハ刑法ノ禁ズル所ナリ。

僞論

人ニ己ノ傳染病ヲ移スハ人ヲ害スルナリ。人ニ己ノ傳染病ヲ移スノ措置ハ之レニ刑ヲ加ヘザルベカラズト云ハン歟。此ノ立論ノ正當、不正當ハ、吾人ガ刑法ニ所謂、害トハ如何ナル意味ナルヤヲ解釋スルノ異同ニヨリ相分ルヽモノトス。法律ノ適用ニ關スル問題ニ於テハ、此ノ種類ノ困難殊ニ多シトス。又、他人ノ職業ヲ妨害スルハ不適法ノ措置ナリ。商品ヲ人ヨリモ安賣リスルハ他人ノ職業ヲ妨害ス。故ニ商品ヲ人ヨリモ安賣リスルハ不適法ノ措置ナリト云ハン歟。此ノ場合ニ於テ疑問ノ所在ハ妨害ノ種類ノ如何ニアルヿナルガ、商品ノ安賣リタル、大提案ニ所謂、妨害ノ種類ニアラザルヤ歴然ナリ。

此ノ多義ノ僞論ヲ以テ其ノ實、四語ノ僞論ニ外ナラズト看做スキハ、此ノ僞論ハ尋常ノ三段論ニ限レリト雖、複雜論体ノ如キモ均シク此ノ僞論ニ羅リ、而シテ又、疑似決シ難キノ場合アリトス。譬ヘバ、衆議院ニ於テ議員ノ資格ニ付異議ヲ生ジタルトキハ特ニ委員ヲ設ケ時日ヲ期シ之レヲ審査セシメ其ノ報告ヲ待チテ之レヲ議決スベシ。代議士二田某ノ儀ニ就キテハ、衆議院ニ於テ議員ノ資格(議員ノ當選資格)ニ付キ、異議ヲ生ジタリ。故ニ特ニ委員ヲ設ケ時日ヲ期シ、之ヲ審査セシメ、其報告ヲ待

チテ之レヲ議決スベシト云ハン歟。此ノ立論ノ僞論ナルトナラザルトハ大提案中ニ使用スル議員ノ資格ナル語ノ解釋如何ニヨリテ決セザルベカラズ。

(第二)文義不明ノ僞論トハ多義ノ僞論ト異ニシテ多義ノ僞論ハ語或ハ言葉ノ意味ガ數樣ニ分岐スルヨリ起レモ、文義、不明ノ僞論ニ於テハ、其ノ槪實ハ語或ハ言葉其レ自身ノ意味ガ曖昧ナルニアラズシテ、其ノ文章上ノ組ミ立テ方ノ不明ニシテ、動スレバ誤解ヲ惹キ起シ易キニアリ。假令其ノ文章ニ使用スル言葉或ハ語其レ自身ハ其ノ意味、判然トシテ認ユベカラザルニモ拘ハラズ、若シ其ノ組ミ立テ方ニシテ當ヲ得ザランニハ、其ノ文義ノ二樣ニ解釋セラレ或ハ曖昧乎トシテ甄レトモ決定シ難キヿアルハ少シトセズ。憲法第六十七條ノ末文ニ於テ「政府ノ同意ナクシテ帝國議會之ヲ廢除削減スルヲ得ス」ト云フガ如キハ余輩ガ嘗テ第七章中ニ論明スル如ク、之レヲ消極的ニ解釋スレバ、其ノ政府ノ同意ヲ得ルノ手續キタル、少クトモ二樣ニ解釋セラル。即チ確定議前、兩院共別々ニ政府ノ同意ヲ得ルト、衆議院ニテハ政府ノ同意ヲ得ズシテ確定議ヲ爲シ、之レガ成績ヲ貴族院ニ回附シ、貴族院ヨリシテ確定議前ニ政府ノ同意ヲ得ルト

是レナリ。此ノ二樣ノ解釋中、單ニ文章丈ヲ以テシテハ、孰レトモ決定スル能ハズ。然レモ其ノ句ヲ組ミ立テル言葉ノ如キハ、別々ニ之レヲ取リ離ストキハ、一目了然、認ユベカラズ。以テ多義ノ僞議ト文義、不明ノ僞論ト相異ナル所以ヲ知ルベシ。

今日ノ日本文章ニ於テハ、主語ヲ省略スルヿ甚ダ頻リニ行ハルヽヿナルガ、主語ヲ省略スレバ迚、其ノ事ノ惡シキニハアラズ、却テ無益ノ手數ヲ省キ、文勢ヲシテ通暢ナラシムルノ効アルヲ以テ其ノ省略ノ仕方ニヨリテハ、却テ大ニ觀ルベキアリ。然レモ一方ニ於テ斯ル便益アルト同時ニ、他ノ一方ニ於テハ又之レガ爲、往々、文義不明ノ僞論ニ罹ルヿアリ。譬ヘバ「讀史餘論」卷九五丁目ニ云フ。義助は去年の冬新帝よりの勅を受て黑丸の城を攻落したり。高經富樫の城におつ。其後京勢多く下りて杣山の城も落され。美濃の根尾の城にてもりしを土岐がためにおとされ。郎等七十三人を具して竊に吉野殿に參る」。云々。此ノ文章ニ於テ、美濃ノ根尾ノ城ニ籠リタルハ、誰レナルヤ、郎等ヲ具シテ吉野殿ニ參ルハ何人ナルヤ。當時ノ事情ヨリ推シテ義助ナルベシトハ知ラルヽモ、單ニ文面ノミヲ以テ之レヲ考フルトキハ、義助ニハアラデ、却テ高經ナルヤニモ思ハルヽナリ。總ベテ許多ノ命題、相連續スルモ、其ノ各命題ノ主語ガ同一ナル限リハ、冒頭ノ命題ニ一度、之レガ主語ヲ掲グルノミニシテ、他ハ之レヲ省略スルモ、吾人ハ容易ニ之レガ文義ニ通ズルヲ得ルナリ。然レモ若シ其ノ中間ノ命題ニシテ一個タリモ、其ノ主語ヲ異ニスルモノニ出會スルトキハ、其ノ直下ニ少クモ更ニ一度丈ハ前ト同一ノ主語ヲ繰返サヾルベカラズ。然ラザルトキハ、以下ノ命題ノ主語ハ其ノ中間ニ横ハル一命題ノ主語ト同樣ノ主語ヲ省略スルモノトシテ解釋スルハ、思想、自然ノ傾向ニゾアル。余輩ハ此ノ「黙」ニ關シテハ、古來、和漢ノ文章ニ於テ、大ニ遺憾ナキ能ハズ。サレバ、讀史餘論ノ右一文ノ如キモ、(前略)高經富樫の城におつ。其後京勢多く下りて杣山の城も落され。義助美濃の根尾の城にてもりしを土岐かためにおとされ。郎等七十三人を具して竊に吉野殿に參る。云々ト書シタランニハ之レヲ當時ノ事情ニ徵セザルモ、唯其ノ文面丈ニテ、根尾ノ城ニ籠リシヨリ以下ノ事ヲ爲シタルハ義助ナルヿ判然タラン。又「讀史餘論」卷十二八丁目ニ謂フ「此年八月大内か家人陶尾張守晴賢反して周防山口に向ひしかい。義隆やぶれて石見の吉見正頼を憑むとて落行を追て。九月長門の深川大寧寺にて自殺。」云々義隆ノ落チ行クヲ追ヒタルハ晴賢ニシテ、大寧寺ニテ自殺シタルハ義隆ナレモ、是レ事實ニ據リ判斷

僞論

スルモノニシテ、專ラ文章ノミヲ以テ判スレバ、大寧寺ニテ自殺ヲ遂ゲタルハ義隆ニハアラデ却テ晴賢ナルヤニ見ユルナリ。是レ末句ニ主語トシテ義隆ノ入ルベキヲ省畧シタレバナリ。ザレバ此年八月大内か家人陶尾張守晴賢反して周防山口に向ひしが、義隆やふれて石見の吉見正頼を憑むとて落行を追ひたり。九月義隆長門の深川大寧寺にて自殺云々ト云フヲ以テ寧ロ當ヲ得タリトス。

主語ノ一定セザルヨリ文義二樣ニ分ルヽノ弊害ハ和文、漢文共ニ動スレバ羅リ易キ所ナルガ漢文ニテハ、名詞、形容詞、動詞、副詞共ニ同樣ノ言葉ヲ使用シ、之レガ尾辭等ニ毫モ變化アラザルノ場合甚ダ多キヲ以テ、日本文ヨリモ更ニ一層文義不明ノ僞論ヲ免レザルモノアリ。此ノ事ニ就キテ、文學博士南條文雄氏嘗テ云ヘルヿアリ。今試ミニ明明明明ノ四字アランニ、之ヲ明カニ(副詞)明カナル(形容詞)明ヲ(名詞目的格)明カニス(動詞)ト讀ムヿヲモ得ベシ。又明々ナル明ヲ明カニストモ云フベシ。明ハ明カニ明カナル明ナリトモ云フベシ。畢竟日本ニテ訓讀スレバコソ、吾人ニハ其ノ意ヲ知ルヿヲ得レドモ、若シ前後ノ關係ヲ見ザル時ハ、タトヒ支那人ト雖、四個ノ明ノ字果シテ名詞、動詞等ノ四種ノ區別アルヤ、又ハ三種二種ノ區別ノミナルヤヲ判定スル

第二十九章

ヿ難カルベシ。唯慣用ニ依リテ不便ヲ感ゼザルベキモ、他語ト比較スレバ、支那語ハ言語ノ歷史中ニテハ最初ノ形ヲ保存スルモノト云フヿナリ。此ハ現今ノ博言學家ノ常ニ謂フ所ナリ。」云々(二十三年五月發行哲學會雜誌第三十九號)但シ漢文ニ於ケル此ノ種ノ僞論ハ、一ハ文章ノ組ミ立テニ關シ、一ハ言葉ノ用法ニ關スルヲ以テ、文義不明ノ僞論ト多義ノ僞論トヲ打チ混ズルト看做スヲ以テ可ナリトセズンバアラズ。

「論語」八佾ノ篇ニ謂フ。「夷狄之有君。不如諸夏之亡也」朱註ノ謂フ所ヲ以テスレバ、夷狄ノ君アルハ諸夏ノ亡キガコトク、ナラザルナリト訓讀スルル以テ至當トスベキナレモ、サリ迚、夷狄ノ君アルハ諸夏ノ亡キニシカザルナリト訓讀スルヲ得ザルノ必要モ見エズ。ザレバ、如ノ一字ヲ形容詞(ゴトク)トシテ解釋スルト働詞トシテ解釋スルトハ、全文ノ意味殆ド相反スルノ相違アリト云フベシ。然レモ唯文章ノ表ニテハ、孰レトモ決定スル能ハザルナリ。又、孟子告子上篇ニ謂フ。「孟子曰生之謂性也。猶白之謂白與。曰然。白羽之白也。猶白雪之白。白雪之白猶白玉之白與。曰然」此ノ一文ノ如キ之レヲ訓讀シテ生之レヲ性トイフヤ、ナホ白之レヲ白トイフガゴトキカ。イワク然リ。羽ノ白ヲ白トスルヤ、ナホ雲ノ白ヲ白トスルガゴトク、雲ノ白ヲ白トスルハ、ナホ玉ノ白

ヲ白トスルガゴトキカ、イワク然リトモ云フヲ得ベク、又之レヲ訓讀シテ(前略)白羽ノ白ヤ、ナホ白雪ノ白ノゴトク、白雪ノ白ハナホ白玉ノ白ノゴトキカ(下略)トモ云フヲ得ベシ。他語ニテ云ヘバ、白ノ一字ヲ以テ動詞トシ、或ハ形容詞トスルモ文法上差支ナシトス。

(第三)團合ノ偽論トハ云ハヾ多義偽論ノ一種ナルガ、一種類事物ノ銘々ニ就キテ云ヒタル事ヲ其ノ種類ヲ一括シ、之レガ總体ノ上ニ就キテ云ヒタルガ如クニ解釋シ、銘々ニ就キテ云ヒタル事ヲ總体ノ上ニ適用スルニアリ。他語ニテ云ヘバ、一種類ノ事物ニ就キテ偏頗ナク而カモ別レ別レニ云ヒタル語ヲ團体語トシテ受ケ取リテ事ヲ論ズルニアリ。譬ヘバ、三角形一切ノ角度ハ二直角ヨリモ小ナリト云ハン歟。幾何學ニテ斯ク云フ所以ノ意味ハ三角形ニ於テハ孰レノ角度モ二直角ヨリモ小ナリト云フノ義ナルガ、之レヲ解釋シテ、若シ三角形ノ諸角ノ合計ハ二直角ヨリモ小ナリト云フ心得ニテ事ヲ論ゼン歟。是レ團合ノ偽論ナリ。此ノ團合ノ偽論ニ對シ、(第四)分割ノ偽論ト云フアリ。是レ取リモ直サズ、團合偽論ノ裏腹ニシテ、一種類總体ニ就キテ云ヒタルヲ銘々ニ就キテ云ヒタルト混視シ、其ノ心得ニテ事ヲ論ズルノ間違ナリ。

ザレバ今、三角形ノ角ハ總テ(〆メテ)二直角ニ同等ナリ。ABCハ三角形ノ一ノ角ナリ。故ニABCハ二直角ニ同等ナリト云ハン歟。是レ分割ノ偽論ナリ。サレバ單純三段論体ノ上ニテ云ヘバ、大提案ニテ團体的ニ用ヒタル中語ヲ小提案ニテ分別的ニ用ユルハ分割ノ偽論ナリ。大提案ニテ分別的ニ用ヒタル中語ヲ小提案ニテ團体的ニ用ユルハ團合ノ偽論ナリ。其ノ他、大語ト小語トノ事モ之ニ準シテ知ルベシ。譬ニ三人集レバ文殊ノ知慧ト云フヿアリ。是レ三人ガ銘々ノ働キヲ以テ、此ノ三人ガ相集リテ構成スル團体ノ働キヲ議スベカラザルヲ云フナリ。今、内閣大臣ノ銘々ニ就キ之レガ行爲ヲ非毀セン歟。若シ之レヲ以テ直チニ内閣ヲ非毀スルモノトセバ、是レ團合ノ偽論ナリ。之レニ反シ、内閣ナリ、又ハ國會ナリ、其ノ全團体ガ執ル所ノ意見ヲ以テ其ノ内閣員又ハ國會議員ノ銘々ノ意見ナリトセバ、是レ分割ノ偽論ナリ。

七及ビ二ハ(分別的ニ)奇數ト偶數ナリ。九ハ(團体的ニ)七及ビ二ナリ。故ニ九ハ奇數ト偶數ナリト論ゼン歟。是レ團合ノ偽論ナリ。又、日本人民ハ丁壯及ビ老若ノ男女ヨリ成ル。貴族院及衆議院議員ハ日本人民ナリ。故ニ貴族院及ビ衆議院議員ハ丁壯及ビ老若ノ男女ヨリ成ルト云ヒ、日本國民ハ外國ニ對シ、敵愾ノ情アリ。何某ハ日本國民

ナリ。故ニ何某ハ外人ニ對シ、敵愾ノ情アリト云ハン歟。是レ分割ノ偽論ナリトス。」全稱命題ノ符號トシテ使用セラルヽ言葉ノ中ニアリテ、皆、悉、孰レモ、到ル處、普ク、遍ヲテ等ノ言葉ハ其ノ意味、明確ニシテ、常ニ分別的ニ解釋スルヲ得レモ、一切、總ベテ等ノ言葉ハ其ノ意味、曖昧ニシテ、或ハ之レヲ分別的ニ解釋スルヲ得ベク、或ハ之レヲ團体的ニ解釋スルヲ得ベシ。精密ニ事ヲ論ゼントスルノ徒ハ大ニ此レニ留心セザルベカラズ。

第三十章。偽論(第二)

○論理的偽論ニ次ギテ講究スベキハ事實的偽論ナルガ、此ノ偽論タル此ノ講義紙面ガ許ス如キ畧說ヲ以テシテハ、之レヲ說明スル甚ダ難シト雖、是レ實ニ大切ノ偽論ニシテ其ノ重要ナルモノ六種アリ。

(第一)特別境遇ノ偽論(The Fallacy of Accident)

(第二)特別境遇反面的ノ偽論(The Converse Fallacy of Accident)

(第三)筋違ノ偽論(The Fallacy of Irrelevancy)

(第四)問題不問ノ偽論(The Petitio Principii)

(第五)偽因(The False Cause)

(第六)多問ノ偽論(The Fallacy of Many Question)

(第一)特別境遇ノ偽論ト(第二)特別境遇反面的ノ偽論トハ之レヲ一括シテ論ズルヲ以テ便ナリトス。特別境遇ノ偽論トハ或ル特別境遇ノ事情ニ出會スルニヨリ、一般ノ規則ヲ以テ論ジ難キモノアラン。然ルニ其ノ境遇ノ如何ヲ論ゼズ、總ベテ一般ノ規則ニ當テ嵌メテ事ヲ論ズルノ云ヒナリ。即チ一般ノ事柄ヲ以テ例外事件ヲモ論ズルモノ是レナリ。然ルニ、此ノ偽論ト相反シ、特別ノ場合ヨリシテ直チニ一般ノ場合ニ論到スルノ偽論アリ。之レヲ特別境遇反面的ノ偽論ト云フ。虛言ノ不可ナルハ人皆之レヲ唱フ。然レモ人生、日常ノ交際上ニ於テ、一方ニハ虛言ノ不可ナルヲ唱ヘナガラ、他ノ一方ニハ、往々之レヲ恕スルヿアルハ何ゾヤ。是レ虛言ハ不可ナリトハ一般ノ規則ニシテ人、皆、不言ノ間ニ例外事件ノ餘地アルヲ許セバナリ。然ルニ若シ此ノ規則ヲあらゆる場合ニ迄モ應用シ、詩歌小說甚ダシキハ人ニ對シ、敬禮上、儀式トシテ用ユル所ノ言葉ノ如キニ至リテモ、尙ホ且ツ虛言ハ不可ナリトセバ、是レ特別ノ境遇ヲ無視スルモノニシテ、甲種ノ偽論タルヲ免レズ。又或ハ仁ハ一ノ美德タルニハ、相違ナ

第三十章

シ。然レ𪜈如何ナル場合タリトモ、之レヲ實行スルヲ以テ可トスル能ハズ。所謂、宋襄ノ仁ナルモノハ特別境遇ノ僞論タルニ外ナラズ。更ニ乙種ノ僞論ヲ例證セン歟。一國ノ元氣、衰頽、萎靡ヲ極ムル場合ニ於テハ、革命ナルモノハ國家、民人ノ存立、維持ニ缺クベカラザラン。然レ𪜈斯ル道理アレバ迚、一般ニ革命ヲ以テ社會ノ存立、維持ニ缺クベカラズト論ズル能ハズ。又、人アリ、一種ノ病痾ニ罹ラン歟。之レニ藥劑ヲ投ジ、勤勞ヲ中止スルヿ必要ナラン。然レ𪜈病痾已ニ平癒シ、健康ニ復スル後タリ𪜈、尚ホ且ツ藥劑ヲ服シ、勤勞ヲ怠ルヲ以テ必要トスル能ハザルナリ。之レヲ要スルニ、特別境遇ノ僞論ト云ヒ、又、特別境遇反面的ノ僞論ト云ヒ、提案ニ於テ使用スル語ニ明文ヲ以テ制限ヲ加フベキニ、之レヲ加ヘズ、例外ヲ設クベキニ、之ヲ設ケザルヨリ起ルモノニシテ、吾人ハ其ノ使用スル所ノ言語ヲ愼ミ、精密ヲ旨トシテ怠ルナキニ於テハ、此ノ僞論ヲ避クルヿ敢テ難キニアラズ。

往古ヨリ特別境遇ノ僞論ノ例トシテ世間許多ノ論理書ニ登錄セルモノアリ。汝ハ市場ニ於テ買ヒ來レルモノヲ食ス。今、汝ハ生肉ヲ市場ヨリ買ヒ來レリ。故ニ汝ハ生肉ヲ食ス。然レ𪜈第一提案ニ謂フ所ハ食物(肉ヲモ籠メテ)ノ實質ニ就キテ明言シ、生肉ノ生ハ之レヲ例外視シタルモノナルヲ、斷案ニ於テ强ヒテ之レヲ其ノ範圍内ニ入ルルヿ明カナリ。或ハ假令、第一提案ニ於テ、市場ニテ買ヒ來レルモノヲ食ストスルモ、市場ヨリ買ヒ來レル食物ヲ割烹シ、之レヲ調理シテ、而シテ後、食スルモ食スルナリ。或ハ其ノ買ヒ來レル儘、之レヲ調理モセズシテ食スルモ食スルナレ𪜈、尋常ニハ、之レヲ調理シテ而シテ後、食ス。サレバ市場ニテ買ヒ來レル生肉ヲ其ノ儘、食スルヤ否ヤハ例外事項ト看做サズンバアラズ。此ノ僞論ト異ナリ今、酒ハ多量ニ用ユル𪜈ハ、一種ノ毒藥トナル、是コニ於テ、酒ハ、常ニ毒藥ナリト論ゼバ、特別境遇反面的ノ僞論ナリトス。

伊太利國ノ小說家ぼっかしを氏(Boccaccio)ノ小說話ニ、特別境遇ノ僞論トシテ面白キ一奇談アリ。是レ取リモ直サズ、生肉ノ僞論ト之レガ形ヲ異ニシテ、而カモ其ノ精神ヲ同ウスルモノナリ。一人ノ僕アリ、主人ノ爲、一匹ノ鶴ヲ燒キテアリケルガ、己ガ情婦ノ來リテ之レヲ食セント欲シケレバ、已ムヲ得ズシテ終ニ竊ニ之レガ一脚ヲ割キテ與ヘタリ。斯クテ其ノ鳥ノ食卓ニ上リタル頃、唯ダ僅カニ一脚ヲ具スルノミニテ他ノ一脚ノ見ヘザリケレバ、主人ハ僕ニ向ヒ、之レヲ詰同シタルニ、僕ハ鶴ノ脚ハ一体、一

第三十章

脚ヨリモ多カラズト答ヘタリ。是コニ於テ、主人怒ルヿ甚ダシ。然レ𪜈其ノ僕ヲ罰スルノ前、先ヅ兎モ角モ、悪キ彼ノ口ヲシテ閉デシメン迚、次日其ノ僕ヲ具シ、鶴ノ住メル野外ニ至リケルニ、鶴ハいつもノ如ク、一脚ニテ立テルヲ見受ケタリ。是コニ於テ僕ハ勝チニ誇リタル面もちニテ、矢庭ニ主人ノ方ニ差シ向ヒタルガ、此ノ時、主人ハ大聲、一喝シテ鶴ヲ追ヒタリ。鶴、他ノ一脚ヲ顯シ、双脚相並ビテ其ノ處ヲ去レリ。僕ハ主人ニ謂テ曰ハク、主人公ニハ何條、昨日喫食ノ際、大聲ヲ放タザリシヤ。若シ其ノ際、只今ノ如ク大聲ヲ放チテ號呼シタランニハ、鶴タル者豈他ノ一脚ヲ顯サズト云ハンヤ」。

サレバ、特別境遇ノ僞論(Fallacia accidentia)タルヤ、單ニ一般命題ノ体裁ヲ以テ書キ顯スト雖、其ノ實、不言ノ間ニ例外ノ餘地アルヲ許ス所ノモノヲ、其ノ言葉遣ヒニ拘泥シ、或ハ之レヲ誤解シ、强ヒテ嚴密ナル全稱命題ノ義ニ解釋シ、以テ特別ナル境遇ノ有無ヲ問ハズ、何レノ場合ニモ適用セントスルニ在リト云フベシ。之レニ反シ、特別境遇反面的ノ僞論(Fallacia a dicto secundum quid ad dictum simpliciter)トハ或ル境遇ノ下ニ於テ始メテ眞ナルヲ得ベキ命題ニシテ、其ノ境遇ヲ言外ニ置キタルヲ强ヒテ全

稱命題ノ義ニ解釋スルニアリトス。左ニ特別境遇反面的ノ僞論ニ關スルみる氏ノ見解ヲ採錄ス。

曰ハク「此ノ僞論ハ提案ニ於テ、制限ヲ附シテ一ノ命題ヲ主張シナガラ、斷案ニ於テ之レガ制限ヲ看過スノ際ニ行ハルヽモノトス。然レ𪜈此ノ僞論ノ更ニ一層多ク行ハルヽハ、一ノ制限或ハ事情ニシテ、現ニ表立チテ主張セラレザルモ、其ノ制限或ハ事情ガ或ル命題ヲシテ眞ナラシムルニ必要ナルニ際シ、該命題ヲ一ノ提案トシテ使用スルニ臨ミ、其ノ制限ヲ打チ忘ルヽノ場合ナリトス。世ニ流行スル非論理的立論ニハ、此ノ種類ノ誤謬ニ屬スルモノ多カラズトセズ。其ノ提案タル人ノ許ス所ノ眞理、普通ノ格言ナレ𪜈、此ノ格言、眞理ノ證憑或ハ理由ヲバ忘却シ、又ハ差シ當リ、之レヲ思想ノ上ニ浮ベ來ラズ。然レ𪜈若シモ此ノ證憑、理由ニ心ヲ寄セタランニハ、其ノ提案ニ制限ヲ加フルノ必要生ジ來リテ斷案ノ謂フ所、提案ノ外ニ逸シタルヲ知ラン。」

「あだむ、すみっす及ビ他ノ人ガ稱スル所ノ經濟學ニ所謂商法論(Mercantile theory)(或ハ此ノ說ノ只管(ヒタスラ)貨幣ヲ尊重スルヨリ之レヲ譯シテ貴金說又ハ貴重貨幣說抔ト云フヿアレ𪜈、今ハ唯原語ノ意味ニ從フテ之レヲ譯ス。)ナルモノハ此ノ性

第三十章

質ノ僞論ニ外ナラズ。抑〻此ノ說ヤ、如何ナル事柄タリモ、貨幣ヲ持チ來ルモノハ國ヲ富マスト云ヒ、或ハ各人、富有ノ度ハ其ノ獲得スル貨幣ノ多少ニ比例ス抔ト云ヘル尋常、普通ノ格言ヲ提案トシテ立論ス。斯ル提案ヨリ立言シテ諸商業ノ價値ハ其ノ商業ガ外國ヨリ輸入シ來ル所ノ貨幣ノ差引キ殘額ヨリ成立ス。如何ナル商業タリモ其ノ輸入シ來ル金額ニシテ、其ノ輸出シ去ルモノヨリモ多キハ、損失ノ商業ナリ。サレバ、法律ヲ以テ之レガ輸出ヲ差シ止メ、又奬勵金ヲ與ヘテ以テ貨幣ヲ國內ニ引キ寄セ、又之レガ足止メヲ爲サヾルベカラズ等ト論ズ。然レモ是レ人々富有ノ度ハ其ノ有スル所ノ金額ノ多少ニ準ズト云フ所以ハ、貨幣ノ力德ハ人々ノ有スル購買力ノ目安タルニアルヲ熟思セザルノ致ス所ナリ。サレバ、貨幣ヲシテ其レ程ノ力アラシメンニハ、物品ノ購買ニ之レヲ使用スルヲ妨害スベカラズ。斯ル妨害ナクシテ而シテ後始メテ貨幣ハ貨幣トシテ世ニ用アルナリ。故ニ右等ノ立論ニ於テ其ノ提案タル命題ハ唯ガ僅カニ一ノ制限ノ下ニ於テコソ眞ナルナリ。然ルニ商法論ニ於テハ、之レヲ絕對的ニ眞ナリトシ、貨幣ノ增加ハ取リモ直サズ、富有ノ增加ナリト論ジ、貨幣ガ富有タルヲ得ル所ノ境遇ニ害アル際タリモ、之レヲ獲得スルヲ以テ直チニ富有

ノ增加ト看做スナリ。」

(第三)筋違ノ僞論ハ一名之レヲ不知辨難(Ignoratio Elenchi, or Ingnorance of the Refutation)ノ僞論ト稱ス。即チ論理上辨難ニ要スル論体ニ不知案內ナルノ義ナリ。凡ソ吾人ガ敵論者ニ會シ、論理上、正面ヨリ之レヲ折服スルノ方法ハ、敵論ノ斷案ト矛盾對當或ハ反對當ノ地位ニ在ル可ラズ。サレバ、不知辨難ナル僞論ノ意味ヲ嚴格ニ解釋スルトキハ、敵ト相對スルノ際、其ノ論鋒ヲ敵論斷案ト矛盾對當或ハ反對當ノ地位ニ在ル命題ヲ立證スルノ方向ニ差シ向ケズ、又ハ矛盾對當或ハ反對當ヨリモ他ノ命題ヲ立證スルモノナリ。他言ニテ云ヘバ、差等對當或ハ小反對當ヲ以テ敵論ヲ折服シ得ルトスルモノ是レナリ。然レモ其ノ元來ノ意味ヲ以テスレバ、此ノ如クナルニ拘ラズ、今ハ頗ル廣濶ノ意味ニテ使用セラルヽナリ。サレバ人ト相會シ、立論ノ目的ト看做ス所ノ事柄外ノ事件ヲ以テ之レト相對スルノ議論ハ如何ナル議論ニテモ之レヲ不知辨難論或ハ筋違ノ僞論ト云フ。譬ヘバ、今、帝國議會ノ代議士ニシテ、或ル法律案ヲ討議セン歟。已ガ撰出地方ノ利害ヲ以テ其ノ議案ヲ可否スルノ口實トセンニハ、是レ不知辨難論ナリ。何トナレバ、代議士タルモノ社會全般ノ利害ヲ

以テ目的トスベキニ、左ハナクシテ一地方ノ利害ヲ以テ目的トスレバナリ。又其ノ問題トシテ提出スル所ノ事柄ニシテ、議論ノ目的、事實ノ眞僞ニアリトセン。或ハ其ノ事柄ノ新異ナルヲ以テ、或ハ其ノ西洋ニ出ヅルヲ以テ、或ハ該事柄ヨリ生出ベシト看做ス所ノ他ノ事柄ヲ以テ口實トナシ、依テ其ノ問題ヲ攻擊セン歟。又或ハ其ノ事柄ノ陳腐ニシテ提出者ノ創見ニアラザル所以ヲ云ヒ立テヽ之レガ信用ヲ傷ケン歟。又或ハ人ガ己ノ非行ヲ咎責スルアリ。之レニ對シ、其ノ咎責者ノ非行ヲ鳴ラシテ之レガ咎責ヲ免レントセン歟。凡ソ此レ等ノ立論タル皆、不知辨難或ハ筋違ノ僞論ナリトス。言行一致ハ今日ノ人事ニ於テ甚ダ大切ナリ。然レドモ言ノ善ナルト行ノ善ナルトハ自ラ別件ナリ。人アリ、一ノ善事ヲ擧ゲテ、他ノ人ニ向ヒ、之レヲ忠告ス、他ノ人之レヲ難シテ云フ。彼レ發言者自ラ實踐セズ、故ニ其ノ言用ユルニ足ラズト。是レ不知辨難ノ僞論ニシテ、玻璃室ニ坐スル人ハ石ヲ投グベカラズト云フト等一般ナリ。

對人論(Argumentum ad hominem)ト云ヘル僞論アリ。是レ不知辨難論ノ一種ニシテ、己ガ立論ノ中ニ伏在スル病處、弱點ハ之レヲ高閣ニ束ネ置キ、只管敵者ノ擧ゲ足ヲ取リ、或ハ嘗テ敵者ガ經歷ニ係ル所ノ言行ヲ揭ゲ來リテ、之レヲ攻擊スルガ如キ是レナリ、又此ノ對人論ノ一種ニ對衆論(Argumentum ad populum)ト云ヘルアリ。是レ演說者抔ガ公衆ノ面前ニ於テ己ガ持論ヲ貫カンガ爲メ、又ハ敵者ノ信用ヲ損センガ爲聽者ノ感情、利害、僻心、連想等ニ訴フルヲ以テ目的トスルモノニシテ、又文章ヲ以テスルモ、讀者ノ道理心ニ訴ヘズシテ波瀾、抑揚モテ知ラズ、識ラザルノ間ニ、人心ヲ瞞着セントスルノ言論、皆此ノ種ノ門ニ入ル。漢文ノ長所ハ此ノ種ノ僞論ヲ利用シテ人心ヲ激揚シ、以テ讀者ノ同意ヲ得ルニアリト知ラルヽナリ。然レドモ此ノ種ノ僞論ハ之レヲ文字ニ筆スルヨリモ、演說壇上ニ於テ最モ頻リニ行ハルヽナリ。其ノ故何ゾヤ、他ナシ、演說ヲ以テスルトキハ、演者タリ、聽者タルモノハ、筆者タリ、讀者タルヨリモ、一層、感激シ易キ傾向ヲ有シ、又隨テ道理的批評力ニ於テ一シホ缺乏スル所アレバナリ。

(第四)問題不問ノ僞論トハ斷案ヲ以テ提案トスルモノナリ。之レヲ稱シテ問題不問ノ僞論ト云フ所以ハ其ノ證據立テノ目的タル問題即チ斷案ノ眞僞ヲ不問ニ附シ、最初ヨリ之レヲ以テ提案ノ一タラシメ、更ニ此ノ一提案ト同樣ノ斷案ヲ立證スレバナリ。故ニ一名之レヲ循還論(Argument in a circle)ト云フ。即チ提案ノ一必ズシモ提案ニ限ル

第三十章

ニアラズ、斷案必メシモ亦斷案ニ限ルニアラスシテ、提案却テ斷案トナリ、斷案亦却テ提案トナリ、其ノ狀恰モ一連環ノ首尾相聯接シテ終リナキニ似タレバナリ。而シテ此ノ僞論ノ最モ行ハレ易キハ數個ノ三段論体、疊々相重ナリテ一大連續論ヲ成スノ際ニアリ。此ノ場合ニ於テ、論者ハ一應ノ緒言ヲ終ルノ後、己ガ問題トスル事柄ヲ少ク形チヲ變ジテ掲ゲ出ダシ、之レヲ提案トシテ更ニ他ノ提案ヲ加ヘ、以テ一ノ斷案ヲ演繹シ來ル。而シテ又斯ク演繹シ來リタル斷案ヲ以テ更ニ別論ノ提案トシ、之レニ他ノ提案ヲ加ヘ、以テ其ノ目的トスル問題ノ斷案ニ論到スルナリ。譬ヘバ

（第一論）乙ハ甲ナリ。丙ハ乙ナリ。故ニ丙ハ甲ナリ。

乙ハ丙ナリ。

（第一論）甲ハ乙ナリ。故ニ甲ハ丙ナリ。

（第二論）乙ハ丙ナリ。或ハ更ニ故ニ乙ハ甲ナリ。丙ハ乙ナリ。

（第二論）甲ハ丙ナリ。故ニ甲ハ乙ナリ。

丙ハ甲ナリ。

右ハ二個ノ三段論体ヨリ成レル循還論ノ外形ヲ去リ、其ノ內實ノ要點ヲ露出シテ之レガ公式ヲ示シタルモノナルガ、實際ニ於テハ其ノ外形動スレバ紛ハシクシテ讀

者聽者ノ心目ヲ眩惑スルノミナラス、演者、筆者ニ於テモ、自分、自身ニ其ノ循還論タルニ氣附カザル「アリ、而シテ此ノ循還論タル尋常、省略論式ノ形チヲ以テ行ハルヽナリ。サレハ、今其ノ僞論者ニ向フテ直チニ其ノ問題ヲ掲ケテ乙ハ何故ニ甲ナリヤト問ハン歟。論者ハ丙ガ甲ナレバナリト答フ。又、更ニ進ミテ丙ハ何故ニ甲ナリヤト問ハン歟。乙ガ甲ナレバナリト答フ。是レ第二類ノ省略論ナリ。又或ハ甲ハ何故ニ乙ナリヤト問ハン歟。甲ハ丙ナレバナリト答フ。更ニ進ミテ甲ハ何故ニ丙ナリヤト問ハン歟。甲ハ乙ナレバナリト答フ。是レ第一類ノ省略論ナリ。此クノ如ク提案ノ一ヲ省略シテ答フルヲ以テ、其ノ狀全ク環ノ端ナキニ類ス。是レ此ノ種ノ僞論ヲ稱シテ循還論ト名ヅクル所以ナリ。故ニ循還論ノ非論理的タルハ更ニ多辯セスシテ明カナリ。恰モ一物体ヲ支持スルニ、他物ノ上ニ於テセズシテ、其レ自身ノ上ニ於テセント企ツルニ均シ。空中ノ樓閣焉ゾ以テ確立スルヲ得ン。

實際ノ立論ニ於テハ、前ニ示シタル如キ二論体ノ間ニ許多ノ論体、相累ナリ、千轉、万折シテ後始メテ漸ク其ノ斷案ニ到達ス。而シテ其ノ中間ノ道程益〻遠キニ從ヒ、此ノ僞論ヲ看破スル「愈〻難キヲ加フ。サレバ、此ノ僞論ヲ看破スルニ要スル眞個ノ手段ハ

之レガ中間ノ距離ヲ成ルベク切リ詰メ、以テ其ノ環圍ヲ縮小シ、且ツ以テ其ノ道程ニ横生スル蓁莽ヲ開拓シ、依テ其ノ斷案ヲ不問ニ附シタル廉ヲ正体ノ儘ニ露見セシムルニアリ。「ちぇーとれー氏云フ。「其ノ立論ノ環ニシテ益〻短縮スルニ從ヒ、推理者其レ自身若シクハ之レガ聽者ノ眼ヲ遁ルヽノ掛念愈〻減少ス。然ルニ若シ其ノ立論發着ノ兩點間ニ介入スル所ノ命題甚ダ許多ニシテ、環線長キニ亘ルトキハ、其ノ立論ガ果シテ實際ニ於テ環狀ヲ爲セルヤ否ヤヲ看破シ難キヿ、屢〻ナリ。恰モ地球面上ノ平原ニ於テ、一方ヲ指シテ歩スルノ際、其ノ進路ノ直線ノ如クニ知覺セラレ、實際、環狀ヲ爲セル球躰ノ周圍ヲ歩シツヽアルニ氣附カズ、又、同一線路ヲ進ミテ止マザレハ、終ニ其ノ最初出發シタル點ニ復歸スル所以ニ思ヒ至ラザルト等一般ナリ、然レトモ若シ吾人ハ小丘ノ上ニ歩スルニ於テハ、其ノ屈曲スル所以ヲ容易ニ知覺ス。」

問題不問ノ僞論ノ種別ヲ擧ゲ盡シテ遺憾ナカラシムルハ難ケレト、前種ノ僞論ノ外更ニ(第二)一三段論中ニ在リテ斷案ガ單ニ其ノ提案ノ一ヲ再言スルモノ(第三)其ノ斷案ガ其ノ一提案ト名稱ヲ異ニシテ全ク其ノ意味ヲ同ウスルモノ(第四)提案ノ一ガ了解シ能ハザルコト、斷案ニ讓ラザルモノ(第五)提案ノ一ガ斷案ヨリモ一層了

解シ難キモノヽ四種アリトス。前ニ例證セル所ノ循還論(第一)ハ二個以上ノ三段論ヲ以テ成レル僞論ナレトモ(第二)以下ノ僞論ハ皆、一三段論ヲ以テ成レル僞論ナリトス。而シテ此ノ中、第四及ビ第五ノ二ツハ其ノ實、虚僞ノ提案或ハ少クトモ眞僞未定ノ提案ヲ不問ニ附シ、從フテ斷案即チ問題證據立テノ責任ヲ全フスルモノニアラズ。サレバ此ノ種ノ僞論ヲモ問題不問ノ僞論中ニ組ミ入ルレトモ、(第一)乃至(第三)トハ稍〻庭逕スル所アルヲ知ルベシ、而シテ第二及ビ第三ノ二ツハ二命題ノ合一ヨリシテ斷案ヲ演繹シ來ラズシテ、只管提案ノ一ヲ再言スルニ外ナラザレバ、三段論体第三通則ニ牴觸スルノ僞論ナリトス。

或ハ論者アリ。難シテ云フ。若シモ循還論又ハ其ノ他、提案ヲ以テ斷案ニ供スル立論ヲ稱シテ問題不問ノ僞論ト云ハン歟、吾人ハ一切ノ確實三段論ヲモ斯ク名ケザルヲ得ズ。何トナレバ、一切ノ三段論ニ於テ其ノ斷案ハ皆以テ提案ノ外ニ出ヅルヲ禁ズレバナリト。然レトモ此ノ說、大ニ過テリト云フベシ。何トナレバ、一切ノ確實三段論モ問題不問ノ僞論モ共ニ其ノ斷案ノ立言スル所、提案外ニ出デザルハ致ヲ一ニスレトモ、更ニ大ニ異ナルモノアリ。確實三段論ニ於テハ、其ノ兩提案ヲ合一シテ而シテ後

第三十章

始メテ之レガ斷案ヲ生ズ。故ニ其ノ斷案ハ兩提案、合一ノ成績ニシテ、兩提案中、各自一個ノ提案ト同ジカラズ。然レモ問題不問ノ僞論ニ於テハ、其ノ斷案ハ提案ノ一ヲ單ニ繰返ス迄ニシテ、他ノ提案ハ全ク不用ノ地位ニ立ツ。是レ二者ガ相異ナルノ要點ナリ。

此ノ問題不問ノ僞論ニ類スル一種ノ僞論ニ問題不問ノ稱呼。(Question-begging Epithet)ト名ヅクルモノアリ。是レ冒頭直チニ敵論者ニ負ハスルニ、惡名或ハ其ノ立論ヲ壓倒スルニ好都合ノ名稱ヲ以テシ、而カモ斯ル名稱ヲ負ハシムル所以ノ理由ヲ說明セザルモノナリ。譬ヘバ議會ニ於テ、一議員他ノ動議ヲ駁シテ冒頭直チニ是レ違憲ナリ。故ニ此ノ動議ハ議題ト爲スベカラズト云ヒテ、其ノ違憲ナル所以ノ理由ヲ提出セザルガ如キハ非論理的ノ立論ナルガ、其ノ非論理的ノ廉ハ違憲ノ二字ニアルモノニシテ、此ノ二字即チ問題不問ノ稱呼ナリトス。此ノ場合ニ於テ若シ其ノ敵論者ノ動議ニシテ違憲ナランニハ、無論、議場ニ成立スルヲ得ズ。サレバ、論理上、敵論者ヲ攻擊スルノ要點ハ違憲ナルガ故ニ議事ニ附スベカラズト云フニアラズシテ、其ノ違憲ナル所以ヲ立證スルニアリ。其ノ他、他ノ言行ヲ目シテ冒頭直チニ叡慮ニ反スト云ヒ、

或ハ違勅ナリ、或ハ天皇ノ大權ニ牴觸ス抔ト唱ヘテ其ノ叡慮ニ反シ、違勅ナル所以、大權ニ牴觸スル所以ヲ立證セズ、又一ノ黨派ガ他ヲ攻擊スルニ、他ヲ目シテ吏權黨或ハ官權黨或ハ賣國黨ナリト云ヒテ、然ル所以ノ理由ヲ擧ゲズ、漫ニ語氣ヲ以テ一擧ニ敵論者ヲ壓セントスルノ立論、比々皆是レナリ。古來我ガ邦ノ歷史上ニ於テ、朝敵ナル名稱ハ問題不問ノ稱呼トシテ利用セラレタルノ場合、往々ニシテ之レアリ。然レモ此ノ僞論ハ敵論者ヲ攻擊スルニ限ラズ、語氣ヲ以テ己ガ持論ヲ貫徹セシメントスルニモ之レヲ利用スルコアリ。即チ勤王ト唱ヘ、愛國ト稱スルガ如キ是レナリ。若シ夫レ斯ル名稱ヲ唱フル論者ノ言行果シテ勤王、愛國ナラン歟。今日ノ日本臣民タルモノ誰レカ之レニ同意ヲ表セザラン。故ニ論者ガ證據立テノ責任ヲ有スルハ余輩ガ言行ハ勤王、愛國ナルヲ以テ世上ノ公衆之レニ同意ヲ表セザルベカラズト云フニアラズシテ、先ヅ其ノ眞個ニ勤王、愛國タル所以ノ理由ヲ立證スルニアリトス。

(第五)僞因ノ僞論トハ、充分ナル據リ所ヲ有セズシテ一事物ヲ以テ他ノ原因ナリトシ、他ヲ以テ之レガ結果ナリト論ズルモノナルガ、譬ヘバ彗星ノ出現ヲ以テ軍旅或ハ饑饉、疫癘等ト關係スル所アリトシ、鴉鳴キノ惡シキヲ以テ己ガ知人ノ死亡ト賃

繰スル所アルガ如クニ思ヒ做ス抔ハ此ノ僞論ノ一見忽チ視易キ例證ナリ。然レ𪜈此ノ部門ノ僞論タル一体、演繹法論理ニ關スルノ僞論ニアラズシテ、他ノ許多ノ僞論ト相對シ、他ヲ以テ演繹法部ノ僞論トシ、此ノ僞因ノ僞論ヲ以テ歸納法部ノ重モナル僞論トスルヲ以ヲ允當トス。サレバ、之ヲ一括シテ僞因ト云フト雖、其ノ中、數種ノ區別ナクンバアラズ。然レ𪜈茲ニ之ヲ論述スルハ頗ル不當ナルノミナラズ、又此ノ講義紙面ノ範圍ガ許ス限リヲ以テシテハ、迚モ之ヲ詳論スル能ハズ。唯ダ從來ノ慣例ニ從ヒ、僞論ノ名目ニ遺漏少キヲ欲シ、論説ノ序ヲ以テ殆ド之レガ名目、丈ヲ掲グルノミ。讀者若シ其ノ詳カナルヲ知ラントセバ、拙著「歸納法論理學」(卷二、五五一、乃至、五九二〇。)ニ就キテ知レ。

(第六)多問ノ僞論トハ數個ノ疑問ヲ一束シテ一擧ニ答辯ヲ求ムルモノニシテ、到底之レニ正當ノ答辯ヲ附スル能ハザルナリ。此ノ僞論ハ往時、希臘ニ於テ詭辯家ガ人ヲ苦ムル爲ニ用ヒタル所ニシテ、若シモ此ノ僞論ニ對シ、うかト然否ノ挨拶ヲ爲サン歟。意外ノ穽ニ陷リテ甚タシク進退ニ窮スルヿアリ。譬ヘバ人アリ、他ノ人ニ向ヒ、足下ハ頃日、親ヲ打ツヲ止メタルヤト問ハンニ、若シ之レニ答ヘテ止メタリト云ハヽ、僞論者ハ其ノ言葉ニ附ケ入リ、然ラバ、足下ハ前ニハ親ヲ打チタルナリト論ジ來ルベシ。

若シ又之レニ答ヘテ止メズト云ハヽ、然ラバ今尚ホ足下ハ親ヲ打ツモノナリト迫ヒ掛ケヲ云フナラン。是レ問フ者モ問フ者、答フル者モ答フル者ニシテ、二者幷ビ過テリ。甲ハ乙ニ向ヒ、先ヅ第一着ニ、足下ハ親ヲ打チタルヿアリヤト問ハザルベカラズ。乙之レニ答ヘテ打チタルヿナシト云ヘバ、議論ハ其レ迄ナルベシ。若シ又打チタルヿアリト答ヘバ、尚ホ進ミテ今尚ホ打ツヲ止メザルヤト問フヲ以テ正當トス。又、甲論者、乙論者ノ自由貿易論者タルヲ知ラズシテ、冒頭直チニ足下ハ保護貿易論ヲ主張スルヲ止メタルヤト云ハヾ、是レ多問ノ僞論ニシテ、乙論者ハ余ハ最初ヨリ保護貿易論ヲ主張セザリシト云ヒテ、以テ甲論者カ疑問ノ方法ノ失セル所以ヲ悟ラシムルヲ要ス。此ノ僞論ヲ取扱フ事ニ關シ、ありすとーつる云フ「一擧シテ先ヅ其ノ一問トシテ提出セル數問ヲ分解シテ之レヲ種々ノ部分ニ歸セザルベカラズ。一度ニ答フルヲ得ルハ一問ニ限ルモノナリ。サレバ、一回ノ答辯ニ於テハ、一主語ニ數客語、又、數主語ニ一客語ヲ肯定或ハ否定スベキニアラズ。唯ダ僅カニ一主語ニ一客語ヲ從屬セズンバアラズ」。

○今、本章ヲ終ルニ臨ミ、古來相傳ヘテ以テ有名ノ僞論トスルモノ三四ヲ左ニ採錄シテ識者ガ思想力ヲ鍛錬スルノ用ニ供ス。

(第一例)あきれす(Achilles 希臘太古ノ勇士。)ト龜トアリ、あきれすノ歩スル速力ヲ以テ龜ニ十倍スト做ス。然レ𪜈若シモ龜ニシテあきれすヨリモ前ニ出發セン歟。あきれすハ終ニ龜ニ追ヒ着クコトナカルベシ。譬ヘバ、あきれすガ出發セントスルノ際、龜ノ之レニ先ンズルヿ千尺ナリトセン歟。あきれす此ノ千尺ノ距離ヲ進行スル間ニ、龜ハ百尺ヲ進行スベシ。あきれす此ノ百尺ヲ進行スル間ニ、龜ハ更ニ十尺ヲ進行スベシ。其ノ他あきれすト龜トノ進行スル割合之レニ準ズトスル𪜈ハ、あきれすハ到底、龜ニ追及スルノ期ナカルベシ」。(此ノ僞論ヲ稱シテ古來、あきれすト龜トノ僞論ト云フ。)

(第二例)「くれーと人(Cretan)えぴめにです(Epimenides)云ヘリ。「くれーと人ハ皆、虚言者ナリ。」ト然ルニえぴめにです自身モ一ノくれーと人ナリ。故ニえぴめにです自身モ亦虚言者ナリ。但シえぴめにですニシテ虚言者ナラン歟。其ノ口ニスル所ノ言葉ハ眞ナラズシテ隨テくれーと人ハ虚言者ニアラザルナリ。是ニ由リ之ヲ觀ルニハ、くれーと人ハ虚言者ニシテ、えぴめにです自身モ亦虚言者ナリ。而シテ其ノ謂フ所ノ事亦眞ナラズトス。吾人ハ此ノ如クシテえぴめにです及ビくれーと人ノ信ズベキト信ズベカラザルトヲ代ヒ立證スルヲ得ベシ」。(此ノ僞論ヲ稱シテめんちいんすノ僞論ト云フ。)

(第三例)余ハ昨日、一ノ事物ヲ思想シ、而シテ後之レヲ思想スルヲ止メリ。余ハ今日、再ビ之レヲ思想ス。故ニ余ハ昨日、余ノ心中ニ彼ノ事物ノ觀念ヲ有シタリ。而シテ今日亦之レガ觀念ヲ有ス。今日有スル所ノ此ノ觀念タル勿論、他ノ觀念ニアラズシテ、昨日ノ觀念ト同一觀念ナルガ、昨日ト今日トノ間ニ此ノ觀念ヲ有セザリシ中間時限ヲ經過セリ。然ラバ、此ノ中間時限中其ノ觀念ハ何處ニアリタリヤト問フニ、何處ニカナクンバアラズ。此ノ觀念ハ存在ヲ止メザリシ。若シ夫レ然ラズシテ存在ヲ止メタラン歟。余ガ昨日有シタリシ觀念ハ今日ノ觀念ト同一、觀念ナルヲ得ズ。恰モ昨日逝フタル人ニシテ、昨日、以來、今日迄ノ間ニ死亡シタルモノト同一人ニ今日再ビ會見スル能ハザルト等一般タラズンバアラズ。然レ𪜈凡ソ觀念ナルモノハ心外ニ存在スルト思惟スル能ハズ。然ルニ我ガ心中ニハ昨日、以來、今日ニ至ル迄、一ノ觀念ガ存在スルヿナクシテ今日再ビ此ノ觀念ヲ有スル以上ハ別ニ吾人ガ心外ニ普通一般ノ心(Universal Mind)ナクンバアラズ。此ノ心コソ一切ノ觀念ガ吾人ノ